

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-83)、
廃棄物管理施設(58))」

2. 日時：令和5年8月7日(月) 13時30分～18時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他3名

九州電力株式会社

テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部 副本部長

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年7月31日及び8月4日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

・基準地震動に基づく入力地震動の策定(地盤モデル)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

・地盤モデルに係る次回の審査会合資料について、概要をまとめた本体資料に加え補足説明資料を用意することとし、本体資料ではこれまでの宿題事項とその対応状況や、検討内容の要点が明確になるよう構成及び内容を整理する。

・補足説明資料においては、説明ロジックの体系や検討結果を妥当とする根拠が明確かつ十分資料で示されているか、知見を持つ電力支援者等も加えて資料全般を精査のうえ、改めて説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 令和5年7月31日
「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年8月4日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の武です。ただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった最初及び廃棄物管理施設の設工認申請について、
0:00:14	7月31日8月通の、
0:00:19	いかがですかね、提出があった資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:23	まず規制庁側の出席者紹介いたします。
0:00:26	規制庁側不作調査官、ハバサキキシノカミデタケダ以上になります。
0:00:33	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割、本日のヒアリングでも説明範囲と達成目標について説明をお願いします。
0:00:43	はい日本原燃のオガセでございます。本日の原燃側の出席者でございますが、東京から出席しているところでございます。日本原燃よりケツクノモトオガセヤマグチ。
0:00:54	と、あと九州電力の井出アカシ様。当然設計より宇野様、三菱重工よりサトウ様、大林組よりウノ様。すいません。和田さんは28以上八名の参加となります六ヶ所側につきましては本日発言予定でございます。
0:01:09	ございませんので、6日本原燃側出席者は以上でございます。
0:01:13	日本原燃の郷でございます。本日のご説明ですけれども、7月30日に提出させていただきました最貧建物08の淡路18について、
0:01:26	ご確認いただくということとそれからこの太田井清館野08ご提出さし上げたものに対して8月2日の
0:01:36	ヒアリングの際に、この足らずのところを、ご指摘いただいたところを踏まえて、今回ですね耐震建物破棄に今、我々が欠けていないところというのを、
0:01:50	名簿の方で8月4日付のメモとして、ご提示いたしました耐震建物08に係る今後の搬入機構のこのメモについて、
0:02:01	ご案内いただくということでございます。それからこれらを踏まえまして、次回の会合、
0:02:08	でのご説明の骨子といたしましてパワーポイントを、のバージョンの資料を8月4日提出させていただいておりましてこれについても、この流れについてご報告いただくということ、
0:02:22	でございます。以上でございます。
0:02:26	はい。規制庁の竹田です。

0:02:29	では資料は三つありますけれど、順番としてはどういうふうに進められる予定でしょうか。
0:02:35	日本原燃野本でございます。ちょっとご相談かとは思いますが、ですね、まず、ちょっとこのですね耐震建物 08 期に係るご確認とそれから会合。
0:02:49	ナカニシの確認と、この二つの大きな流れになるかなとは思いますが、えっとですねまず、耐震建物 08 期の
0:03:01	ちょっと足らずのところですねこれ前段の話にはなろうかと思しますので、このですね、我々やってきたことのご説明、
0:03:13	まず差し上げて、こういうところが今後出しても 08 に入ってくるだろうというちょっと大枠のそういう資料のですね、
0:03:24	今後のちょっと作りの方向性についてご確認いただくというのをまずやってからですね。
0:03:34	介護資料の
0:03:39	流れのご確認をいただくと、いうことを次にやりまして、最後ですね私なんてのはここ、具体個別のですね、
0:03:49	内容についてのご確認いただくとちょっとこういう形かなとちょっと私は思っているんですけども、5 日がちょっと違うんであればまたちょっとそこはご相談かなというふうには思っております。以上でございます。
0:04:05	規制庁竹田です。衛藤それからつきまして規制庁側から何か。
0:04:08	おめでとうございますでしょうか。
0:04:10	よろしいでしょうか。
0:04:13	資料からやっちゃった方。
0:04:22	承知いたしました SOA コサクです。
0:04:27	資料以前の問題なので、何とも言いにくいんですけど、
0:04:31	会合資料が一応、タスクとしての全体像が入っているので、
0:04:36	それどういう認識なのかっていう話が、局長じゃなく、全体で話ができるのかなというふうに思います。
0:04:45	すいません。
0:04:46	一方で、
0:04:47	先ほどの説明は、資料を直そうっていうタスクのようにしか聞こえなくて、
0:04:53	そもそもその認識が違っている。
0:04:55	ていうふうに思ってます。我々は資料をブラッシュアップしたいのではなくて、原燃の姿勢を改善して欲しい。

0:05:02	はい。
0:05:04	検討の体系をしっかりと漏れのないものにして欲しい。
0:05:09	いうことであって、資料なんかどうでもいいんです。
0:05:13	ていうところが相変わらずずれてるなど。
0:05:16	いうところなので、
0:05:21	そういうところからしてそもそも資料の書きぶりがなっていない。
0:05:25	やっぱり認識が違っているから仕掛けるもの。
0:05:29	かけるものってないんですよ。
0:05:31	持ってないか。
0:05:35	ていうところをどうしたら改善できるのかっていうので、先週のヒアリングでは
0:05:41	地権者選考で審査実績のある地権者にしっかりと聞いて、
0:05:47	何が足りないのか何をやるべきなのか。
0:05:50	いうところをしっかりと押さえてきてくださいという話をした。
0:05:54	ということです。
0:05:57	もう一つの4日に提出していただいた、08の
0:06:02	反映事項も行ってから、
0:06:05	1日たらちょっと。
0:06:08	書き上げて出されたものなので、その点ではまだ地権者の十分知見を入れ込んでないと。
0:06:15	いうところでしょうから、この書類自体があまり力がよくないのは、しょうがないなとは思ってはいるんですけど、
0:06:26	ねえ。
0:06:28	ですけど、今申し上げたように、資料の直していうふうに意識が向いているっていうのが、
0:06:37	文章的に見え隠れしていて、
0:06:40	その説明が、野元さんが言われたところだとより資料によってるんだなということが明確になったということで、懸念がやっぱり払拭できてないなあと。
0:06:51	いうのが率直な印象です。まずはそう大枠だけで言ってもしょうがないので、
0:07:01	審査会合資料の記載を基にですね。
0:07:05	ええ。
0:07:07	それぞれが何が。

0:07:09	考え方が違っているのかといったことは話をして、
0:07:14	いきつつ、また、タスクに明確にしていれば、
0:07:19	思います。
0:07:23	はい。日本原燃野元でございます。はい、承知いたしました。
0:07:28	前回ですね、この我々の検討そのものが、やっぱちょっと進め方が、
0:07:38	足らずがあるんじゃないかと。
0:07:40	いうご指摘をいただいたものに直接お答えするような、これちょっと資料の話にはなっていないし、今の私のご回答もそういうご回答じゃなかったと。
0:07:53	いうのは、おっしゃる通りかと思えます。
0:07:57	で、ちょっとここ、今もう空中戦やっても仕方がないからもうこの大枠のもう話を具体に行こうよというふうにおっしゃっていただいたのかなと。
0:08:08	いうふうには思いますので、ジャモン
0:08:11	をパートの方からもうちょっとやらせていただくってことでいろいろ、
0:08:17	もうちょっとあれでは、規制庁コサクです。それで言うと、
0:08:24	上辺でしか資料は書いてないので、
0:08:28	まず時状況の確認ですけど、
0:08:31	反映事項っていう書くときに、他に電力支援者なり、先方の地権者っていうのは確保しました。
0:08:42	ですね、これをどういうふうに作ったかですけども、等も、あの日、一言で言いますと、
0:08:51	このメンバープラス他のSteeringメンバーでやりました。はい。
0:08:57	で、人が誰だというのに対するお答えは、そういうことでございます。規制庁コサクですそうすると
0:09:05	いつかヒアリングの時には、その時の状況とすると、
0:09:11	まだ明石さんはフォローしてきて、前日に見て、コメントしただけなので資料には反映できてないと。
0:09:17	いう状況だっていうのは、
0:09:19	して、今後は資料作成段階から不明として、
0:09:23	提示する資料の中では明石さんの意見が組み込まれた。
0:09:30	いうことにするってのが少なくとも、
0:09:34	減衰定数の検討での対応については主張していただきたい。
0:09:39	いうことでしたけど、それ以外の項目なり、全体的なところというのは、明石さんにも関与していただくんだと思えますけど、すべてに、

0:09:50	コメントを最初からしていただくというのは、本業の方もあって、負荷が強いだろうというようなこともありますね。はい。
0:10:00	そこは誰ということはいませんがっていうふうな話をしましたけど。はい。今の話からすると、補強するつもりはないってことですか。
0:10:10	日本原燃の郷でございます。いいですか。
0:10:12	はい、ありがとうございます。えっとですね、今のお答えに対しては補強をするつもりがあります。
0:10:21	この耐震、今後は1個、これをさ、
0:10:27	いただけたかということそれはノーでございます。
0:10:30	入っていただくための、人生の調整をこれ、
0:10:34	やっていたというのが実態でございます。
0:10:37	です。
0:10:40	自体はですね、進んでおりました大体、概ねですね、ちょっと実際に設計に関わってる方からちょっとご支援いただくという方向で今人選進めておりました大体めどが立ちつつあります。まだちょっと正式に
0:10:55	お願いしてる状態ではないので、ちょっとここでお名前と香月差し控えさせていただきますけれども、それちょっとベテランに近い方で、実際責任かかってらっしゃる方をご支援いただこうと。
0:11:08	ということで、今後関わっていただこうというふうに思います。はい。以上でございます。
0:11:12	規制庁コサクです。そうすると一そのカッターが一しっかりと下原燃の現状認識して、必要なことを、
0:11:24	インプットをし、或いは作業状況をフォローすると。はい。
0:11:28	いうことができるようになっていただくのがいつかと、いうことが、
0:11:33	ポイントになるのかなと思ってまして。
0:11:38	明石さんには大分前から参画いただいておりますけど、本業側もあってっていうところで、なかなか
0:11:47	うまくまだ
0:11:49	回りきれてないという状況ではありますが、
0:11:51	サポートするには、いろいろとその黒が、
0:11:58	どうやってかないとそう短期でキャッチでき、
0:12:02	動かせるかっていうのは、難しいことはよくご認識いただいているんじゃないかなと。
0:12:09	思っていて、
0:12:12	そういう知見がある中で、また参画いただくっていうところからすると、

0:12:20	と、実際に指名されて、その日等と話をして、じゃないと、具体のすみわかんないと思うんですけど。
0:12:30	その辺り、どうしていきけるかっていうのをお聞きしないと。
0:12:37	こちらとして1ヒアリングを進められるかがわからないなっていうのが今、率直な。
0:12:43	イメージして、はい。
0:12:45	それを
0:12:47	やってもらってからヒアリングだなっていうのが
0:12:51	もともとSteeringチームを設置し、されて、じゃあそれでヒアリングやりましょうねって言ったのは、もうまさにそういうことができるような状況になるということだからじゃあそれでヒアリングしましょう。はい。
0:13:02	ということなので、その状態まで今きてないというふうな、うん。
0:13:07	ことがある、2日で話をしたところなので、
0:13:11	実際にその軌道に乗ってヒアリングできるのがいつなのか、どうやって済むのかと。はい。
0:13:17	いうことを、
0:13:20	いつぐらいにお話しいただけますか。
0:13:22	今週中には大体細かい契約とかそういう話もありますので、できて
0:13:28	今週来週ぐらいからは、大勢が入ってもらってやりたいというのが流れとしてはありまして、ちょっと講習の後半ぐらいからは入って、キャッチアップする時間も、
0:13:38	必要ですけどもヒアリングの参画は来週
0:13:42	そういったことになろうかと考えております。日本原電とケットクでした。
0:13:47	規制庁コサクです。そうすると、18にちに進め方ヒアリングがあるので、
0:13:55	そこではどんな感じでいくのかっていうようなお話しいただけますか。
0:14:01	今週9日ありました。
0:14:03	水曜日の時はちょっとまだ言えないと思うし、次回にはそのいうよりは指摘をしております。
0:14:10	日アノ実際に入って、実働できるっていうのが私が目指しているところでございます。
0:14:16	はい。規制庁コサクです。わかりました。
0:14:19	そうしましたら、今日はその方2、こちらが思ってることが伝えられるように、
0:14:28	いうことで、

0:14:31	現状での懸念事項を2日には、
0:14:34	それなりにお話はしていますけど、
0:14:37	それを踏まえた今日の資料見てもっていうところがあるので、
0:14:41	その点をお伝えをしておいて、議事メモとしてですね。
0:14:46	お伝えいただき、
0:14:49	来週以降、
0:14:50	対応していただいたらいいかな。
0:14:56	それですね、資料これ1ページ1ページやっても、あんまり意味がないと思う。
0:15:04	ていて、
0:15:07	大体は6月20日会合の再掲ですと。
0:15:12	言っているものだったり、今後差しかえますと言っているもの。
0:15:18	でしかないので、はい。
0:15:20	そのあたりどういつもりでいるのかって言うのが、
0:15:26	よくわからないですね。
0:15:30	再掲のものだ等、加えたところはアンダーが引かれているので、
0:15:36	ですけど、
0:15:37	それでいいのかっていうこともよくわかんないんですよ。
0:15:46	どうですか。
0:15:48	この辺りで、今何か、作成方針的に思っていることとかがあれば言っていたいただけますか。日本原燃の郷でございます。この資料で、
0:15:59	今日、確認させていただきたかったんですけども、
0:16:04	まず外形的な話としては、この地盤モデルの策定についてで前回のつづきといいますか、前回今後検討して参りますといった内容の
0:16:18	追加された部分をお話しするっていうような立て付けになろうかなというふうには思っていて、そうすると前回ですね
0:16:28	基本基盤モデル、こういう形をつくって参りますということをまず宣言して、で、岩盤非線形をこういう形で、データそろえました表層、
0:16:41	減衰のところは、ここまではそろったけれどもやはりちょっとまだ不足があるねという議論をいただいて、検討の状況になっているという、
0:16:53	流れからするとですね、最初の基本シバモデルは、設定するそれからデータを4品について整理するんで、

0:17:03	最後、基本地盤モデルを設定するっていう流れは前回からの追加の形で、フルセット流れが見えて、ここまで今回できましたここがまだ今後になりますっていうことが、
0:17:17	わかるような資料になるんだろうなと想像しながらちょっとこれは作ってるんですけどまずそういう構成で、よろしかろうかと、小西が合ってるだろうかとということを確認させていただきたかったと。
0:17:28	というのがこの目的の一つでございます。
0:17:33	で、目的の二つ目といたしましては、そういう形ですね、等を設定しましたので、前回のですね会合資料では、何が一般的標準的かと。
0:17:47	作業員に対しての一般的標準的な評価ちゃんと明記すべしと、アノ期資料として記載する日といったようなコメントもいただいておりますし、またヒアリングでご確認いただいております中で、
0:17:59	基本地盤モデルを設定するにあたって、4品を設定するまでの考え方ですとかそういう前段の議論についても、きちんと話を、
0:18:10	見せることというのもいただいておりますけれども、そのところは、もちろん補足説明資料には載っけてはおるんですが、ここを、
0:18:21	会合で、また最初からですねご説明するのかなというところが逡巡がありまして、この資料としては、今用意し、
0:18:32	設定いたしますこれで作りますんで、結果として、こういう形で、
0:18:40	設定したものを使って参りますといったような、大体そういう3大話みたいな構成で、ひとまず作ってみました会合の時間の中では弱でいくとちょっとご審議いただくにはこういうふうな内容かなと思っていたんですけどもこれがご認識と合ってるかどうかというのを確認かけて、
0:18:58	出し方というのが、二つ目で三つ目といたしましては、最後のですね協力ページのところで今後の対応という形で、テーマ一つ、
0:19:08	ございますけれども、こちらですね基本基盤モデルを作成した後のですね、耐震計算に至る流れを非常にざっくりですけども、文字にところ落としておりまして、
0:19:21	これが認識が合っておりますでしょうかということで資料の作り方として認識が合っておりますでしょうかということを確認させていただきたかった。
0:19:29	いや以上申し上げたようなところを確認させていただきたくて、今日はこれを持ってきております。以上でございます。
0:19:37	規制庁コサクですけど、今の話も資料をどうするかっていう話になって、

0:19:45	理解ができないっていうことにまた繋がっちゃうんですけど。
0:19:49	まずですね、今言われた方針だとしたら何でこんな資料になるんだっていうのが率直な疑問で。
0:19:58	ヒアリング資料D、詰めることと、会合でやること分けたいというのは、
0:20:05	何となくわからなくはないんです。
0:20:07	なんですけど、であれば、
0:20:11	会合資料はもっとコンパクトになるはずで、前回やったことなんて、なんで再掲する必要があるんだ。
0:20:18	ああいう気がするんですよ。はあ。ていうのは、最初に言われた4石云々っていう話をしたくないんだっただけですよ。
0:20:28	したくないんだっただけで2ページがあるんですか。
0:20:32	等、
0:20:34	これ2ページはあれですね、全かいいできる病院費を設定しますと言っているところなんですけど、だからこそ、
0:20:45	それをこのページがあるんだっただけこのページを抜本的に書き換えて、なんでこの4イシダっていうのを追記しない限り、該当にならないぞ。
0:20:56	この、このページがなければ、それは整理してあることだから、今回は前回からもスズキの前回、
0:21:04	ここまでこういう話をしましたそれによって、こういう宿題が残ってますっていうサマリーだけが書いてあって、
0:21:13	その宿題事項についてで、具体のページが説明すべき具体のページが入ってくると。
0:21:18	いう形になりますけど、そのページがあるんだっただけちゃんと説明してくださいよになっちゃうんです。
0:21:24	宙ぶらりんなページをそのままの形で、
0:21:28	都合のいいところだけ追記されるから、
0:21:31	わかってないなっていう感じになっちゃう。
0:21:35	日本原燃の郷でございます。ちょっと私の理解が落ちないところも含めて確認させていただきたいと思います。介護の時の、
0:21:45	いただいても、今年藤堂が4市に対して、標準的一般的な手法。
0:21:52	ていうのが、なぜ負荷を明示すべきというところでいただいております。で、
0:21:57	4イシイに至るまでの、
0:22:02	プロセス、
0:22:04	について、この断面っていいですかずっと6月20日の断面で、

0:22:13	そうですね。
0:22:16	この資料に対して、
0:22:19	理解いたしましたこれがあるのであれば、その前段にあるところを追記。
0:22:26	ですか。ちゃんとここに至るまでのストーリーも、パワーポイントに入るべきであると、いうことをおっしゃっていただいたんです。すいませんや、すみません自分で自分のあれですけど
0:22:38	自己完結しました。理解いたしました。
0:22:44	規制庁コサクです。その上でですね、
0:22:48	どういうふうに説明されるかは、こちらが指示するものではないので、整理いただければと思うんですけど。
0:23:01	前回も
0:23:03	後に、耐専 08 月対
0:23:05	08 じゃないか、08 ノモトになる附属それぞれのタムラ町になるはずですよ、添 123 という形についていたと。
0:23:15	事ですけど今回は 08 がつくんですね。
0:23:18	そうすると、具体は 0 はちい。この後、反映っていうのをいろいろとやっていたかということなので、
0:23:27	それがされればですね、
0:23:30	このパワポの方に事細かに書かれても、
0:23:34	本論が何かっていう、ミイづらくなるので、要点だけ書かれて、適宜見てください。前回と、
0:23:43	体裁が違うわけですから、
0:23:46	なぜ、
0:23:47	変わったのか、どういうことを拡充したのか、っていうことはどこかで書いていただいたら、
0:23:54	いいんだろうなと思うんですよ。
0:23:55	はい。はい。
0:23:58	そういったその全体像っていうのを一つ語っていただく。
0:24:03	のは必要かなというふうな今話をしてると思います。
0:24:07	前回説明したこと、宿題事項を宿題事項とか
0:24:12	やっていること。
0:24:15	それを、それに付随して、
0:24:19	添付されているものをブラッシュアップしていく。

0:24:24	それをまずはまとめて、その上で舞台に入って、
0:24:28	いうふうにしていただいたら、
0:24:32	次に増でございます。
0:24:37	おっしゃってる。はい承知したのとちょっと確認させていただきたいのが、そうしますと肥料の全体像とひましては、
0:24:51	この前回のものに追記して、フルセットの何ていうかひとつお話するといったようなイメージ、
0:25:01	私ちょっと考えてこうやってしまったわけですが、むしろそうではなくて、前回までに整理した基本地盤モデルを設定してやっていくんだよと。
0:25:13	全体前回までに、の大ケースと、それからその時の、その後の検討事項といいますか、宿題事故。
0:25:24	その検討結果といったような流れでご説明すると。
0:25:29	いったような、
0:25:31	形になるのかなというふうに理解したんですけれども、それで、
0:25:41	今おっしゃっていただいたこと私うまくとらえられておるでしょうか。規制庁コサクです私の言ったのは大体そういうことで、今 2 ページでお話しましたけど、1 ページからですね。
0:25:52	1 ページの前半もあまり要らないの情報であって、
0:25:57	後半部分の、本日説明内容っていうのも、
0:26:01	何のことなんかいまちよくわからない。
0:26:05	ということなんで、説明事項といいながら再掲ですなんて、
0:26:09	何だかわからない。
0:26:11	資料なので、
0:26:12	その点は整理をしていただいた方がいい。
0:26:16	D、
0:26:17	D一方で添付するその 08 のナカは一式そろっているわけですから、全体像云々て話を呼べばそっちを読めばいい。
0:26:27	いうことだと思っている。
0:26:30	すいません。
0:26:31	畠中。
0:26:36	はい。
0:26:49	でもう
0:26:51	今、その全体としてどれぐらい助かって、今どこまで進んだよ。

0:26:57	というのが、
0:26:58	あると思ってない、多分。
0:27:00	再掲にすれば、そちらは、
0:27:03	わかるでしょう。
0:27:05	どうですか。
0:27:08	今日の1ページ目を見ても、本日の説明内容でしょうか。
0:27:14	前回、
0:27:16	地盤モデルの介護市場を見てみたら、今後の対応っていうタイプになって、こうしますっていうんですね。
0:27:25	今後の対応で、入力地震動の算定に用いるモデルをこう設定していきますっていう、前回は言ってるんだけど、今それを受けた記載がなくて、提供を説明する。
0:27:36	ですから、
0:27:39	前回、C全体の
0:27:43	全体になる。
0:27:45	例えばよくわかる。
0:27:46	いうところがあるんで、真空の後に、
0:27:51	まず、補足説明
0:27:53	ねえ。
0:27:56	パートとしてはサマリーと思うんですけど、その辺りばかり。
0:28:00	抜粋。
0:28:02	もう1個、
0:28:04	よくわからないのは、
0:28:07	入力地震動を基本地盤モデル作りますよっていうことは、次の会議で宣言されるだろう。
0:28:16	今そこが、
0:28:19	もう読めない。
0:28:21	前回の会議の資料だと、入力地震動のために使うための基本地盤モデルって言葉がまだあったので、ぎりぎりばかりや、わかった
0:28:31	うん。今その言葉もなくなって、基本地盤モデル。
0:28:38	そうではなくて、まずは基本地盤モデルによって入力地震動をまず確定します。
0:28:44	それで、まず正式な地震、作りますというのをまず宣言で、
0:28:49	そのあとに、前の、

0:28:51	入力地震計算書、
0:28:55	MACCSコーナーでやっていきます。
0:28:59	そのあたりが、
0:29:01	5月から9月の
0:29:03	中にすごく変わったポイントだと思う。
0:29:06	そのあたりが全然見えないんで、
0:29:09	そこが、
0:29:10	ポイントはやっぱり、
0:29:13	最初の方で、請求者が、
0:29:18	表現にノーでございます。
0:29:20	曾我カミデさんがおっしゃっていただいたはず前半の0まで何やって今回やるんだというのが、やっぱりちょっと見えないのでわかりにくいんだよっておっしゃっていただいたのはその通りだと思いますので先ほどお話の通り、
0:29:35	全体の前回の第一層でここまでやりました。今回ここやりますというのがちょっとでかくなるオチアイしようと思います。後半おっしゃっていただきました。
0:29:45	基本地盤モデルで、入力地震と算定してっていうあたりをですね、今16ページのところでこの対応のところで全部書きちゃってるんですけども、
0:29:56	お話の流れとして、何のためにこの検討やってるのかっていうのを、やっぱり冒頭で言わないとちょっと話の流れをニシナうよと、いうことをおっしゃってるのかなと。
0:30:07	いうふうに思ったんで上に類する記載を、前半のといえますか冒頭のこの系統の位置付け的なところで、もう言っていくと、ちょっとそんなイメージを持ったんですけども、それで仁木がってますでしょうか。
0:30:28	冒頭まで全体像を説明して、本当はそう。
0:30:32	多分そちらとしては、うん、示したつもりなんです。
0:30:37	多分示しつもりだ。
0:30:41	なんだけども、
0:30:44	どうしても、
0:30:44	この、仮に2ページをそのまま使うとですね、今多分多くはないと思うんですけど、
0:30:51	仮に2ページをそのまま行くんだとすると、まずここでちゃんと入力地震動を、一つ目の四角の下は、

0:31:00	そんなにここでまず決めますっていうのがまずあって、それから、次回以降ご説明の地盤モデルによる地震動と、申請上は震度をさを分析とかしていきますっていうのが、
0:31:14	わかるようになるはずなんです。ここに一つ間入るはずなんですけど、それも直っていないっていう状況なので、
0:31:23	何ていうか
0:31:25	そういうポイントがわかるように全体像を示す。
0:31:30	いう形で、2 ページ右側、
0:31:34	いろんなことが続いて、もう多分もう使えないと思う。
0:31:38	その辺は、福祉コーナーがチェンジされたんだというところはわかりました。
0:31:45	はい。日本原燃野本でございます。はい。よくわかりましたありがとうございます。
0:31:58	はい。規制庁、檀ですけれども。国会のところ、難しいんですけど
0:32:04	インターのところですね。大丈夫。
0:32:09	後先ほどブロック長の佐田という話ですね、その取っかかり。
0:32:14	前回の指摘事項
0:32:16	もして書いて欲しい。
0:32:18	いう中で、
0:32:20	例えば朝までやられてる。
0:32:23	資料にして、
0:32:27	の資料も、一応審査会合資料というのは、ゴコウというスタイルがある。
0:32:34	今日の現状のこういう構成っていうのは、ちょっとユニーク
0:32:46	要は再掲等後硬水っていう内容もこういう内容ね。
0:32:53	者センターがあるんなるんでしょうけども、まずイントロのところと構成のところ、あと指摘事項の話とかですね。
0:33:02	それはもう、それが、ある意味、提携という、
0:33:06	できないと駄目とは言わないですけど、
0:33:09	はい。
0:33:12	で、
0:33:14	解決しないとか、あるんですよ。そこは、
0:33:19	介護資料ですから、
0:33:21	やはり文献ついた資料ということで、
0:33:26	以上。

0:33:28	はい。日本原燃のでございます。承知いたしました。
0:33:33	A規制庁コサクです。
0:33:35	何で最近駄目か。
0:33:38	ていうと、
0:33:39	最近じゃ駄目だからです。
0:33:44	会合で説明。
0:33:46	文とっておられるかもしれないと。
0:33:49	まだまだその相関関係どう考えてるんだとかっていう宿題事項があつて ですね。
0:33:54	なのに、回答するつもりがありませんっていうような会合での、
0:33:59	姿勢を示されちゃうと、
0:34:01	こちらとしては指摘せざるをえなくなるわけですよ。
0:34:05	もう一度指摘されたいですか。
0:34:08	ということなので、下、
0:34:11	わかってますやりますっていうんであれば、わざわざ
0:34:16	打たれるような、
0:34:18	ものを出す必要はないんじゃないですかねということです。
0:34:25	それ、
0:34:32	先ほど上出が言ったように、その全体、どういうことをやるつもりなのか かっていうプロセスがあつて、そのうちの今どこなのかと。
0:34:41	いうことが大事なので、最初に言っていたいてということですけど、
0:34:55	ちょっと話しとんちゃうかもしれないですけど、16 ページで見ながら、
0:35:01	お話するんですね。
0:35:03	うん。
0:35:11	この断面でどこまで行ったんですか。
0:35:14	今後どうするんですかっていうのが、
0:35:16	この記載でいまいちわからない。
0:35:23	ちょっと今、16 ページという流れですけど、12 ページ。
0:35:27	開くと。
0:35:28	これ再掲じゃないんですけど。
0:35:31	ステータス説明済み説明済み、継続検討説明いたします。
0:35:37	なんですけど、表層地盤について説明済みと思った記憶がなくて、
0:35:43	この会で、

0:35:45	クローズするのかっていうと最初のページにはクローズするようなこと書いてなくて、うん。
0:35:51	16 ページ終わってみると、
0:35:53	書いてなくて、
0:35:56	どうするつもりなんですかっていうのが、全くわかんないんです。ないってことないか。
0:36:01	信頼性向上の方にチラッと。
0:36:04	ことで、
0:36:06	位置付けがわからんのですよ。ここでおもむろに信頼性向上って出てくんですけど。
0:36:10	その棲み分けってどこでやったの。
0:36:14	上の方で検討するって言ったのをいつの間にかここで信頼性向上に変えられちゃってんですよ。
0:36:21	16 ページ。
0:36:25	これって何っていうのを説明もせずに、何でこんなこといえる。
0:36:32	これが今回のポイントだと思う。
0:36:37	安全の方でございます。ここのあれですね、江藤大平厚生向上の取り組みっていう、記載の位置付けと、上の位置付けそれぞれの
0:36:46	アセス、
0:36:48	和気のところだけれども、
0:36:53	それが、はい。
0:36:55	はい。10 ページの方の説明っていうのは、ベツショアノ。
0:37:00	今回の会合で、
0:37:03	説明をしていいでしょうというのは、自信があるから、説明済みって書いたって思ってますけども、そういう
0:37:11	ことでございます。その通りですねここまでの説明で、息をクローズといえますか最後まで頭を設定できると。
0:37:22	一応基本地盤モデル設定できるということを言ってきましたということを書いてるつもりなんで、ポツで言ってるような、はい。
0:37:32	説明文は、前回までですね、一つっていうのは今回説明文って本当に意思があると。はい。
0:37:40	同じ説明って書きちゃった。なるほど。
0:37:44	ずっとその上で、
0:37:49	16 ページの

0:37:51	5 時間、
0:38:00	秋にでもでございます。それがアジアの減衰は減衰それから競争は表層のそれぞれのところで、
0:38:10	そうですね、お知らせ、ここまでやりました。あと信頼性向上として、これやりますと、
0:38:17	多様な記載がちょっと、そうですね、読めないんですが、古作ですと頭の整理をしてこいと言ったのをせずに、ただ、位置付けを明確にしましたって最後のページに書いてるだけだから駄目だと言って、
0:38:33	前々から言ってるのは、お尻で適当にごまかすんじゃなくて頭でちゃんと考える。
0:38:38	いうことができてないってことなんですよ。なので、信頼性向上っての最後のページに書くんじゃなくて一番最初のページに書くんですよ。
0:38:47	こういうふうに進めたいと思っていると。
0:38:51	何でか裏面でやるんですか。
0:38:53	と言ったら、その時期にいうと、早く見通しを立てたいと。
0:38:57	いうことですよ。見通しを立てないと、どこまで深掘りをしなきゃいけないのかもわからないから、まずは見通しを立てるために、入手、入力地震動をセットしたいと。
0:39:09	いうことであってそれも、東海林正面切って言わずに、しれっととりあえずセットしました。
0:39:16	あとは信頼性向上で勘弁してくださいみたいに言われても、
0:39:19	何でだっていうふうになっちゃう。
0:39:22	この資料出されても、別に会合で聞いただけだからいいんですけど、
0:39:27	なので、そこを最初に言えば、
0:39:33	それに対して必要な情報整理と、
0:39:37	最終的に、
0:39:40	補正をするにあたって、データ拡充をする。なるほど。伴。うん。
0:39:45	という二段階を、それによってこの程度で何とか見通しが立てたと思います。
0:39:51	申請にあった補正にあたってはさらに、こういうことは、
0:39:57	これぐらいの期間でもできるんで、引き続きやって、その間に、
0:40:02	計算を進めて見通しをさ、立てて、
0:40:06	双方から攻めていきますと。
0:40:10	いうことをちゃんと最初に、

0:40:14	宮井ですおっしゃる通りで、そういうのを書くのが、この2ページのフローからそういうのがあってコストコのシライと話が繋がる、ちょっとこれはちょっと、
0:40:25	あの資料か資料か言うてる割合資料館、
0:40:29	いうところがありますので辛めで見通しを全然進める程度これをちゃんと明確にしてから話をしないとちょっとあっちこっち飛んで結局終わってないのに官僚みたいな。
0:40:40	不信感だけが残るという資料になりますが、これ見世間から見え方としても、ちょっとよくない、理解いたしましたので、
0:40:47	ちょっと手直しというのは抜本的ちょっと作り変えて、
0:40:51	だから、頭を持ってるともりですので、ストーリーをちゃんと明確にしておいていただきたいと思います。はい。はい。コサクですよろしく願いしますその上で、12ページの
0:41:02	書きぶりについては先ほど上出が言いましたけど、
0:41:06	まず、
0:41:08	説明を、今回、競争を、
0:41:11	見通しを立てるという意味での活動は一区切り。
0:41:15	つけたい。
0:41:16	プラス拡充をしていきますっていうことフェーズだというふうに、その次の信頼性、信頼性向上です。
0:41:26	ということも含めて、言ってしまうえばいいわけですよ。最初に言ってしまうえばそういうことがあるってことはわかるわけですから、
0:41:33	いえると。そうすると、前段すべてのアクションを語ることもできて、
0:41:39	色分けもできるわけじゃない。
0:41:41	それがやっぱりアノ08で、別紙3じゃなく、
0:41:46	別紙2-3、四っていう中で、各といった心なんじゃないかなと思いますので、
0:41:52	アイテムを全部並べて、その
0:41:57	出てくる期間、
0:41:58	十分性というようなことを十分結果範囲、
0:42:04	言っていただいて、この程度で見通しとしてはつけました。
0:42:08	いえることを説明。
0:42:11	それによって12ページのここで見、
0:42:14	ということだと。

0:42:19	はい。大枠理解して、1点だけ、
0:42:23	今回見通しを、の活動をこれやりましたと。おっしゃっていただいた通り、全体としては、概ね1個切りです。ただ
0:42:35	下水道総務部については、少しまだ不足があるので、それは回収して参りますと、規制庁コサクです。すいません、まだ減衰定数のこと言っていないで申し訳ないんですけど、すいません、それ。
0:42:50	減衰については今回まだ見通しを立てるまでデータ整理ができませんでした。なので、引き続きやって、次回会合では、見通しを立てて、
0:43:00	るところまでの説明をしたいですってということですよ。そうですね。はい。
0:43:08	同窓は、
0:43:10	時期が一応合わせた。
0:43:14	放送の通過調査って、
0:43:17	減衰は多分何だっけ。
0:43:20	減衰は信頼性向上のデータとして、
0:43:23	必要だと。
0:43:24	競争は、
0:43:26	減衰のついででやるわけで、やればいいと思っているのが何となく業者側なんじゃないか、そうじゃなくて、競争もデータとらないと、
0:43:39	9月の時点、今持ってるデータでは、競争の話が決着つかないとか、
0:43:45	それともう、
0:43:48	今のは、今のデータでも十分話ができるんですけど、
0:43:52	減衰データとるんだから、一応見ておきますっていう話だとか、どういう意識なのか、私はまだ理解できて、現在はどういうつもりだと競争の
0:44:03	追加データっていうのはどういう位置付けで取ろうとして、
0:44:06	元ノモトでございます。ねばならないのかというと、そこはノーだという認識ですけれども、ついてっていうのもちょっと泉は杉井といいますか。
0:44:19	やっぱり今のデータ見たときに、
0:44:22	やっぱり取った方が一ニワ嫌いなないので、取りますということでは、
0:44:29	あるということで、補強するためのデータという位置付けということかなというふうには思っています。どちらかといえば、里イデより鳥居松井よりなんですけども、なくてもう全然構わないのかというところとちょっとそうでもないのそのニュアンスは、
0:44:47	ちょっとスタッフにしたいかなと思います。持田政調会でその辺のニュアンスの違いが、とりあえず16ページは全くちょっと後、

0:44:57	ウノさんの考えと、これは結構このままでも、
0:45:05	どうだろうかね、
0:45:07	そうですね。当然設計のものでございます。
0:45:11	とりあえずですね、19992000円という施工別になってるんですが、全体量としては、このデータで十分だとは思っています。ただ、今回ですね、深さ方向依存ですとか平均だとかっていうふうな話をする中で、
0:45:24	今まとめている中でやはりちょっと足りないかなっていうふうな部分もありますので、それで深さ方向に戻るですとか、そういうことで、少しやはりデータを補充した方がいいんじゃないかと。
0:45:37	ということで、今回これで、私としては平均値、深度依存ということでご説明させていただきますけども、そのあとで、やはりそうでしたねっていう答えが、
0:45:49	出てもらえればいいなと私の期待ですけども、そういうことで、いくつかですね、ボーリング調査をする。
0:45:57	はい、規制庁わかりますアノ。
0:45:59	そちらの中でずっとよかったんで、そうなることさっき今言われたようにですね、大分、今のデータでこういう結果を平均できると。
0:46:12	だけど、新たに競争して、こういうところのデータをとって、確からしさを、
0:46:20	拡充していくんだ。
0:46:22	ということですね。それをちゃんと資料で、介護でわかるように話をしてもらおうということが
0:46:30	そうすると件数と競争が
0:46:35	新海工場長。
0:46:37	の宿題が続いつつも、今、見えている。
0:46:42	仮のところを進めたい。
0:46:45	その点、
0:46:51	井野でございます、いたしました。
0:46:54	すいません。
0:46:55	相田。
0:47:04	規制庁コサクです。
0:47:06	ちょっと脱線しちゃうんですけど、
0:47:09	私がちゃんと覚えてなくて申し訳ないんですけど、14ページの、今のお話をしてた、表層の信頼性向上という、
0:47:17	ところなんですけど、

0:47:19	これわあ、大井町観光第2保管庫とかってあそこら辺のものは何もないんです。
0:47:26	当然関野でございます。大規模観光第2保管庫がですね、実際にはそこを流動化処理とかがですね、掘削した中でございますので、
0:47:37	今その流動化処理等についてですね我々最初一括にしてまとめようと思ってたんですけども、分けた方がやっぱりその基準が違うということで、分けた方がいいということで、
0:47:47	いろいろデータをですね確認してたところですね、やっぱりそれはもう測定はされてたんで、そういうデータを集めるとですね、やはりこれ二つに分かれるという、いうことになりまして、
0:47:58	1034の方はですね、同じ。
0:48:01	流動化処理で使ってるということで、もうそれを今度、別の流動、我々が今やった流動化処理漏えいというやつは、流動化処理の一つのものなんですけども、
0:48:13	1013時1034の方、別のものなんで、それはもう少し別のものとしてですね、取り上げて、それはそれで一つの物性値としてご提案したい。
0:48:22	ということで、今度21日の資料にはですね、その辺のところも全部まとめてご説明できればというふうに、
0:48:33	規制庁補足です。わかりました。
0:48:44	今10ページの話と思うんですかね。
0:48:48	第二グループ。
0:48:49	はいそうです。その第二グループのところのですね、11ページで今、何も書いてないところがですね、ここ
0:48:57	択捉ですね、G0のところをですね、今整理をしておりますんで、コガ、この内容が出されて、ここが一応といいますか、その管理が一様にされて、平均を用いたいと。
0:49:10	いうふうなことで、ご提示させていただきたいというふうに、
0:49:16	規制庁、古作ですけど、ちょっと個別論に入っちゃって申し訳ないんですけど、これ自由離島ヶ所里道。
0:49:22	で周囲やったのが、
0:49:24	その外と円切りができる。
0:49:28	だけのものになってるっていうのはどういう話です。
0:49:32	ですね、
0:49:35	本、
0:49:37	この中に、今回の中にですね、

0:49:40	一応解析の方は出てるんですが、
0:49:42	実際にその埋め戻されると我々掘削してですね、全体を埋め戻します流動化処理をしました。でも周辺は、事案はそのままですっていう、
0:49:53	2次元的な解析とですね、全部流動化処理した、例えばインフラサーフで頭が全部
0:49:58	流動化になったっていうやつの比較をしたらですね、ほとんど、
0:50:02	あるんですね、ということは、建屋の近傍にある流動化処理の方の影響が強いということで、今回もし幾ら政府でこのG1034をやるのであれば、
0:50:13	そのインフラ専務には、上は流動化してるというふうなものを入れた方が、入れていけば、アノ所長ソウノ周辺ですね、事案の影響はほとんどないと。
0:50:23	ということで、それを使わせていただきたい。
0:50:26	ということが結果、将来的な結果です。
0:50:30	規制庁コサクです。やってることはわかりましたけどその解析はどこら辺で説明が入る。
0:50:37	21日の資料の中でですね、新しい流動化車等対策、新しい流動化処理のジーゼルをですね、今想定してますので、
0:50:48	その平均値を用いてもう1回2次元の計算をします。その結果で、当然、あの時山賀前全部事案がある場合と事案は全部流動化した場合にあれば、SHAKEでやったときに全部ウチャマっていう状態の比較をして、
0:51:01	それで影響があるかないということを説明させさせていただいた上で、どれを使うというふうなことを設定いたします。
0:51:08	規制庁コサク率は変わりました。
0:51:15	そうしますとこのページ、先ほどのあと10ページ、11ページ。
0:51:20	11ページの下1階の話なんですけど、そういった検討もしているということは、少し触れていただいて、詳述は後ろ見ればわかると。はい。ということだと。
0:51:30	はい。
0:51:31	はい。
0:51:32	この21日提出。
0:51:35	のっていうので、差し替える最後ですね。はい。
0:51:38	いただければ、
0:51:49	規制庁コサクです。

0:51:53	最初のページで方針とか全体のプロセスお話をさせていただくと、16 ページってのは振り返りに、
0:52:03	まとめるだけだと思うので、
0:52:09	問題なく書いていただけるんだろうなと。
0:52:13	思うんですけど、
0:52:21	その上でもやっぱり
0:52:25	信頼性向上って何かっていうのを最初にしっかり言っていただいと いうことと、その見通しっていうのをどこで、
0:52:31	取るんだと。
0:52:32	いうことを明確にして、そうだねって思えるようにしといていただく。
0:52:38	いうことがないとそこが論点、
0:52:42	いうことになります。
0:52:43	で、
0:52:46	12 ページは、
0:52:48	単純にステータスでしか書いてないのでその判断基準が書いてないん ですけど、
0:52:54	じゃあ、
0:52:55	その前のページかに書いてあるかっていうと、今一書いてあるように見 えないんですけどそこは考えてます。
0:53:05	伊藤さんどうですか。
0:53:10	そうですね書いてないんです。
0:53:16	うん。
0:53:18	規制庁コサクです。やっぱり 12 ページにいきなり言われても、やっぱり よくわかんないので、その前の個々の因子で検討しているところで、
0:53:28	返答項目パーツと並べたところにもうすでに書きちゃうのか。
0:53:32	或いは結果を出しながら、
0:53:35	ここまで行って、大体こういうところで、見通しが立てられたので、残りの 分は工場にする
0:53:43	この言い方はそれこそ戦略として原燃が考えるべきものっていうところ ではあるんですけど、明石さんの知見も入れていただきながら、
0:53:54	線引きの考えと、
0:53:56	もうしっかりと、
0:53:57	ちょっと、
0:54:09	でそれですね、

0:54:11	規制庁コサクですけど
0:54:18	カミデがその入力地震動を算定してっていう話を最初にしましたけど、
0:54:28	前の話だと、ここで言ってる 12 グループ、
0:54:33	出野アノ時、モデルっていうのは、
0:54:37	取っ掛かりからする等、敷地の特性を掴むためにまず 12 を設定しましたということであって、
0:54:45	設工認のモデル、
0:54:48	において 10 にしたわけではなかった。
0:54:51	はずなんですけど、
0:54:53	そこが曖昧なままなんかそうなっちゃったかのようにもなってるんですけど、そこはどう考えてます。
0:55:01	おっしゃる通りでして、
0:55:03	基本基盤モデルを
0:55:07	まずその検討のグループ。
0:55:12	それに基づいてやってきたのでこれ、あれですね最初に基盤を
0:55:19	7 日 12 グループ集約するのかっていう、ちょっと議論は我々社内でもしたんですが、まだちょっとここまで
0:55:31	検討の積み上げを、
0:55:34	12 ブロックベースで、
0:55:36	やってきたところ踏まえる等、ちょっと 12 グループで一旦はモデルを設定するのかなあという。考えていますか、ちょっと議論をしておりますてちょっと非常に歯切れが悪いんですけども、
0:55:54	少しですね、我々の中では、ちょっと宗を収入しながら議論しておって、今の状態だと 12 グループで、
0:56:07	ご提示することになるのかなあというふうに思ってるところでございます。
0:56:17	等、
0:56:19	こちらワー、
0:56:22	直下または周辺という中で、その場所での
0:56:28	適切なデータということであれば、どう区分けされても構わないんですけど、
0:56:34	そこで
0:56:37	一部顔をツカべられるような方々。
0:56:41	の、

0:56:43	思いもわかりませんが、
0:56:46	私がこれまでの話を聞いて思うところだと。
0:56:49	その限定した領域で十分なデータになってんの。
0:56:54	ていうのは、
0:56:56	気になる。
0:56:57	を行って、
0:56:58	1点しかないとかってということがあったりするわけですよ。
0:57:01	それでいいの不確かさそれで算定できん。
0:57:06	ということがあって、
0:57:07	そうすると、それを補完するのにじゃあどうすんのっていう話が次来るわけですよ。
0:57:14	ていうのをちゃんと、
0:57:16	そこまでフェーズにまとめて、こういうふうに行こうってなっていないですよ ねまだちょっと、
0:57:23	表現でございます。歯切れが悪いのは、そのあたりの議論をまだ社内で 積み切れていないというのが実態だということで歯切れが悪いと。
0:57:34	いうところでして、
0:57:36	我々の中でも一枚岩で、これで行こうというところまでちょっと辿り着けて ないと。
0:57:43	いうところなんですけどちょっと今の断面でそんなことを、そんなんでいい のかというのは広く、もう本当にそうなんですけれども、
0:57:51	少し社内の
0:57:55	検討させていただくことの話しかないのかなと思います。以上です。
0:58:01	はい。補足です。それで雄踏、言葉遣い火をつけて、
0:58:07	間違えないようにしてくださいねっていうのが、
0:58:10	規制庁コサクですけど、現状行っておくことで、
0:58:17	記載を直してもらうかあれですけど2ページのそのフローでいうと、
0:58:21	モデルの左脳整理分析っていうのは、とりあえず12でやります。
0:58:28	うん。
0:58:29	その上設工認上の扱っていうのを整理をすると。
0:58:36	いう際に、
0:58:37	まず、設工認での入力地震動というのをどう算定するのかと。
0:58:42	いう方針を固めます。

0:58:46	その上で、耐震計算をどうするかを、その影響を見ながら考えて整理をします。
0:58:53	いう2段あると思えばいいんですかね。
0:58:56	はい。
0:58:57	日本でございます。その通りでございます。はい。
0:59:00	わかりました。直接ですとそうするとそこまでちゃんと書いていただければ、用語の違いとかもそこでクリアになり、この言葉を使ってるのはこのフェーズのこの考えの部分。
0:59:11	いうこともわかると思うんで、最初にその全体像を示してくれというところで、そういったところはちゃんとわかるような
0:59:20	分解して、こんぐざって書かれちゃうとわからないんで、
0:59:24	整理をしていただければと思います。
0:59:27	はい。我々もちょっと言葉が揺れてきたっていう経緯もありますので、そのところ今回ちょっと揺れないように気をつけて参りたいと思います。
0:59:38	規制庁は、
0:59:40	駄目。
0:59:42	地盤モデルを
0:59:44	何をもって基本地盤モデルとするかという考え方もやっぱり、
0:59:48	出てくる。
0:59:49	今の話で、
0:59:51	40番モデルは、準例えば10グループのそれぞれのばらつきを含めたものにするのかしないのか。
0:59:58	で、
0:59:58	先ほど話があった、今後、
1:00:02	建屋機器応答解析をして、
1:00:04	戦略的に、
1:00:10	ない。
1:00:11	そういう中で、あり得る場合に、現時点で、基本情報モデル。
1:00:16	どの段階、
1:00:17	ということを明確にして、
1:00:20	一番
1:00:22	うん。
1:00:23	そういう使い分けが面白い。
1:00:26	はい。

1:00:30	具体的な規制庁青井です。具体的や、各モデルの場合の政治の話とか、あと学校案であると思いますけれども、
1:00:40	詳細に関しては、院長もヒアリングでさせていただき、
1:00:45	ノーでございます。東海林です。
1:00:51	規制庁コサクです後、
1:00:54	点確認なんですけど、今の2、
1:00:57	比嘉椎野。
1:00:59	あれなんですけど
1:01:02	岩盤の物性値。
1:01:04	について、
1:01:09	うん。
1:01:09	一応説明済みの状態、
1:01:14	再掲なだけのようにではありますが、
1:01:19	損
1:01:21	その認識で合ってます。
1:01:24	2年の方でございます。ここに記載している基本モデルとして、Aというグループでの小関の設定っていうのは、
1:01:35	この
1:01:38	説明としては追加するものは、特に中田島アノ、これ、あれですね前回お示したこの越智県以外のデータがここに載ってないの確かなんですけどそれはもう、後の補足説明資料見てくださいというそういう立て付けになるのかなと思います。
1:01:56	規制庁笠田です。わかりました。前は
1:02:02	例示で例示というかその段階でできてたというか、その建屋だけの情報しか出してないのっていうことです。
1:02:11	新野でございます。はい。その通りでございます。
1:02:13	はい、わかりました。まず、古作です。それで言うと、他の建屋もできましたってわざわざ会合のメイン資料で書く必要もないと思うので、
1:02:24	先ほど言ったように後ろにつけてるものの拡充状況とかっていうのをさっと書いといてもらえれば、
1:02:30	それでいいと思います。
1:02:40	あと、規制庁補足ですすごい体裁ですけど、
1:02:45	審査会合資料だと最初にお決まりの
1:02:49	1枚物、事務2枚ものですけども、耐震だと。

1:02:53	ありますけどそれはまたつけるってということでそれ以降のものを今回行ってたっていう理解でいいんですよね。でございますもちろんでございます。
1:03:04	おっしゃっていただいている、
1:03:07	2枚ものっていうのは、あれですね、江藤小久保倉庫の形式の方ですね。
1:03:20	昔から開放資料案というか、パワーポイントとしては、
1:03:25	とりあえず、
1:03:27	大枠なので、以上ですけど。
1:03:36	2ページですけど、
1:03:41	放送事務については、
1:03:48	ん。
1:03:51	そう。
1:04:00	6月の会合4月会議。
1:04:10	コジマの影響で作っとる。
1:04:18	多分それはこの今回の地盤モデルの投資をされ、
1:04:27	なんかにそういった説明も、
1:04:29	聞こえますって確か以前おっしゃってたと思いますので、このぐらいの何か、
1:04:34	今回の会合資料ではなくて、また後日改めて
1:04:42	述べてございますおっしゃる通りでして、今おっしゃっていただいたような下、ご懸念が確かに出るのもう最初に冒頭にもいただきましたように、
1:04:52	前回大臣とそれからいただきましたコメントでそのコメントに対して、こうしますというのをちゃんと記載して、ステイタス諦めた上で、今回の御説明といったような形でちょっと誤解のないようにしたいと思います。
1:05:05	そういった形で、これについては今後、
1:05:09	お願いします。
1:05:21	を、
1:05:22	というと、
1:05:23	2ページの件です。
1:05:29	全体との繋がりにって感じで言うと、何かあんまりよくないですね、何か新しいことのように、
1:05:41	全館塩見等、

1:05:43	アマヤ、
1:05:45	本当に出ますと
1:05:47	で一た各自を含めて検討したので、
1:05:56	検討を実施した結果、
1:06:00	その定数件数使ったというのが出てきました。
1:06:06	このフロー図は、ちょっとまた、
1:06:10	して、何か無茶苦茶なんで、なくなるんじゃないかなっていう気はしてま すけど。
1:06:15	じゃあ何がいいのかなっていうと、前回の、
1:06:19	介護資料の図 3 みたいな、
1:06:22	はい。
1:06:23	わかりやすい数でもあるんだけど、
1:06:27	悩ましいところで、ここの、
1:06:30	ヒアリング、
1:06:33	今回、こういうところを今、寺坂です。
1:06:39	活力のところは今回結構、
1:06:43	前回のテーマは、
1:06:47	うちがちょっとざっくりとした。
1:06:51	すんの。
1:06:53	おんなじように、その競争も、
1:06:58	一応、前からの繋がりにっていう部分で、その導入のところとか、あとは
1:07:06	同じような目的で使ったやつはおんなじ使ってもらってこれは毎年、
1:07:11	この
1:07:13	図は、例えばその、
1:07:16	9 ページでいうと一番下の右の図が含まれて、
1:07:24	麻生ですまだ、
1:07:27	同じものですが、まだこれ、
1:07:32	また 21 日ですとか、今日も話があるんですけども、そういう中で、
1:07:37	また形を変えるかもしれない。
1:07:40	そうですね。ここに入れてはおりますが、全面的に変わるかもしれない。
1:07:44	はい、清です。でも事前 678 お前、介護を使ったものはそのまま使う。
1:07:53	はい。ちょっと河田タカギでもいいんですけどその同じ目的なんだけど 違う図、ちょっと違うとか使う。
1:08:01	繋がりにっていう。

1:08:03	はい。はい。
1:08:06	新しいものであれば、新しい傾向しましたっていう説明を、私も、
1:08:12	その辺
1:08:14	岡崎です。
1:08:15	はい。少し、
1:08:16	まだあまりそういう点では、
1:08:20	にしてまだ散る。
1:08:22	作りこんだ感じにして、
1:08:25	はい、藤堂関野でございます。承知いたしました。
1:08:33	規制庁、古作です。
1:08:35	全般に、
1:08:39	会合資料で、次、細かくいっぱい書いて、
1:08:43	かわからないので、
1:08:44	端的に書いてください。詳細は
1:08:48	後ろの方の何ページとかで書いてくればいいんで、
1:08:52	ポイントだけにしてください。
1:08:55	ございます。承知いたしました。あまり情報量をやたらふやさないように、はい。
1:09:00	いきたいと思います。
1:09:11	磯野海吾資料でコメントはございますでしょうか。
1:09:21	それでは次の資料はすいません。規制庁、江崎です。いろいろ言ったので、一度ここで振り返りをしておいていただきたいので、
1:09:30	少し休憩を。
1:09:33	はい。うん。
1:09:34	まず、一応念のため最後に土岐ますけど、ここまでは方向性、
1:09:43	とか、
1:09:45	姿勢的にこうしてくださいねということでお話をしただけで、ここの内容については触れてなくてこれからの資料で話をするつもりだと。
1:09:55	ということなので、ご認識だと思えますけど、競争について説明を受けたというつもりはまだないし、
1:10:03	他その信頼性向上でここの部分からしていいよってということも、話を聞いていいるつもりはないし、
1:10:11	これから話をさせていただくということで、

1:10:14	休憩の中でも、次、こう説明しようとかっていうのも頭の整理もしておいていただければ、
1:10:22	はい、規制庁の武田です。それで挨拶に入りたいと思います。
1:10:26	14時40分ですけども、確認事項、振り替えのまとめは10分ぐらいでよろしいですか。15分、15分。
1:10:36	15分いただいてよろしいでしょうか。はい。
1:10:39	では、14時55。
1:10:43	じゃろう提出します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁の田村です。それでは、再開したいと思います。日本原燃の方から振り返りの説明をお願いします。はい。まず全体ですけれども、前回ヒアリングのいただいたコメントという資料の、
0:00:16	ことをおっしゃってたんじゃないくて、
0:00:19	原燃としての姿勢を
0:00:22	見直す必要があるという趣旨のご指摘だと、いうことを踏まえて、その検討体系としてしっかりしたものにするべく、電力会社での確認を行って、何をすべきか考えるよう、
0:00:35	等考えるような体制作るよう改善を図ることということでコメントいただいているところでございますんで我々の改善の方向性については、進め方、やり方ご報告して参ると。
0:00:46	いったようなところを申し上げたところでございます。
0:00:49	で、当会合資料の骨子につきましては、②番、この構成といたしまして、この行動を記載するじゃなくて前回会合での説明内容それからその説明、
0:01:03	に対する指摘事項を踏まえたタスクで、今回の検討の状況結果という流れで説明することということをお願いいたします。これが大きな流れの話で、次ですね位置付けとして基本地盤モデルをあたかも作るの目的のように、
0:01:19	見えるところがあるので地盤に、地盤モデルによる入力地震動を策定するのが目的であること。
0:01:25	であることとそれが基本地盤モデルの見通しを得る活動を今回行っていることという絶対位置付けの記載については冒頭の全体の中で施設示すことということをお願いいたします。
0:01:37	すいません。はい。規制庁コサクです 2 番の、
0:01:40	の、はい。
0:01:41	前回会合での説明内容云々って書いてある。
0:01:46	ところの前に、はい。
0:01:49	前、本当の全体像。
0:01:51	検討の全体像ですね。はい。
0:01:54	施設に至る耐震設計としての全体像を示して、
0:01:59	それの中での位置付け、
0:02:01	がわかるように、
0:02:09	そっち。私はすみません、チェックしますすみません。

0:02:19	今、
0:02:22	イマイまでますはい。
0:02:29	はい。今のいただいたところは②で、耐震設計の全体像とその中でこの地盤モデルを作ってるものの位置付けがここで対象ちょっと前。
0:02:39	大丈夫です。一番後でルール策定における全体像じゃなくて全体だって、耐震計算結果まで今使っていないから。はい。
0:02:49	はい。
0:02:53	すいません
0:02:56	今様できましてですね、4番ですけれども、減衰定数及び表層地盤につきまして、下資料冒頭にて今回説明内容でもって見直し替えられた範囲及び、
0:03:09	シライ 1000 個かかる工場は、今後進めていくと、いうことを説明することということで確実に係る説明の中で、結果の見直しと信頼性向上する線引き。
0:03:20	を、わかるようにしなさいということでございます。
0:03:25	5 番目競争基盤について、流動化処理等についてマルヤマの影響 2 次元的な検討を行ってますということをお願いしたけどもその確認内容についても触れた説明をしなさいということでございます。
0:03:38	6 番目、基本地盤モデルのグループの扱いとか分ばらつきの扱いとか、というようなところは基本地盤モデルの作成時点や設計上の入力時の算定時点における、
0:03:51	位置付けを踏まえて、誤解ないように説明することと、ということでサエグサのような言い方に、言葉遣いすることということですね。はい。規制庁コサクですけど。
0:04:04	何を言ってるのかが、これでわかる人はどれだけいるのだろうか。
0:04:09	思うんですけど。はい。ですね。
0:04:15	まず 4 番なんですけど。はい。
0:04:18	見直し替えられた範囲。
0:04:20	で、範囲そのものを冒頭に言わないですよね。
0:04:26	ないよ。だから、前回、
0:04:30	前回、今回説明内容、見直し変えられた、これちょっと、
0:04:35	減らないかもしれない、なんちゅう議事録かこれ
0:04:40	ヒライたら我々が考えるんじゃないで、コサクそうじゃなくて冒頭に言うべきは、その見直しを立てて、
0:04:49	モデルの比較、モデルを踏まえた応答の比較だけど、

0:04:54	をしていきますっていう作業方針、
0:04:58	と。
0:05:00	見通しを立てるといったところの程度感。
0:05:03	どういう、どう移動、どこまで行ったら見通しを立てたと判断するかと。
0:05:08	いこと、判断基準を作りますよってということ。
0:05:13	判断基準も最初に言うんじゃないくて、それぞれの項目で、
0:05:16	書いてくれていましたよね。
0:05:19	なので、それに繋がることを冒頭に書いていただいて、
0:05:25	それぞれ2、その見通しの判断基準をっていうのは、線引きと言っているところ。ただこれがすいません結果的にここまでは見通しが取れてここからは信頼性向上という位置付けで結果の方の話で書いていたので、ちょっと今の小崎さんおっしゃってたのとちょっと趣旨が違う書きぶりになっているので、ということになります。
0:05:45	で、東レからその結果、
0:05:52	ためのちょっと1回方針であり、
0:06:14	困難
0:06:15	ウエダよ。
0:06:16	判断基準。
0:06:23	当初コウノハタケ。
0:06:26	うん。はい。そっちも入るんですよね。と思ってます私は。はい。
0:06:32	そうですね。高坂磯それで、
0:06:40	規制庁コサクですけど冒頭にて判断基準を示すことだと誤解されるので、
0:06:47	方針の中に、その判断方法、
0:06:53	はい。ごめんなさい。そこじゃない。そうですね。
0:06:57	どっちか。
0:07:01	出てくる。
0:07:06	中出じゃなくて、方針、括弧、
0:07:13	その判断。
0:07:15	広報含む。
0:07:23	そうですね、上を示す。
0:07:27	もし伏見さん。はい。
0:07:40	あと割り勘後、
0:07:43	信頼性向上、

0:07:47	後、後
0:07:52	そこに残ってるとか、はい。
0:07:59	これはこれで結果に対して見てたんですけどね。はい。うん。
0:08:06	Dはコサクですけど、この結果に対する見通しって上書いてその結果の見通しだけど、これどういう意味合いになる。
0:08:17	下は、各評価をやった結果なので、
0:08:21	見られた。
0:08:28	結果の人じゃなくて、多分伊東西縁ちゃう。はい。うん。はい。はい。はい。うん。
0:08:33	見通しと信頼性の向上と、
0:08:36	次、違う、違うでしょ。はい。それでカセですね。
0:08:43	あんまり、
0:08:44	角田加来です。そう。
0:08:47	はい。
0:08:48	そうですね。うん。
0:08:52	はい。
0:08:54	はい。はい。仙波。はい。
0:09:01	7、6番までいきましたは、7番です。基本地盤モデルでの総グループ誘発会
0:09:10	ここに、
0:09:11	6月開及びバラつきが扱いについては、基本モデル、気持ちはモデルを作成する時点ですとか設計上の入力地震力の算定時点における位置付け踏まえて、
0:09:24	誤解のないように、説明といいますかこれだから検討していくことっていうことですねもうそれは言葉遣いをコサクです。これがですね、これも何て言うかわからなくて、
0:09:37	申し上げたのは、
0:09:41	冒頭で今回、さっき②でしたかね、全体像を示せと。
0:09:46	言ったときに、
0:09:49	12グループで検討することと、耐震設計、
0:09:54	設工認の補正をするにあたっての、
0:09:58	地震入力地震動の枠組みと、ここをちゃんとす。
0:10:03	仕分けして、誤解しないように、プロセス変えてねということです。
0:10:10	圧壊と設工認そのときに、ばらつき、

0:10:15	サノ設工認でのばらつきのデータの取り方っていうのも考えるんでしょ。
0:10:20	いうことを
0:10:23	気になってるポイントをお話ただけでは、
0:10:26	ばらつきだけ整理してもいいです。
0:10:56	上にフローでの、
0:10:59	検討が、耐震せえ後段の耐震設計で、
0:11:09	そうか。
0:11:13	だから、それから扱いの、後段の対比設計での
0:11:21	扱いというのに気づき
0:11:22	木野。
0:11:26	わかるように話を進めていくこと。
0:11:30	すいませんちょっと
0:11:31	いただいたことを何かすみません、決定おっしゃる方が私、
0:11:39	2グループだけじゃない。
0:11:51	アベ。
0:11:52	規制庁コサクですけどあんまり言葉としては好きじゃないんだけど、今日の資料の2ページで言えば、下二つ。
0:12:02	モデルの差を、
0:12:05	整理分析、
0:12:08	する際の応答と、
0:12:15	その後の耐震
0:12:17	計算で用いるに設定設工認、
0:12:22	申請として最終的に設定をする入力地震動と、
0:12:27	ちょっと
0:12:29	はい、はいます。
0:12:31	あとちやいを。はい。
0:12:33	扱いを、はい。
0:12:35	基本地盤モデル、はい。
0:12:38	はい。
0:12:40	及び
0:12:41	その後の、
0:12:47	入力地震動の算定、
0:12:50	設計、基本は、
0:12:54	住民グループ様に行くかどうか、それを基本事項の設定の時と、

0:12:59	そのもの笹野分析の、
0:13:02	ところ使える範囲、申請、申請の使えるところ、
0:13:06	扱い方、
0:13:07	含めて考える。
0:13:14	の設定。
0:13:16	地盤モデルの設定は、これは、
0:13:19	その後の、
0:13:21	その後の、
0:13:24	先生基盤モデルとさ。
0:13:27	CFAM
0:13:28	分析、
0:13:37	等を踏まえ、全部の案件等を踏まえて、扱いを決めていく中にグループの扱いを、を決めていくということは、どうするのか。はい。整理整頓。
0:13:47	はい。あ、えっとね、今コサクですけど、扱いを整理すること自体最終最後の四角にあるわけでしょ。うん。うん。うん。
0:13:56	で、
0:13:58	そんな時の、まずは地盤モデル、基本地盤モデルで、応答解析をして出てきてるもの。
0:14:07	の応答の名前と、最終的に設工認で補正をして、
0:14:13	今後用いると言っている入力地震動と、ちゃんと用語を仕分けをしてくださいねっていうのがまず一つ。
0:14:23	で、
0:14:27	補正で、入力地震動として設定をするときの考えを整理するにあたっては、
0:14:37	不確かさ。
0:14:39	に用いるデータの十分性等を踏まえて、
0:14:42	よく考えて、
0:14:44	整理してくる。
0:14:50	マツオ計画分けた方がいい。
0:15:22	で、設計値を入れてて、落ちる設計を入力し、
0:15:35	温泉
0:15:36	算定する上で、
0:15:41	恐れている変動さん。
0:15:46	では、

0:15:49	うん、これ。
0:15:50	年金はこれ時間として持っているデータを両方センターについて説明すること。
0:15:57	これ2グループ、子供は1、
0:16:10	9番です。衛藤岩盤部分の減衰定数については前回会合の説明内容との対比として通過鉄塔部分がわかるように記載をふやすこと。
0:16:22	10番目前回会合での内容と同じ内容を、を説明するときに、違う図を使わないことということです。11番目アノ会合では端的に説明を行って、詳細は耐震087ページを参照するかを、紐づけがわかるようにしなさいと。
0:16:39	以上です。
0:16:42	最後で思い出したんですけど、その08のことを、一番上の①ナカ②とか、
0:16:50	②加古
0:16:53	することから、
0:17:01	前回から08に、
0:17:04	拡充してますよってということも説明してくださいっていうのが、
0:17:14	岩盤のところに書く時は、ここ全体全体じゃないです。
0:17:42	規制庁の竹田です。
0:17:43	以下につきまして何か成長側からコメントございますでしょう。
0:17:48	弊社はですね、さっきの丸ミイで、前回資料の最後の資料で、資料の引き続いて、
0:17:58	説明資料、また、
0:18:01	続いているんですけども、
0:18:02	今回、同じスタイルで、それでも負けますから、本資料と
0:18:08	同じ資料番号で一つにするのかどうかっていうことですよね。
0:18:13	そうですね。
0:18:14	何百ページのファイルにするのか。はい。なるほど。
0:18:19	でも、
0:18:21	私以前、電力でやったときは分けてた本なんですけれども、
0:18:26	ここ、ここみんな一緒にするのかしら、割と開示、やっぱり、
0:18:31	話はまだ今回はちゃんと呼び出しとかもつきますので資料が分かれていますもちゃんとよく私はできるようにしますので、もうあのハンドリングを決めて、

0:18:39	わかった方が流砂プリントフィーダというふうには私は思うので、よければそうさせていただこうかなと思うんですけども。
0:18:49	はい。長井社長。最終的には、
0:18:55	分けた方が本当に、
0:18:58	それから、ちょっと08、ごめんなさい、⑧のところで、
0:19:06	等、
0:19:07	不確かさの花強いですが、
0:19:13	入力地震動を算定する上では、ってなってますけれども、
0:19:20	要はばらつきの考え方の話ですね。で、
0:19:25	これって
0:19:30	現段階で決める必要はないですか。
0:19:32	入力地震動を算定する段階まで。
0:19:39	次の考え方。
0:19:46	入力地震動
0:19:50	と、
0:19:51	体で決めて、
0:19:53	ものかなというふうには思っていて、
0:19:56	ここを
0:19:59	そうですね。具体論は、やはりちょっと入力値施設の入力地震動を決めるところで、ちょっと一緒に扱っていききたいなというふうには思う。
0:20:12	松井。
0:20:14	ここですけれども、
0:20:17	ばらつきはもちろん、基本にホテル基づく算出結果としてばらつき考慮していかなくちゃいけないというのは、それはもちろん、その通りでもあるし、
0:20:27	それがいかほどの量の中でもう士安心前にもあまり疑念のないところではあるので、
0:20:35	そういう方針はもちろん、この段階ではメーカーに、
0:20:40	よって多く必要があるかなとは思いますが。いうじゃないですか。この段階というのは、
0:20:47	PRAモデルを設定する上で、はい。そうですね。今後のあれですね、本当に個別具体の設定は、どういうデータにっていうのは、この後やるんですけども、
0:20:57	今これを設計する上で、今後こうやって

0:21:09	今絶対必要だと言われる。
0:21:11	けど、やはり一番
0:21:13	最初、
0:21:14	イシイ、
0:21:19	現時点機、
0:21:20	基準時間モデルを設定する上でのばらつきの考え方というのは最低必要だと。はい。
0:21:26	はい。はい。
0:21:29	そういう
0:21:30	な。
0:21:38	規制庁コサクですけど、⑧は補正にてってなってますけど、
0:21:44	補正にて考えるにおいては、本巢の基準地盤モデル、
0:21:50	もうそもそも標準一般的なものとしてと言ってるんだから当然同じようにやる。
0:21:56	ことになってってということなので、最初に言っておきましょうねってということだと思うんです。
0:22:02	で、12グループ不確かさ、ばらつき考えようとしたときには、こうなりますよ。
0:22:08	で、それを見渡してみるとこういう特徴があるからこうしましょうよ。
0:22:12	いうふうに、ここにやることによって、この⑧の検討に繋がってくると。
0:22:18	いうことになるんだろうなと思います。
0:22:26	規制庁コサクですそれですね、
0:22:33	⑦について、
0:22:36	な名称だけでちょっと話しちゃったんですけど、作業プロセスとしても二つにしてねって話をしている、
0:22:43	最後の四角を、
0:22:47	ここでは何だっけ。
0:22:51	設計用入力地震動と今書いてある。
0:22:54	ものを、
0:22:57	どうしていくのかっていう整理と、
0:22:59	あと耐震計算、
0:23:02	そしてどうしていくのか。
0:23:05	ここだって松木でしたっけ。
0:23:08	施設耐震形。

0:23:09	設計計算。
0:23:12	この表現がどうかわかりませんが、そうです。
0:23:15	これの取り扱いを整理するっていう、二つあるんですよと。
0:23:20	いうことを、二つあるならちゃんと二つ書いてください。
0:23:28	それがこれまでのヒアリングなり面談でも混在してたから、何を言っているんだ。
0:23:34	やるつもりがあるのかないのかみたいな。うん。ずっと。
0:23:38	話が混迷をされていてですね。
0:23:41	一旦ちゃんと整理をして、
0:23:43	話をする必要があるかな。
0:24:03	私だけは、
0:24:07	広瀬赤塚。
0:24:09	バラつきのプロセス二つボーリングは1個しかないとか、そういうのも提供してくる。
0:24:15	言ったところの趣旨は始めるということでよろしいでしょうか。
0:24:21	地震力のメーターが名称問題じゃないやつは、ばらつきが、
0:24:27	考え方が変わるんじゃないかと、その整理が必要だということで、いろんな考え方がですね、1個しかない場合は、はい。
0:24:39	どうしてもっていう
0:24:41	そのときに、例えば、例えば表層なら全体的、はい。
0:24:45	バス停ならそういう人はいますし、或いは追加であります。
0:24:49	近隣のものを出すというのは、
0:24:52	はい。はい。
0:24:54	そういう考え方を、
0:24:56	示してください。はい。ですから、この10人がもうあたかも決まったようにそれだけで突っ走るという、みすみすなことだけはすんだよと、きっちりそこを考えて、10、12が、
0:25:07	もっと細くなるのか広く集約されるのか、また、またまた違うところで広がっていくのかは、もう当然我々考えるんですけども、その辺を考えても、
0:25:18	関西支店、規制庁で考えるべきばらつきというのが重要であるということをお願いしたい。はい、わかりました。
0:25:32	質問がよろしいでしょうか。
0:25:36	それでは介護資料案としては、はい。これで終了とさせ

0:25:41	次の資料について、ぐらい入りたいと思います。
0:25:47	日本語でございます。タケモト 08Gのご確認をいただきたいと思うんですけども、昨日二つ今後の廃棄簿でたつの市、
0:25:58	整理してきたとすると 31 日にお話した問題等がございますけれども、
0:26:03	あと本体の方、よろしければですね本体の方、
0:26:08	ご確認とあわせてちょっと足らずの方。
0:26:11	多少をしながら、
0:26:14	そういうような形で、ご確認いただければよろしいのかなというふうには思うんですけれども、いかがでしょうか。
0:26:26	ありがとうございます。
0:26:28	そうしますとですね、今回、もうこ、もちろんこれも読み上げたりなんかいたしませんけれども 31 日お話しましたアビル 8 の例えば 08 でございますけども、
0:26:40	今回ですね、大きくですね、この
0:26:46	地盤モデルの設定につきまして、頭のですね方針のところから書き下すような形で、
0:26:57	記載いたしまして本文のところですね、一通りのストーリーを図りつつ、残りの 4 因子のですね検討は別紙に飛ばすといったような形での構成として参りました。
0:27:10	ですね一番最後のちょっと今別紙 3 っていう形で残ってしまっていますけども、これ別のサトウのように、飛び込ませる形にいずれなるということですね報告タイトル自体は、
0:27:22	今ちょっと消えてるものと、いうふうに見ていただいて結構かというふうに思います。
0:27:29	ハタですが、以上でございます。
0:27:34	はい。
0:27:35	以上です。
0:27:37	佐治スタッフの方に入り、
0:27:42	工夫して確認していかないと後は、
0:27:49	まず、本文、
0:27:53	までで、確認事項はございますでしょうか。
0:28:01	大丈夫
0:28:02	規制庁コサクで全然大丈夫じゃないのでなんてよくなればいいたろうっていう。
0:28:08	こと。

0:28:10	なんですけど、
0:28:14	等
0:28:16	何が骨子なんだっていう、
0:28:20	ことなんですけど。
0:28:24	これって、
0:28:29	表題が、地盤モデル及び物性値の設定って言うてるんですけど、
0:28:38	そもそも、
0:28:40	地盤モデル及び物性値って正しいんですか。
0:28:44	いや、これ大丈夫。
0:28:46	なんか委員会は香田社全体そういうことやってるんですね延ばせるけどおっしゃる通りで今もう原水とか試設計とか、4 イシイ出てきてるので僕ってだけではとてもないんで、
0:28:57	もはや古い名前。
0:28:58	使えることは当然あるだろう。
0:29:02	し規制庁コサクです海越表でつくこともありですねもうちょっと、
0:29:07	全体像がわかる、表題にさせていただいた方がいいかなと。
0:29:13	08 が引き継がれて、ビジョンがあれば、態度が変わってもいいです。
0:29:22	それ
0:29:25	この資料って別に清 4 イシイの話をしたいだっけじゃ本来なくて、
0:29:32	48、
0:29:34	より、
0:29:38	はい。
0:29:41	1 ページ。
0:29:46	はい。
0:29:49	その後の話が續いて、
0:29:52	江藤、日本原燃のオガセごめんなさい。
0:29:54	違っていたら申し訳ないです。今の話というところでは我々の最終的に4 市に対する検討をやるんですけどもその前にはちゃんと4 市が何でその良いでいいのっていうところの説明が必要だというのは、今までいただいたご指摘からも必要だというふうにし、
0:30:08	しました。その時に、話としてあるのが、やはり最初にまず今ためさをした9 っていう数字、これ表層と岩盤と解放基盤以深でそれぞれ三つのアノイシイこれでザッツオールになるわけなんですけどもそれに対して、

0:30:21	いろいろ絞り込んでいくと最後 4 になるのでこの四つについて深掘りを しましようというところで一応背弧し、ある意味骨子として、そこがはいち よつとわかるように作ってきたつもりでございますちよつと何か目的とか が書かれてないとか、そういうのは、
0:30:35	わかっています今、今となってはい。ただそういう骨子で、検討をちゃんと 順番に進めていってますということはちよつと今回わかるように変えて きたつもりではありました。はい。
0:30:45	全部です。
0:30:47	LCO潰せしようということは、はい。はい。はい。そこが足りてないと思っ たので、はい。
0:30:55	規制庁コサクです。
0:31:00	一方 2 歩II見ると、先ほどの話と矛盾した状態になるんですけど、私が 誘導したような感じがありますが、
0:31:08	2 ポツの最後のところ上記を踏まえのところを見ると、基本地盤モデル ってというのは、
0:31:15	申請における入力地震動の算定に用いるもの。
0:31:19	いう定義をしてるわけですよ。うん。だからさっきは違うこと言ってたわけ ですよ。
0:31:25	こっちだそうです。
0:31:30	さっきのプロセスがあるとすると、ここでそのプロセスを書き、
0:31:34	それを検討する場所が作られ、
0:31:38	という必要があつてですね。
0:31:41	それちよつともともとその基準、基準、あ、ごめんなさい。
0:31:48	基準地盤、基本地盤モデルも、申請時はモデルと比較をして、最終的に 耐震計算ではっていうのがありますけどそれはこの資料に入るんです か、入らないですか。
0:32:00	三野でございます。最終的には入ります。
0:32:03	そしたら、古作です。それも含めて、この範囲を説明するものでずっとい って、パーツとしては作っておいて、いつぐらいにどこでこういうふうにな ってから記載していきますっていうふうにかかないと、
0:32:20	おっしゃる通りです。はい。はい。はい、原燃の小形ですおっしゃる通 り、
0:32:24	改めてお出ししてから眺めたときにポツがちよつとすみません全然書い てる後ろに書いてる。
0:32:34	9 から 4、

0:32:38	おっしやったの。
0:32:40	私はちゃんと会合資料
0:32:48	はい。
0:32:49	ですよろしくお願ひしますそれが
0:32:56	あるわけじゃないんですけど、
0:32:58	現行完璧に話。
0:33:01	2 ポツなんかやっぱり変化が、
0:33:04	一番、
0:33:05	それが最初に思ったのは、
0:33:07	日本で書くぐらいの内容って、下線引かれないはずだよな。
0:33:13	本来ね。
0:33:14	高井会社員さんから、そんなに変わんないはずだ。
0:33:18	はい。ていうのがあるべき姿。
0:33:21	大分とは言っても、
0:33:25	ていうことの趣旨って触れない。そう。だから、その辺は表現できたらいいなっていうのが、見てて思ってるんですけど、衣川一色としてその辺は何か考え。
0:33:38	原燃のオガセすみません、若干前に逆を突いてしまったわけなんですけど、ちょっと第2回でいろんな、出てきたキーワードというのはやはり入れた方がいいかなと思ったんですがはい、今野さん。
0:33:49	第1回と変わらないところが理想であろうと、理想というかそういうふう
0:33:56	に我々方針を今日共通のものとして扱ったので、
0:34:02	あまり変えないほうがかえってよかったです。
0:34:06	そのまま使えるバス設置がいいんですけど、多分、
0:34:11	もう、とは言ってもこの資料のわかりやすさとあと今話をしていく。
0:34:14	ことがまずザイゼン。
0:34:25	入ってもらった上で、前と同じ言葉が使えればいいんだけど、変わっちゃう場合には、ここはこういう内容になってますとか説明できれば、それはそれでいい。
0:34:32	対応が説明できて、この考え方は、第1回説明したことが変わったわけじゃない。まじか。
0:34:34	例えば、
0:34:39	だからその辺、ちょっと理解はしていただきながら書いてくれる。
0:34:39	みたいなんで、

0:34:41	次か。
0:34:44	全く第 1 回のを明示して書きすぎるんじゃないくて、
0:34:51	ジンノでございます。ここちょっと。すいません。悩みをもうちょっと申し上げると、
0:34:57	前回までの会合でその第 1 回での反省をやっぱり我々した。
0:35:04	ですねやっぱり第 1 回ちょっと足らなかつたよねって言ったような、
0:35:08	反省をしたんだとは思ふ。
0:35:10	て言って、
0:35:12	けども、その反省ホアシで検討したら結果的に第 1 回でやったことっていうのは園田講師から、もう 1 回あれだったらそういう間違ってたよねっていう良い規制庁ですけど、すいません。
0:35:25	まず第 1 回つつても、第 1 回の当初申請と補正では意味が違う。うん。
0:35:31	補正のときには、周辺の地盤直下或いは周辺のデータを用いて、
0:35:40	ちゃんと評価をするという姿勢に変わってるわけですね。はい。はい。その点においては、それはさほどですね、違いがなくなってるんです。おっしゃる通りです。そうです。だからこそ第 1 回時には第 2 回も同じようにやれよというふうにはこちらはコメントして、
0:35:56	にもかかわらず、第 2 回の当初申請において、
0:36:00	ショッカー或いは周辺ではなく、エリア全体と言ってきたから、うん。
0:36:05	第 1 回と云ってること違うじゃないかっていうまず反省事項ができてるわけですね。
0:36:09	ていうのと、もう一つは減衰で、
0:36:12	減衰は第 1 回も、
0:36:16	何気ず、
0:36:18	材料原材料材料減衰だけのデータで保守的にやりますと言ってしまっていたものを、
0:36:27	自分の敷地の状況を踏まえて適切に設定をします。
0:36:32	いう
0:36:33	データに真摯に向き合うっていう姿勢に改めたということでそこは、第 1 回でもできなかったところなのでそこは、この際しっかりやらせて、
0:36:43	まずと言って、改めて、
0:36:47	ていう 2 点違いがあるんですね、そこをちゃんと認識しておくことだと思います。それで、補足説明資料の位置付けなんですけど、一応設工認の分割の全体として一体として説明をいただくと。

0:37:02	ということで、工事会でやるときに前回と同じですというときに、補足を改めて作り直すということがないように、継続していただいているということだと思って。そうすると、
0:37:16	第1回と第2回が違うと。
0:37:18	そんなん書き分けるっていうことをしなきゃいけない。
0:37:22	前のものは前のものとして残しておき、今回は今回、今後こうしますだったり、
0:37:28	いうふうに配慮するんじゃないかなと思う。
0:37:32	前年のオガセです第1回の際にそういう方針で第2回も含めて本部共通でという、イトウで作っていたのがすいませんなんかちょっと、今回は第1種だったので、ちょっとそんなところがございますそれは申し訳ない。
0:37:45	でも、
0:37:46	終わっても、スポーツの場合、
0:37:49	減衰を、材料減衰、何にも書いて、うん。
0:37:55	実態に即したものです。
0:37:58	即したモデルを、
0:38:01	作ってみますぐらい。
0:38:02	それを採用しますとまだ入って、昔は3分割でやってました。今回はちょっと、
0:38:10	まずまで作っていきますという名前を、その地盤の実態を考慮して地盤モデルテックス当時はそういう名前をつけて、ここで作って、黙殺そのまま採用したんですけど、日本では、それどう使うと。
0:38:25	まずそういうものを、今回考えます。あと下書いてあるのはそういう状態変化、基準地震動なりまして、埋め込みを考慮するなりましたっていう
0:38:35	設計の状態。
0:38:40	書いてます。
0:38:40	以上ぐらい。
0:38:42	なはずなんですけど、言葉の使い方が最新の状態とちょっとずれたという
0:38:48	3年、
0:38:51	がらっと変えかけるんじゃないか。
0:38:57	ジンノでございます。はい、承知いたしました。だから2ポツは極力、大会をそのまま生かす形で、
0:39:04	追加せるところは、

0:39:07	何だろう。
0:39:08	やったほうがいいんじゃない。規制庁布施です。別に手をこうやってもいいんですけど、ちゃんと違いがあるのか、言葉の拡充だけなのか。
0:39:19	そこら辺をちゃんと認識共有することだと思いますので、違いが出てと思ったら、併記するっていうことをしておけば、違いがあると思ってるのかないのかっていうのはまず、
0:39:32	理解ができるし、そこで認識のずれがあれば、ヒアリングでコメントすればいいので、
0:39:38	作成方針としてそれさえ守ってくれる。
0:39:41	わかると思います。
0:39:51	A規制庁コサクです。で、7の今後の反映事項の方で書いていただいた本文と言ってるところろうんか、今のようところで記載が甘くなってるっていう。
0:40:05	異なる。
0:40:06	ですね。
0:40:08	現状のそのこ反映事項も4因子っていうことにこだわり過ぎて書いているので、
0:40:14	そもそもこの書類で書く全体像って何ですか、そのプロセスって何ですか。
0:40:19	何でそういうふうにしてるんですか。
0:40:22	ていうことを説明するっていうふうにまだなっていないわけですよ。
0:40:27	はい。
0:40:28	これは
0:40:29	ここ、こちらが指摘するような話ではなくて当たり前のことできてないっていう指摘なんで、
0:40:36	ちゃんと説明し切ってください。
0:40:38	ということです。
0:40:40	ありがとうございます。本当に2日にちょっとたらずーだよなというふうに関ワードいただいて我々もちょっと見てて、ここ足りないなと思っていたのが、
0:40:51	今おっしゃっていただいたような趣旨と多分同じ受注に我々が追いついていけるかなと思うんですけども、陽子通の基本地盤モデル設定提供ってどこかラーンの話じゃないかと思うんですが、
0:41:04	この業務のパラメータ整理して次がですね、状態変化を踏まえた確認事項抽出ってもうこういうところに飛んではいるんですけども、このの、

0:41:18	どういふふうを考えるのかということで、地盤モデルのパラメーター出して、
0:41:24	で、
0:41:25	各
0:41:26	データを元に図で設定していった、その時はその業態変化を踏まえた検討を行って、結果、病院費にソケットすべきここが集約されるっていうような、
0:41:39	そっちは結果系ですけど、流れの方をちょっとわかるように書かないといけないかちょっと前段の記載がすっ飛んでいて状態変化を踏まえて、いきなり三角サノバ、
0:41:51	Publされてきてこっから四つですって、
0:41:56	前段の朝クボを確認をする必要あるねというふうに我々ちょっと認識してるところで、
0:42:10	はい、規制庁草場ですその前段っていうのはどの程度のものだと思っておられるのか。
0:42:16	どの程度、
0:42:17	かけるのかっていうことがわからないと何とも。そうですね。返事ができるんですけど、書いていただいてということだと思います。本当は今日のその反映事項という資料で、
0:42:29	わかっておられるねって思いたかったんですけど、この書きぶりだとわかってるように見えなくてですね、何とも返答ができないというのが、
0:42:38	私の印象。
0:42:43	先ほどの2ポツの議論を踏まえても、少し書類として、
0:42:50	各方向性っていうのを、矮小化してるっていうとちょっと変ですけど今回のタスクに特化し過ぎていたっていうことだと思うんです。
0:43:00	そこは認識、
0:43:03	改めていただけたと思いますから、それのもとに、何を書く必要があるかってのは改めて考えれば、
0:43:10	たまってるところもあるのかなと思いますので、次のバージョンってなったら、
0:43:15	承知いたしました。
0:43:28	規制庁コサクです。それで言うんですけどね。
0:43:33	この3ポツとかを追加をしているということからすると、
0:43:37	普通はその前段に、

0:43:40	この書類構成がこうなってます。なぜなら高校だからですみたいなことが、
0:43:45	書いてあるはずなんですよ。それが何かおもむろに項目がぽんぽんぽんと出てくると、
0:43:50	いうことも、やっぱり書き足りてない。その前段が書き足りないっていう。
0:43:55	気づくポイントだと思うんで、
0:43:58	散布図結構、
0:44:00	入口として大事なところですね、自分たちの敷地をちゃんと認識をして対応していくと、やみくもにエリア機器、
0:44:08	一律だと。
0:44:12	何これ、既認可にアノ。
0:44:14	ウダ下がらないという姿勢に立ち返った場所なので、
0:44:19	その点ではしっかりと
0:44:21	前段で行った上で、
0:44:23	3 ポツ目。
0:44:25	3 ポツでサービスで、その上で 4 ポツということですよ。
0:44:31	はい。
0:44:53	性とか、
0:44:54	説明の展開、
0:45:24	地盤モデル。
0:45:40	うん。
0:45:50	21 ページ。
0:46:00	ページか。
0:46:19	を、
0:46:23	ホームページ、
0:46:26	5 件。
0:46:28	地盤モデル、
0:46:34	はい、日本原燃のオガセですまずすいませんきなんだっけ、あのモデルの適用性って言い方はちょっとすいません完全に誤解を招くので良くないなというところはまずちょっと申し上げた上なんです。
0:46:44	施設の施設の設計変更それは設計変更とか設計の考え方を今回地盤モデルにどう反映すべきかというところの考えは、21 ページのところですね。

0:46:57	2行目のところの表です表層地盤のところの既設の建物につきましても、実際の埋め込み状況等を踏まえ、すいません今回、設工認におきましては側面ばねを考慮するというところの行為を耐震設計で行っておりますので、
0:47:12	改めて表層地盤というものを既認可では考慮していなかったものを、考慮してあげる。その時にはちゃんとした設定をしてあげることが必要だという意味で、牧委員からの設計条件の変更というところをちゃんと着目点として挙げさせていただいたと、そういうナイトウでございます。
0:47:27	はい。はい。
0:47:30	そう。
0:47:31	はい。
0:47:32	今、
0:47:34	御社の考え方、
0:47:36	うん。
0:47:45	うん。
0:47:52	はい。日本原燃大瀬ですかしこまりましたちょっと両方の扱いも含めて、
0:48:47	配分元のオガセですちょっとすみません、一応こっちの作成の意図をちょっとお伝えしますと、表層地盤の物性値等というところは私の作成としては減衰とか、
0:49:00	事前形成は含んでいませんというのも、後の先ほど9種類のパラメータという言葉をお申し上げしましたが、それが表層だと。
0:49:10	21が21ページ。
0:49:12	21ページにあります通り、表層についても物性値等と減衰と非線形性それぞれきちんとパラメータとしてはあると。
0:49:20	ただしその表層地盤については S_s に対する基準による影響というのは絶対に無視できないものだというふうな判断をしまして、もうその非線形なりの物性値をそういうふうに変更した後ステージじゃないですね、減衰定数ないし点検を設定してあげる。
0:49:32	ということになったときに、やはりフカホリ的な検討が必要なのはこの表層物性値とVSVPと、あとがんばろうですねそういったところについて、今回深掘りをしていきますというふうな意味で、
0:49:42	言っておりますので、岩盤と同じ位置付けではここはあの名称はつけているつもりでございます。はい。
0:49:48	はい、わかりました。確かにそういう説明
0:49:59	に

0:50:06	はい。
0:50:08	21 ページ。
0:50:22	うん。
0:51:04	はい。
0:51:16	あ、
0:51:25	20 年、
0:51:43	少し、
0:52:04	配分元のオガセですすいません今岸野さんおっしゃっていただいたご指摘、いずれもそうだなと思いましたがまず最初の丸とか一のところが 0 で何かもうこれで検討。
0:52:14	することはありませんみたいなのところに、配布が見えちゃうというところもちょっと見た目上もよろしくないですので、ちょっと我々として、非線形を考慮するというふうにそこで何かを確認するというフカホリが仮にないとしても最終的に我々がどう設定するかみたいなのところの結論は、
0:52:29	やはり一番右なんかには書かれるべきだと思いますのでちょっとこの辺は、すいませんあの検討あるなしだけではなくて、何ていうんすかね。
0:52:36	ちょっと記載の方はちょっと改めてもうちょっとわかりやすくしたいと思います。あと今中身のところのお話でも、金融界コウノ状態変化を踏まえての、書きぶり、中身の書きぶりというところが確かにちょっとトーン取れてないというか取りきれてない部分。
0:52:50	ありましたのですいませんここはもう 1 回名簿をさらにして配置。
0:52:55	思います。
0:52:56	21 ページ。はい。
0:53:07	うちの方、
0:53:15	はい。
0:53:25	はい。日本原燃オガセですかしこまりました。
0:53:29	21、1、
0:53:32	D、
0:53:33	今のパイプの
0:53:35	もう、
0:53:36	何か何なんだ。
0:53:40	よく言ってる 4、1、2、
0:53:44	つなげたいがためだけに、
0:53:46	より違うっていうような感じがする。

0:53:55	本来は、
0:53:57	本来、
0:54:00	状態変化を、
0:54:01	前で、
0:54:03	追加したことだったり、新しく
0:54:08	ていうのは、まずある。
0:54:14	要件。
0:54:18	前と変わんなくてもちょうだい。
0:54:20	なあ。
0:54:22	井清形成なんか前も線形でやってしまうっていうんだけど、
0:54:27	別です。
0:54:29	ました。
0:54:33	1 ページの表層の線形性がもともと表層見てなかったし、
0:54:39	C、あと、
0:54:42	どうしようか考える。
0:54:45	何らかの判断があって、
0:54:49	規制経過をしますっていう環境下、
0:54:54	ええ。
0:54:55	だけど、フカホリはなんか要らない。
0:54:59	その辺は、その何年 4 日繋がるんだ。
0:55:05	つまり、場所、
0:55:09	ええ。
0:55:10	で、
0:55:11	変わったことは新しいこととしてはまず全体のメンバーの紹介だけなん だけど、フカホリが必要ないよ。
0:55:20	ていう、
0:55:21	もう時間。
0:55:24	もらうと、21 ページから、
0:55:32	県、
0:55:35	嘘 4Bも、この表の締め範囲で、
0:55:41	ところが、抜けちゃって、そこ、
0:55:48	まずその団体、
0:55:50	規制庁さんです。そんな、
0:55:52	ハバノ。

0:55:53	クドウシンボしたでしょ。
0:55:55	方針のもとでとった選択肢が、
0:55:59	サトウ等したかと、今回ちょっと頑張って、
0:56:06	努力。
0:56:13	まずいです。
0:56:16	はい。ありがとうございます。あれです。
0:56:19	そうですね。ここでは、
0:56:22	減衰のところなんかはもっとそれを見、
0:56:25	と。
0:56:26	ちょっと深さが変わってしまうので、両方読めるように、
0:56:32	した方が、
0:56:33	うん。
0:56:34	4、4名とか情報読めるようにし、違うところは全然違う。そうですね。いいところある別に、正直、実際
0:56:45	その結果おかしければおかしいですよっていう話になる。
0:56:49	古作です。だから、
0:56:52	第1回の際は、材料だけでやっちゃいました。
0:56:57	ごめんなさい。ごめんなさい。昨日、
0:57:02	も前に行った報酬、例えば、こういうことも追加して検討したすべきなので、第2回以降はこうします。それにあたってこういうデータをとって、
0:57:14	4に書けば、
0:57:16	ノジリ系列に沿って書けばいいということなんだけど、
0:57:20	ポンプでそこがわかるように書いて、後、表現そうですねそんなイメージですね。はい。
0:57:30	あと、全然忘れたの1個目の方の21ページの表ブレークの一覧するところについては拝承いたしました。今の右から2番目のところで、どういう検討をした上で何とかを設定するみたいな言い方がしていれば、
0:57:44	そういうフカホリが必要だというふうなことで日本語でしか書いていないところでありましたので、そういうような、どういう検討をしないといけないという必要性があるというのをまず一旦置いた上で、それに対する確認をフカホリとして行うものがあるというような流れでブレークしてあげるのがいいかと思う。

0:57:58	ましたので、ちょっとはい。今の 21 ページから 23 ページの表についてはちょっと列をさしてあげれば。はい。今おっしゃっていたコメントについてはクリアできるかと思しますのでそのように、
0:58:07	します。
0:58:13	設置されれば、大体クリアになる、全体の考え、
0:58:20	ちょっと具体的に確認したいのは、ちょっとさっき言っちゃいますけど、3、
0:58:34	39 ページのその詰めをご指導、
0:58:37	全部方面中部支社、
0:58:41	その前のページの 38 ページを見ると、単位体積重量とか、大学 9 名、今やっぱり、
0:58:51	どういう違いなんですか。
0:58:53	日本原燃のオガセです。今上出さんおっしゃったのは 39 ページだと埋戻し度が単位体積重量とかS波も米なのに、造成モリタとかアノPAの方の造成モデルとか数字が入ってナカセという、そういうことでよろしいですか。
0:59:06	はい。日本原燃大町でそれにつきましては第 2 回、
0:59:10	今やってる埋戻量につきましては、単純に数字として 1 個の数字ではなくて深さ依存のバー式で表される数字になるということ、一方で第 1 回の時の、このPAとかノモトの造成モリタしかり、六ヶ所層につきましてはそのPS検層の
0:59:25	データ埋戻堂みたいにデータがいっぱいあるわけではありませんので、そのPS検層の数字でこのまっすぐの数字をつけていたとそういう差になっています。
0:59:35	はい。
0:59:37	じゃあ、pHどう
0:59:41	これはそもそも競争の扱いが違うんですねちょっとご専門ですね。
0:59:50	そうすると次 4B、Dに関しては、そうそう。はい。はい。
0:59:59	だから、菅さん。
1:00:03	はい。はい。
1:00:06	状況はわかりました。
1:00:18	ドロップの説明も、
1:00:20	やっぱりなきやいけないんでしょうね、こういうことになる。
1:00:24	大丈夫。はい。はい。

1:00:27	それはそれで置き換えっていう話は日本原電オガセしてますそれがA4の別紙今立1とかになるんですかね。
1:00:39	プラスして、
1:00:41	かといって共通的にするために、本文に上げるほどかというところとまた難しい話でも、うん。そうですね。その辺を最後資料、
1:00:51	days、
1:00:53	そうですねはい。
1:01:03	うん。
1:01:06	文章、
1:01:17	20 ページ。
1:01:18	これは 06 名。
1:01:21	文章はその次は、
1:01:38	も設定し、
1:01:59	そういう人が、
1:02:08	元の会社。
1:02:14	考える。
1:02:31	岩盤です。
1:02:33	うん。
1:02:52	をしながら、
1:03:19	でございます。
1:03:20	端的に申し上げますと、逆では、こう書いてあることを踏まえて、
1:03:25	我々は、こういうふうに、
1:03:28	等考えたなり、判断したり、あたかもちょっと手法がすりかわったかのように見えるのはよろしくない、ということかと思しますのでそこをちょっと基本電話におきをつけたいというふうに思います。ありがとうございます。
1:04:06	ふうん。
1:04:10	それから 2%。
1:04:50	下の方でございます。ちょっとすみません、おっしゃっていただいた通り少し遺産や、
1:04:55	ではあったかというふうには思います。
1:04:59	ちょっとここは低下させていただいてという記載を、
1:05:03	修正させていただこうと思います。大井としては、今 12 ブロックで設定、イマセキしてる、金峰のものは同じナカマになると。

1:05:14	いう考え方で集約のときはまた考えていくんだろうなといったような頭でちょっと書いていたんですけども、あと12グループが固定で、
1:05:26	近傍の施設を使っていくというのは、ちょっとそこまで議論が進んでるわけではないということではございませんでちょっと修正したいと。
1:05:40	今後議論
1:05:50	さ。
1:06:06	安定した。
1:06:12	ございます。
1:06:22	ちょっと
1:06:23	今日の資料ですと内容についてもある程度確認した方がいいかな。
1:06:27	で、
1:06:30	通しのページで20ページ。
1:06:35	なお、
1:06:37	サンゴ基盤の
1:06:41	設置は、設計条件とする。
1:06:46	今あるかな。
1:06:48	そこは既存によって岩盤部分の補正でかなりかたいから。
1:06:54	はい。
1:06:56	日本原燃の加瀬です。
1:06:58	ちょっとすみません、若干これは筆が滑ったところかもしれません。実態としては、剛性が、対応基盤以浅よりもかたいってというようなところがあるからってというようなことが、言いたいことの趣旨でございます。
1:07:10	うちの地盤でいきますと、実際解放基盤よりちょっと上から提案っていうのが出てきて、解放基盤突き抜けてもずっと提案ってのが結構続きがちで、同じ岩盤の岩種の中でも、ちょっと硬くなっていくんですよっていうのを言うためにちょっと拘束圧って言葉を、
1:07:25	つけたところではあるんですけども、言いたいことは、解放基盤よりも浅いところと深いところで深いほうがかたいからですってということで、全部、
1:07:33	もちろんではないんですけども、これが本当に、
1:07:37	決定要因になったってということで、ちょっと、ちょっと、
1:07:41	いや、見ていただけてないじゃないんでしょうけど、はい。
1:07:46	油井ナカと。
1:07:49	はい。計画ですか。はい。

1:07:51	29 ページ。
1:07:56	括弧 2 のですね、中ほどのパラグラフのところで、
1:08:02	下から三つ目のパラグラフの下から 4 行目。
1:08:05	これ、減衰について、
1:08:08	ラマンについて、
1:08:12	ごめんなさい。
1:08:13	減衰についてはひずみ依存特性を考慮したから、ゴウセイについても、
1:08:20	地盤を考慮し、
1:08:22	なんて書いてあるんですねこの文章。
1:08:26	これは、
1:08:27	大体新鮮。
1:08:28	本当にそうハマカワでしたから、時間も来です。
1:08:34	日本原燃のオガセです。当時もですね、日本原燃おられて第 1 回のときも、やはり、頑としては鷹架層として結構おっきいもの硬いものでございましたそれは今、ご説明してるところと、あまりそんなに変わるものってのは、むしろ固いぐらい。
1:08:51	でしたので、実態としては非線形性を仮にですけれども、今と同じような線形状態として経営状態の比較みたいなところをやってみると、おそらくやはり同じような結果が今回出られるというふうに我々思っています。
1:09:04	ただし、第 1 回の際はちょっとちょっと急いでいたということもありましたので、非線形として、一番につきましてはもう見るというふうに決めましたのでそれと連続でG岩盤の方についても、もう一緒に非線形を 1 個見るならもう両方セットで見た上で、もうそれをお示しして、もうそれでも急ぎですので、
1:09:21	それでも決定してしまおうというようなところがございましたので、実態としては、
1:09:25	合成の 1 件、正直フカホリすれば見なくてもよかったか見なくても良いという結論を導いてたかもしれないけれども、もう現実ヤタカミヤも一緒にやっちゃいましょうという判断をしたというのは実際事実でございますただ、それをそういう経緯でやりましたというところを第 1 回説明しているかというとしていないのか、実態でございますので、
1:09:41	ちょっとこう書かれてしまうと、いろいろ困っちゃうのかなというところははい。
1:09:45	理解いたします。はい。規制庁、

1:09:50	これ、実は直樹以下っていうのが一般的なやり方なんかの場合ですね。
1:09:56	だと思います。はい。で、
1:09:59	だから、第1回申請は、一般的で、
1:10:04	で、
1:10:07	今回はそれを、
1:10:10	何なの。従来の考え方と、ちょっとやっぱり変えますっていうところですよ。今回、また、
1:10:16	剛性減衰定期を、
1:10:21	みんな考え。
1:10:23	ちょっと減水患者、あとは、
1:10:26	だから、
1:10:27	ちょっとこの永松井川の第1回の、
1:10:31	考え方。
1:10:32	次第によっては第2回、かなり影響し、
1:10:35	なってしまうので、
1:10:37	しっかりと、
1:10:38	根井考え方を仕分けしてもらった方がいいかなと。
1:10:48	書いてねえのオガセです。宇都は、はい、わかりました。
1:10:55	どっちも、検討でございます。高田委員。
1:10:59	甲斐の考え方が、
1:11:02	ある意味、一般的な考え方として、こうこうであった。
1:11:08	だけれども第2回は、これをさらに深掘りして、高校を設定したと、そういう構成し、あるべきであろうというのに、ご指摘いただいたんだと。
1:11:20	いうふうに思うんだけど、それが心配されました。
1:11:25	日本原燃宇津です第1回が今浜崎さんおっしゃいました通り、レギュラーの考え方当然線形が現象としてあるならばそれを見るのが一般的標準的だろうというところ。
1:11:35	に至ったときに、じゃあ第2回はどういう位置付けで、はいこういう線形と非線形を比べて、はい。いろいろと検討しようというふうにしたところの書きぶりがきちんと位置付け目的がわかれば、
1:11:46	いいのかと思うので、ちょっとそこはうまく書けばいいなと思ってます。はい。はい。
1:12:11	あ、ちょっと項番、

1:12:14	九州電力の明石でございます。後程減衰のところでもっと話があったので、そこで目標をちょっとお尋ねしようかなと思ってたんですけどちょっとここでお尋ねさせていただく。
1:12:24	あと、おっしゃる通り、何がーんでは、特にちょっと減衰で言うと、ひずみ依存性みたいっていうのは一般的。
1:12:34	なのかもしれないんで、それを今回どう扱うかの手前で、もっと上流の大方針として、に実際の状態を見ながら、
1:12:46	設定をしていきます。その結果として、議員、現在現在行って申請をしますけど今ちょっとこあらゆる放送としてますので、それがどうなるかちょっとまだわからない。
1:12:58	いう。
1:13:01	前提でいくと、
1:13:04	だから何か聞きたかったことは、第2回申請今回制定においても考え方としては、
1:13:13	今、
1:13:14	20ページだったことは、第1回申請でこう設定しましたという
1:13:25	同じく、
1:13:27	一番が考慮したから、G岩盤を考慮するとか、そういうんじゃないで、
1:13:32	これ基本的には何もコガもそうなんですけど、まず自然形成、材料減衰として1000、
1:13:39	そこで終わっちゃってたんですけども、本来はそれに逸散減衰があるから、1浜については、アンダーラインの上限値としてつきますよ、だからこういう形で設定します。
1:13:50	ただこれ久家っていう場合には岩盤が来ますって決まりますんで、岩盤決まった岩盤に対してG0とT0G、Gー馬路GとHが決まります。でも、
1:14:01	実際この現場、この檀地点は、G0を小さくした方が、保守的っていう方がなくて、
1:14:11	応答がでっかくでかくなるんで、事実はこちらしてますってのは第2回目なんですよね。だから、今度おっしゃってるように本来の考え方からすると、ピーエイも4Bも非線形でやりました。地盤面も一番非線形ですっていうのが、
1:14:24	ここに書かれて、今回はそれに対して、下限値を設けます。G0は保守的に次の初期費用にしますっていうふうな書き方が正しい。
1:14:35	はい。
1:14:36	中丸さんの説明は理解しました。

1:14:41	いえ、
1:14:44	着実
1:14:46	はい。ちょっと、どんな設計ですけども、ちょっとこの書き方も、もう1回社内的に、倉庫がないようにしなくちゃいけないんで、見直します。はい。はい。はい。
1:14:59	衛藤。
1:15:01	次の32ページの
1:15:06	減衰の話は、
1:15:09	30ページのウエダサンゴからですねもう5%を出資して、請求条件の
1:15:15	設定、
1:15:17	この資料として今5%と言い切っちゃうような、
1:15:23	言葉があるんですね。うん。
1:15:25	事業者としては、
1:15:29	線形状況能勢
1:15:31	ん。
1:15:34	センケン所
1:15:39	は、現状、
1:15:40	はい。日本原燃のオガセです。これ設計条件というのは、いわゆるひずみ依存で特性に応じて減衰の上昇していくってところを見ませんというひずみが進んでも、減衰は上がらず、一定のままという、つまりは、大きい減衰にならないようにし、
1:15:57	規制庁ハマダです。
1:16:00	今の説明は、やっぱりいいました。あれ。
1:16:02	さっきの、
1:16:04	上野さんの説明とちょっと違うように思いますけれども要は下限値を設けて、あるひずみレベルまでは、減衰を5%が一定にするっていうのは、
1:16:14	ひずみレベル、今の段階では、Ssでどうなんっていうのは考えない。
1:16:21	減衰のモデルとしてはある泉レベルからは、本来は1番目に、
1:16:27	はい。
1:16:29	そういう減衰の設定をするわけじゃなくて、今の尾川さんの説明は、すみません、適正にちょっと比較ですけど、最初にハバサキさんが言った通りで、今言うことじゃない。はい。
1:16:40	消してくれ。

1:16:41	いるってことはまずあると思います。データが見通しが、見通しを得るといった範囲が出てきてから、
1:16:50	それを踏まえて設定をします。
1:16:53	だけなんですよ。本来今回この、この段階では、
1:16:56	その上でどうするつもりなんですかっていうのが今の話で、
1:17:01	ある程度それもこういうデータを、が取れる見通しがあるので、こういうふうに考えてますっていうふうに言っていたらいいと思うんですけど。
1:17:08	そんな時に言って、
1:17:10	提出するのはなぜですか。
1:17:13	どっちでもいいですかはい。日本原燃のお話ですちょっと宇野さん。
1:17:18	はい。
1:17:19	今のお話でいきますと、曲げ
1:17:22	II地盤の件
1:17:24	小さい。
1:17:25	ものだということは、共通認識が持っているとしますので、実際まず科学的にも、ピタッとしたものを作るといようなところの観点でいくと、今ハバサキさん。
1:17:35	おっしゃいました通り、ある現
1:17:39	3 サンランプラス内部減衰の一定値みたいなのが、今で言えば、例えば仮に5%としましょう、それがあったとして、その主アノ地盤のひずみを超えて、
1:17:48	残高が増えたので材料減衰の履歴が増え
1:17:51	5%を超えて、
1:17:52	したら、5%からだんだん個人の期間でまた5%から上がってくるということが考えられる。これは認識当然でございます。ただ、ここで基本モデルでして、
1:18:04	32 ページに書いているところでございますけれども、減衰を大きくしないことで、そこには、
1:18:10	非安全側になることはないというか保守性といいますかそこをちょっと入れてあげましょうとそういうのは
1:18:15	他のが実態で、
1:18:17	はい。だからウダニワあごめんなさい、さっき
1:18:20	ノムラニワおっしゃる通り浜崎さんがおっしゃったの、途中で上がっていくそれはあるというのは、

1:18:28	説明はわかりましたけれども、内容についてはちょっと技術的な話になっちゃってますんでヒアリングを超えちゃう可能性もあるんですね、ちょっと。
1:18:37	これ以上、
1:18:38	感じはしません。補足です。ここで深掘りはしないですけど、議論ができるようにちゃんと書いてください。
1:18:46	今のであればこういう特性があるということがわかりました。
1:18:50	こういう時切断を初めからわかってるんでしょうけど、これぐらいの状況であることがわかりました。
1:18:57	それ、そういう状況を踏まえて、設計で使うモデルをどうするかということについては、この領域はこういうようなこと等々になるしこの例がこういうふうになるから、
1:19:09	設定としてはこういうふうにするのか、応答を見る上では適切だと考えました。
1:19:15	いうふうにして言わないとですね結果だけで5%だとか、線形だとかって言われても、
1:19:21	議論がしようがないので、
1:19:23	説明してくださいってその場でまともに。
1:19:26	口頭で言ってくれないとじゃあ次回、
1:19:29	いうことでするするいだけなので、ちゃんと書いていた。
1:19:33	いうことだと思います。
1:19:35	そんな時ですね、5%保守的って言いましたけど、
1:19:41	どっちがあるんでしたっけ、普通見ながらじゃない、あれですけど、材料減衰でプロットした側で言うと5ってないわけですよ。
1:19:49	バイリニアで書いてるときに、こういうよりも低く設定してる領域があって、何でこうなんだと。
1:19:55	いう理屈があればけど立たないわけですね。はい。あれが、否決できると私は思いますけど。
1:20:01	あれを設定して書いている以上、
1:20:04	自分で否定しなきゃいけない。
1:20:07	ていうことをちゃんと述べましょう。はい。はい。
1:20:10	それじゃないと保守的って言えないですか。
1:20:13	日本、それは前回の、すいません、何時でしたっけ、先週の木曜ぐらいのヒアリングではないほど、認識したところですので、最終的な設計設計というか、基本モデルに設定する時には、各周期で、

1:20:25	どれぐらいの減衰を入れるかとかってところの科学的な分析をした上でやってその上で最後、ナンバー1とかってやるふうなところが必要なのは、
1:20:33	しておりますのでその中でこの材料減衰の話をちょっと組み合わせて、はい、ご説明をするつもりでございます。はい。はい。補足です。
1:20:41	今回、
1:20:42	見通しがまだえられてませんというにもかかわらず、
1:20:46	数字を書くんですか。はい。ありがとうございます。すいません。これも先走ってます。はい。はい。
1:20:54	おっしゃるような説明をしなくちゃいけないということを認識の上、今のステータスに合った費用をします。
1:21:03	はい、細木ですよろしくお願ひしますはい。同じです
1:21:07	プロジェクト 39 ページから、そういう
1:21:10	見えますんで、
1:21:12	ファンステージすべて. 05
1:21:21	聞いた方がいいですか。私から。
1:21:28	1点だけなんですけど、
1:21:30	20 ページ。
1:21:33	括弧 2 の設定結果。
1:21:36	から始まって、第 2 段落目、
1:21:41	実際なんですけれども、
1:21:42	入力地震動に有意な差はないという記載を書いているんですけど、実際、今検討してされてることとしては地盤ばねの低下にも影響がないだとか、そういった検討も別紙 2-2 ですかねされてると思いますので、実際にやってることというのはここでちゃんと、これ以外に書いていただきたいと思います。
1:22:01	はい。日本原燃のオガセです。はい。かしこまりましたおっしゃる通り、ちょっとはい。入力地震動のさ、
1:22:07	してますのでそこを拾った記載を、はい。確認させていただきます。
1:22:14	これで言いますけど、他のところで、
1:22:17	谷アビルことっていうのはちゃんと漏れなく、
1:22:21	いただける
1:22:24	かしこまりました他の岩盤
1:22:27	含めて、

1:22:28	同じような感じで書く。
1:22:36	事故や確認ございますでしょうか。
1:22:55	10 ページ。
1:22:56	ていうのが、
1:23:09	と、49 ページの 6 ポツIIがここ意図してるのは、
1:23:15	非常にグループ設定した後に、
1:23:19	この施設での
1:23:23	耐震計算、取り扱い方気に入っていい。すいません。その中にグループ化とかオオハシメキアノ基本地盤まで詰めた後に大井モデルによる電力自身と算定してっていうそういう話を、はい。
1:23:40	全体。
1:23:42	作業前て示してくださいねっていう感じでしょうか。
1:23:46	はい。
1:23:50	全体通したときに、よっぽど書き切れますかということのアガワ考え、
1:23:58	7 ポツは、物まで必要なのであれば、最低限その枠ぐらいは、
1:24:05	次の通り示してくださいっていうのが思ったし、
1:24:10	よくわかりました。どうもありがとうございます。冒頭にちゃんと構成示してやれば、おのずとここは章立てが出てくるものだというふうにご理解いたしますので、1 種、対応させていただきたいと思います。
1:24:24	はい。
1:24:29	よろしいでしょうか。
1:24:33	それでは別紙の方に、
1:24:39	部品も、
1:24:40	順番にできればと思いますけど、まず、別紙 2-1 の岩盤部分の物性時の設定についてで確認したいと思います。
1:24:48	戸部氏二ノイチにつきまして規制庁側から発言があればお願いします。
1:25:16	うん。
1:25:41	それで、何かわかった。
1:25:44	入力地震さん。
1:25:56	はい。日本原燃のオガセでございます。今のここの②で書いていることにつきましては①からの繋がりはあるんですけども、やはり以前よりいただいているご指摘の中で、ここの、

1:26:08	グループの中の複数の工ないし各建屋の直下のところに地質構造を見たときに、速度境界ってのはやっぱりどうしてもばらつきがどうしても出てくるものでございますんで、
1:26:19	それを果たして平均して処理することに、原燃として問題ない各グループでソウノ、
1:26:24	松澤医師が違うところで平均していいかというような確認をする際にですけれども、やっぱりこの層境界の違いが、この地盤の振動性状に大きく差をもたらすようなものであればそれは別個として考慮すべきであって平均しちゃいけないでしょうとそういうような判断をしなければいけないと思います。
1:26:41	そうなったときに何を指標として、これは一緒とみなして、これはバラバラとしてみなさなければいけないというときの指標として、この地盤の固有周期というところを確認することとしました。
1:26:51	で、なぜそういうふうに、こういう周期に着目したかといいますと、これ前回のヒアリングで口頭ですいませんだけ述べたと思っているんですけども、今回の、あくまで差として出てきているのは、岩種境界のその深さレベルであって、
1:27:03	大体そのインピーダンスの量というのはどの工場の岩種が一緒であればほとんど変わらないというところ、つまりインピーダンスが一緒ということは、入力地震の縦軸の増幅率とかそんなに変わらないということが、思っております。
1:27:15	そうなるとやっぱり今回、地盤の層序が違うことによって、地盤全体の等価剛性みたいなやつが変わって、地盤の周期が横にずれてくる、そういう振動特性が違うようなものになってないかという観点でいくと、やはり地盤の固有振動数、固有周期で確認するのがいいだろうというふうに確認、考えて、
1:27:32	これを指標とした次第です。結論として、地盤の層序が、そうじゃないソウノアノ境界のレベルが結構 10メートルとか違ったとしても、全然地盤の層境界固有周期に影響はないということを確認しましたので、
1:27:44	一緒に合体して、平均していい、ポーリンクだろうというような判断をしたというのが、今回考えた、ロジックというかシナリオでございます。
1:27:56	部分だけでしょうかね。
1:28:03	うん。
1:28:09	はい。入力地震動への影響という観点でいきますと、今今回解放基盤から入れて、

1:28:16	建物、
1:28:19	求人さんのヒアリングちょっとすいません。
1:28:23	これ、いつも。
1:28:34	ごめんなさいと途中で出したのもう一度最初から、今か有効基盤からSsが入ってきて、今これ岩盤部分の物性値ですので、建物の基礎下まで上昇してくるというようなところになっていますと。
1:28:46	これがまさに基礎下の入力地震動の何ですかね、そういったところに影響の、に影響があるかないかというところを確認するという観点でいったときに、入力地震動というのは当然周期特性、横軸の、
1:28:59	プレート縦軸の増幅率のブレというところはあるかと思えますと、縦軸のぶれは先ほど申し上げました通り、総インピーダンス量が変わらないわけですので、あまり着目しなくてもこれは同じとみなすことは問題ないでしょう。岩種は一緒ですし、Vsの構成も一緒だからと。
1:29:13	いうところで判断してます。そう協会が変わったことによるその入力地震動への影響というのは、横軸の周波数特性に影響するものだと思いますので、岩盤の保有周期を確認することで、その差が、
1:29:25	乳井になるかならないかというちょっと確認でいいと、横軸の観点での確認で十分であろうというふうに判断したということです。すいませんちょっと不足がありましたが、
1:29:35	おっしゃっていた
1:29:36	はい。
1:29:38	いや、こういう考えでしたが、はい。何か足りないところがありましたら。はい。
1:29:50	ええ。
1:29:51	その差がない。
1:29:58	違う。
1:30:12	優秀。
1:30:25	であれば、
1:30:26	おいしい。
1:30:29	つまりは、
1:30:31	小阪です。簡単に言うと、
1:30:34	固有周期が違うそりゃあ違うでしょうねっていうので、スクリーニングの基準ニワなスクリーニングの一つのパラメータになってるのは、おっしゃる通りだろうと思うんですけど。
1:30:44	その一つのスクリーニングだけで、同一ですっていうふうに、

1:30:48	十分性はあるんですかと。
1:30:50	ということじゃないかと思えますけど。はい。
1:30:54	困りましたはい。日本原燃のオガセです。最終的にはその十分性という観点でいきますと、いわゆる最終的に平均化という処理をかけるわけなんですけれども、
1:31:05	その元データとして、完全に外れたものを使っているかどうかという観点での確認ですので、何ていうんですかね
1:31:20	母集団として扱えるかどうかという観点では、この
1:31:24	ぐらいの確認で十分ではないかと全く同じデータとしてもそのデータは無視していいですという話ではなくて、あくまで平均化する上での母集団として扱いますという観点ですので、
1:31:34	何かあまりはい。
1:31:37	私もそれほど高度な知識、
1:31:40	知らない。
1:31:42	ちょっと議論
1:31:43	難しい。
1:31:45	説明
1:31:46	前回のヒアリング、
1:31:48	いきなりこの固有周期から説明されて、
1:31:55	次は、
1:31:56	こういう場合、これを使う。
1:32:02	飛んでない。
1:32:06	千田。
1:32:15	検層、
1:32:23	へえ。
1:32:28	使えるんだけど使うにあたっては、
1:32:31	フジムラってというようなやつが一つに絞ったというやつですね。
1:32:48	示して、
1:32:53	出して、
1:32:55	向けには、
1:32:58	をもちまして、
1:33:01	へえ。
1:33:07	なぜ、
1:33:13	通常、

1:33:17	おそらく若狭
1:33:20	もう少し、
1:33:26	整合してる。
1:33:30	積めるです。
1:33:42	へえ。
1:33:44	そして、
1:33:49	イシタニて、
1:33:59	どこまで、
1:34:11	説明できる
1:34:17	先生方、
1:34:20	すいません。
1:34:23	ここに、
1:34:29	えっと、
1:34:29	しかも、
1:34:38	ありました。
1:34:44	コサクです。一応十分性って言いましたけどわかりやすく言っただけで、十分で追い詰めるととんでもないことになるんですけど、結局目的何なのかって言うのを、
1:34:56	をとらまえて、その目的が達成できるかどうかという、
1:35:00	こと。
1:35:01	です。
1:35:01	で、極論言うと先ほど言ったように一体二次元でやってみたとかパラメータスタディやってみてとか、
1:35:08	幾つかやって、こっちの方に触れるからこっちの方がいいよねとかってやるのが一番わかりやすいんですけど。
1:35:16	先ほどの5%も同じで、しらみつぶしにやらなくても、
1:35:22	こういう傾向があるというようなことを一つ一つ話をしていけば、トータルとしてこうやるのが、まあいいでしょうっていう定性的判断もできる。
1:35:32	ようなところあると思って、
1:35:34	単純に一つのパラメーターでいけるというのではなくて、
1:35:39	何が影響し得るかということを、
1:35:42	挙げて、
1:35:44	全体として最もらしい。
1:35:46	ということで、ちゃんと説明をいただくということで、

1:35:51	道路設計のものですけど、補足させていただいてよろしいですか。
1:35:55	先ほど岡部が言いましたようにですね、地盤の固有周期っていうのは、
1:36:01	1次元波動論、特にモリイたらセーフですから、SHAKEの場合ですね。
1:36:05	一時35時という、その時数のところでですね、増幅が大きくなるんですね。で、
1:36:12	地盤の固有周期に合ってるっていうことは、その地盤が同じ挙動を起こすということで、その1時35時の大きくなる本当だったらそこは、
1:36:21	一旦切ってきたね、基盤から入るときにはゼロじゃなきゃならないところがあるかと思って。
1:36:27	で、その1時35時っていうところが0になるっていうのは地盤の固有周期ですね。
1:36:33	そうすると、それじゃ、そこはもう決まればじゃあ同じ一番なんだけど応答が違うねっていうのは、インピーダンスが違う。
1:36:42	そうすると、一つの、さっき10分ではないんですけども、その地盤の固有周期で1時さ、3時5時っていう、その期数値数を抑えるっていうことが、
1:36:51	同じ地盤ですねっていう一つの特徴になるんですね。
1:36:55	ですから、これが十分じゃないんですけども、一つの
1:37:00	選択方法、これが合ってる変わってないかっていうことで重ね合わせるっていうことは、それが十分な殊、十分っていう、それが一つの
1:37:11	比較の対象になるんですね、ここだけです。結局、一つでしかなくて、今のね話言うてインピーダンスじゃどうなのっていう話があるからそれを補強するとか、そうですね。何が効くかっていうのをちゃんと言っていたいて、一つ一つ潰し込む。
1:37:25	ということだと思います。
1:37:27	それはもう理論で、出てます。その利用意識を示すだけです。そういうことで、まず一つの1000、一つの選定フィルターとしてはこういうものがあり、
1:37:37	これはこういう理論に基づいてやっていますんで、インピーダンスインピーダンスでこういうふうの違いがありまして、最終的に答えがこうなりますっていうふうなことをご説明させて、
1:37:53	これ、
1:38:01	今、
1:38:03	この
1:38:08	うん。

1:38:09	優秀
1:38:20	これを持ち出して、
1:38:37	はい、日本原燃オガセですおっしゃる通りかと思えますこちらについてははい。そもそもの目的が抜けて、はい。結論、結果のところでは拾われてないのでは記載の方、適正化いたします。
1:38:50	うん。
1:38:52	件数がない。
1:39:21	はい、剣持ですイメージでわかりやすいのだとすると例えば 202 ページなんかをご覧いただければ、
1:39:32	202 ページのところで行きますと、これ図 3-4 図のところで行きますけれども、これ左二つ、地質の層序の地質区分とあとVs、これ同じセットの
1:39:44	ものでございまして、一方で右に三つ並んでいるところにつきましては
1:39:49	近くに建ってる建物構築物の直下の地下構造、Vsはえられてない地下構造で、この泥岩と細粒砂岩の層境界がそれぞれ違うところが獲られているというところで、
1:40:00	ございます。近くですし願書同じ構成になっているというところでございますので、この真ん中に書いてあるVsの、
1:40:08	ここだと 2 段ですね、730-800 というところの層境界を 5 分後から上に動かしたり下に増加したりっていうふうはこの赤線とに沿ってやっていると、そういうようなところでございますので、速度の数字自体を動かさずにその境界を動かすというような形でやっております。
1:40:25	ショックの
1:40:29	ユースケースですね。
1:40:52	はい、かしこまりました。
1:41:31	はい。日本原燃のオガセですこちらにつきましては
1:41:36	1 月の 10 何日ぐらいの、ご指摘の際にいただいております。許可では岩盤部分につきましても、いわゆる岩種ごとの主、シンボ依存性というところで物性値を示しているところがございますので、それとの整合性との観点での考察を入れること。
1:41:52	ご指摘をいただいてございました。それに対するアンサーとしてというところで今回記載してございまして、これに判断基準をと言われるとやはり難しくやはりここで許可で出してるのはあくまで岩種ごとのある意味、平均的な深さ依存性、ここで赤線で書いているのは、もうこのグループのもうある意味、

1:42:09	as-isの物性値というところですので単純に比較して似てるにいけないという話をするようなものではないんですけども、そんなに大きく外れているものではない。明らかに違う物性値が物性値というか
1:42:21	VSが出てしまっていて本当に同じ岩種になっているのかとかそういうような疑義が出るような構造にはなっていないと、そういうような観点で、ここではある割と整合しているというところでは記載をさせていただきます。以上です。
1:42:40	はい。
1:42:46	続けて、98 ページまでに整合してるように、
1:42:50	うん。
1:42:53	うん。
1:42:58	んですけど、
1:42:59	さすがにここは整合するという、
1:43:01	基本的な、
1:43:08	整合しているとか、
1:43:10	全部、
1:43:27	はい、原燃のオガセです。正直、ここではですね整合的だからいいとか調和的だからいいとかっていうところではなくやはり必要なのは、各グループごとに、その厚いずな物性がえられているということが大事だと思っておりますので、
1:43:43	平均に対して例えばこの 144 ページとかですと、カドイシイ凝灰岩の層で少し傾いているそうであるという、各グループの特徴みたいなところを本当は言ってあげるべきで、
1:43:55	合ってる合っていないように言うべきところではないのかなと今は読むと、(イ)ところでございます。
1:44:25	すいません。
1:44:32	総合的に見て、
1:44:53	はい。日本原燃のオガセでございます。
1:44:56	はい。位置付けはもっと最高の必要があるというのはイトウイデございます。
1:45:03	はい。はい。
1:45:07	どうしたらいい。
1:45:18	はい、明石木場。
1:45:25	そしたら、

1:45:26	レシピ
1:45:28	一応、
1:45:29	ハバサキ側の浜崎さんからいただいて欲しい。
1:45:40	井手上
1:45:49	土岐。
1:45:53	どういうレベルで、
1:45:54	定量的に、
1:45:58	基本許可せ、
1:46:04	明らかに、やはり傾向が違うものを、
1:46:07	許可制、
1:46:08	してますとは言えない。それで、
1:46:11	それはじゃあこの前何%。
1:46:17	越冬
1:46:22	あ、
1:46:23	そこはやはり
1:46:25	次にですね、
1:46:28	結果について述べてもらった上、
1:46:31	キャパと、何が一致してるのか、傾きITしてるのが絶対してるのかと。
1:46:39	きちんとやっぱり説明してもらえばいい。
1:46:42	で、
1:46:43	ここだけはどうしても許可と違ってますっていうならばそこはやっぱり我々としてクローズアップしなきゃいけない。
1:46:51	そうしてですね今の、この資料の作り方って、ほとんどみんな文章一緒に副社長ができたことを請願して、
1:47:00	もっと
1:47:01	丁寧に分析してもらった上で、その上で、このハバノツチャオンダが今日、
1:47:08	観点で見てもらえばいい。
1:47:11	と私は、
1:47:13	ました。
1:47:18	今の話で、
1:47:22	じゃ、これ、あれできそうだなって感じですか。

1:47:29	日本原燃のオガセです。基本的に今ハバサキさんおっしゃったような速度がどれぐらいの一時であと傾きも。もともとの許可に書いてるものもそんなにそもそも岩盤で傾きないですので今のPSで設定してるのも、
1:47:43	ものとそんなに、傾きの観点でもそごがないということはいえるかと思えますただ一方で絶対値の話ですね、例えば 144 ページのところにあるところの真ん中の層とか、
1:47:53	そういったところについては、やっぱりあくまで許可のときに出しているのっていうのは敷地全体の岩種に対しての平均的な位置付けで今回はそのグループについての丸井、ある意味、as-is的な位置付けというところで、
1:48:06	何ですかね当然合わないところ合わないというのは当然あると思いますその位置付けをきちんとボットもとでこの観点で比較して、ちゃんとその各
1:48:14	グループにおける、
1:48:16	何ですかね特徴みたいなところを、ちゃんと調和的という言葉だけではなくてきちんと考察して書いてあげることが、対応になるのかなと思いましたがそういうイメージで、そういう、
1:48:29	例えば今 161 ページ見て、
1:48:31	と。
1:48:33	ここで文章は概ね調和的である。うん。こっちに紹介率については、
1:48:38	情報の潮汐っていうふうに、
1:48:42	これ、いいたいことは、赤線がほぼ振動台位してるってことになるんですかね。はい。日本原燃大橋ですおっしゃる通りでそれぐらいのレベルです。はい。
1:48:53	何て言うんすかね。調和的と言っているのはある程度、ちょっと幅を持たせた言い方で大体まっすぐ落ちているのが、多少絶対値が違ってても調和的というふうな、はい。言い方にしましたが、先ほどお願いいたします。
1:49:05	はい。
1:49:07	はい。
1:49:10	なかなか掴みづらいと考えるので、やっぱりそこは、
1:49:14	説明することによってこういう観点で見ればちょっといえるかもしれない。
1:49:19	いうところで、
1:49:22	ちなみに今 161 ページですと、凝灰岩のところは、

1:49:26	かなり傾向がある。これ、
1:49:30	要は関係ない、もう上に関して調和的と言ってるのか。
1:49:35	明らかにこの凝灰岩とそれよりも、そのイセんと、
1:49:40	違ってる。
1:49:41	これも調和的で、
1:49:43	根拠はないんですけども、それイマセつで、これにつきましても、先ほどの割とすみません、若干、何となく、
1:49:51	大きく外れていないぐらいのレベルでしか言ってなかったです。それも何て言うんでしょうね、どこが。
1:49:56	コサクです。だから、先ほど自分で言われたように、
1:50:03	前たEを示したものと、局所のものを、
1:50:06	無理くり調和って言う必要もないわけですよ。なのだから、全体でやっちゃ駄目だから局長見ると言ってるのに、全体と一緒にですって一生懸命説明する必要ないじゃないですか。
1:50:19	エリア全部平均しますって、もうやめたんだから、
1:50:23	であれば、そんな説明せずに、単純にこういう特徴があつて、それを踏まえて今後やっていきますっていうふうに、いやいいだけなんです。ですよ。
1:50:32	ただ、マインドが変わってないからこういう苦しい言葉が残るんじゃない。
1:50:37	おっしゃる通り、日本原燃松江さんのおっしゃる通り
1:50:40	ちょうど私が申しあげました通り、各
1:50:42	出野は
1:50:47	出た方がいいですそうしてですね。
1:50:52	傾向っていうのは理解する。
1:50:54	基本的には
1:50:58	いやこういう原因やってませんっていう説明をしてもらえばいいし、
1:51:03	来なくてね、やってますっていうと、
1:51:08	やはり我々として何か別に、
1:51:11	ここ、
1:51:26	そうですね。
1:51:31	ふうん。
1:51:40	説明はないです。
1:51:48	まさに建物の西橋付近から走り出して、

1:51:56	本当に、
1:52:01	理事、
1:52:20	技術県、
1:52:31	して、
1:52:32	へえ。
1:52:36	うん。
1:52:36	はい。
1:52:49	後は、
1:52:51	ただ反映事項という資料。
1:52:55	上宿題。
1:53:08	していただきたいと。
1:53:20	20 倍ぐらい。
1:53:27	うん。
1:53:38	日本原燃のオガセでございます。今、例えば
1:53:42	61 ページとかを、
1:53:44	いただければとですね見ながらちょっとお話。
1:53:54	12 グループのマップでございます。はい。
1:53:57	はい。のところにございますけれども、現時点におきまして、今回先ほど岸野さんにも見ていただきました、各建物の直下の地質構造と比べて、
1:54:07	同じとみなしていいかっていうところの観点での確認というものは、ここに書いております青井建物いわゆる重要系な建物と、あとこういう斜めハッチでかけているいわゆる波及的影響を考慮し、
1:54:20	する施設それらについても見てあるというところでそれらの地質構造ないし先ほど地盤の固有周期という話もしましたが、そういったところの類似性というところで確認をしているところでございます。だからそれらについては岩盤をある意味一緒としてヒトミなしでいいだろうというようなところの判断までしているところです。
1:54:37	今現状として、それがちょっと抜けているというふうな方、言い方になってしまうか、それがゼット周辺のこの網矢印、網かかっているところとあと自所並みかかっている土地 3536 のところになっている。
1:54:51	思っております、これらのところを見ていきますと特にアノ次 14 のところだと先ほどもおっしゃっておりましたSF6 断層とかで区切られるところがありますので、いわゆる今のその地質として同じにみなしていいかというところの、

1:55:04	判断をここはしないといけないところが、それがまだやれてないところしかもSF6 断層があるのかというような話になりますので、ここをきちんと同様の検討でやっていく必要があるという認識でございます。で、最初の話に戻りますが、今のところこの青とその斜めシマかけている建物につきましてはきちんと網羅して、対象としては網羅できている。
1:55:22	いうふうに考えてございますので、これ以上というところは出てこないかなというふうな考えでございます。
1:55:31	そう。
1:55:34	うん。
1:55:36	へえ。
1:55:47	よし。
1:55:49	見られ、
1:55:57	駄目。
1:56:01	断層を挟んで、
1:56:05	オガワのPS検層は、
1:56:09	うん。
1:56:13	優秀。
1:56:40	表現としては、
1:56:43	はい。日本原燃のオガセでございますそこにつきましては、今カバーしているところとしては先ほど申し上げた地質直下の地質が実際どうなってるかという観点で、203 ページ。
1:56:59	203 ページをご覧いただければと思いますが、こういう観点で確認をしていますというところ。
1:57:05	はい。でございます。203 ページにB建屋と、あとちょっと、この、この紙面の左半分はC建屋のいわゆるPS検層、ちゃんと今回、
1:57:15	根拠にしているところでこれ右側に書いてあるところの地質柱状図がP A建屋の直下のところの地下構造を引き抜いてきたものといったところで考えておりましたその時に、こういう速度境界石狩岩木長さんおっしゃったようなこのオレンジの層とピンクの層境界みたいなのが結構どうやらあるような、
1:57:32	というようなところの話は、考え、確認した上で、これが果たして速度として平均化していいんじゃないかどうかというような検討をしているというところでございますので、基本的に建物があるところにつきましては波及のところであってもこういった検討でもって、

1:57:45	同じ母数としてやっていかというところの確認はすでにしてあるというところでございます。
1:57:50	わかりました。じゃあ、そのあたりはきちんと、
1:57:54	反映事項、人事の
1:57:57	西部長。
1:58:04	はい。
1:58:07	はい。
1:58:10	十分、
1:58:15	して、
1:58:22	現時点ですね。
1:58:29	はい。日本原燃のオガセでございますまず先ほど岸野さんにおっしゃっていただいたところBAとかも含めて次 14 についてって書いてますけどそうじゃなくてちゃんと全体対応の一部としてということで対応を記載する。
1:58:40	実際に対応するのは了解です。ありがとうございます。1024 のところのこのSF6 断層とかも今どうやってるかといいますと先ほどご覧いただいたようなピーエイとかでやってるような地質柱状図とかのまず比較をしてあげて、
1:58:52	それが果たしてVSとして同じとしてみなせるか、Vsというか地質構造として同じとしてみなせるかどうか、そこを今、この中で売られている
1:59:01	61 ページで書いてあります。市場エクスパー(2)以降というところのVsと比較してあげて、その日VS数の構造というのが次 14 でも同じような
1:59:13	味じゃないすいませんSSE6 断層を挟んで北側の方でも同じように見えるかどうかというところの確認をする等をやっている場合は、DBとかでやってるのと同じようなことをやっています。ただちょっとすいませんまだめどが立っていないところございまして、
1:59:27	現在そちらについて検討してございますので、一応方針を言えば同じであれば同じとみなせるというふうに判断しますし、もしこれは全然同じとして見いだせないというのであれば分けることも視野に入れて検討する。
1:59:44	はい。
1:59:45	はい。はい。矢口。
1:59:48	はい。日本原燃のオガセですこれは先ほどおっしゃっていただいたご指摘に思いっきりかんでしまうんですがいわゆる固有値とかの検討でやろ

	うとしてたところですので、地盤のですね、地盤のホリウチとかの検討でやろうとしていたところですので、
2:00:00	そこをちょっと他のところのやり方の見直し、説明性を見直しを含めて合わせて、ちょっとはい。再検討が必要あるという認識であります。
2:00:12	まず考える。
2:00:25	していたわけです。私の方から1点だけ、60ページになります。先ほど話したばらつきの話ですけれども、
2:00:32	土肥松井の状態ですけれども、あと、今日の反映事項のところにも、今後、この50ページ或いは各グループごとにですかね。
2:00:42	ばらつきを記載していきますということなんですか。
2:00:45	例えば60ページの記載っていうのは、いつものこの08の資料のリバイスパンで記載が入るんですか。それとももっと先になるんでしょうか。
2:00:57	はい。
2:01:00	現場の方でございます。えっとですね、
2:01:03	端的に申し上げますと、議会への提出に、大枠の考え方っていうのはもうできたと思います。ただ個別具体の設定っていうのは、その施設の方の設計と一体でやらなきゃいけないので、そちらの方は追って検討しますという形になると。
2:01:19	いうふうに思ってますんで議会副院長の時にそこが入ってくることにはならないと思う。
2:01:23	はい。はい。
2:01:25	納すいませんその後てはいつ。
2:01:28	施設の設計について、検討もモテギする。
2:01:33	時になるので、そのタイミングになるのかなとコサクです。そうすると先ほど言ったその地盤モデルの比較をして云々といったところに乗ってこなくて、話がおかしくなる。
2:01:46	ですけど、その時には関係ないんだばらつきは後にしてくださいっていうと、見通しでの仮メモ取れないんですけどいいですか。
2:01:58	すいません、個別部隊の考え方は、当施設の個別具体のじゃなくはい。
2:02:08	ばらつきも含めてどういうふうなものが標準一般的かそれを踏まえて、どうしていくべきかの議論をせず2回目は取れませんよと言っている。
2:02:17	はい。具体的に何にするかっていうのを聞いてるんじゃないで、

2:02:22	標準的一般的な考え方としてこうよう、感コサクです。ごめんなさい、考え方を述べると言ってるだけじゃなくて、分析をしてください。
2:02:32	次、12グループで、
2:02:34	基盤、基本、地盤モデルと申請モデル等を比較しますと、
2:02:39	いうときに、ばらつきを比較しませんと今言われたんですよね。
2:02:45	じゃなくて、もちろん建屋なり機器の方になってからやりますから、地盤モデル比較のときにやりませんって言うてるのと同期じゃない。
2:02:56	でもそうしたら比較もしてないのになんでそれでいいっていえるんですかってなっちゃう
2:03:00	うん。
2:03:02	バックアップ
2:03:04	基が必要な、元の紙を今とろうとしていると。
2:03:08	根本のKをとろうとし、赤瀬狩野君。
2:03:12	大本の今、
2:03:15	今やろうとしてることは12グループの衛藤オオイワモデルを、例えば設定しようとしていると。その中にグループの1番目で設定した時に、次入力地震動を、一番モデルに基づいて設定しようとするんだけど、
2:03:31	その時に、
2:03:35	等、
2:03:38	その集約をスルーなり、ばらつきなりも、
2:03:46	入れて、入力地震動で起こっている基本ニワモデルに基づく入力地震力かっていうのを決めていくことになる。
2:03:54	ていう認識を私持ってたんですけども、補足です。だったら、データがあるわけですよね。何で入れないんですか。
2:04:02	ネットです。金戸さんが、この資料にばらつきのデータを入れませんかと言ったんですよ。
2:04:08	バラ随分先になります。だけどそれを比較で使わない限り、界面取れませんよという話をしてるのに、
2:04:17	その時に渡しますと、というような言い方をし、話がここから今回あってですよ。多分ちょっとリセットしましょうか。ここの2分間記憶喪失しまして、もう一度やり直します。
2:04:29	はい。
2:04:30	それで、私がちょっとすいません、江藤百恵、ここのリセットで守ってるところあるんですけども、えっとですね、
2:04:40	そう、先ほどのばらつきの議論は、

2:04:45	まさにおっしゃってたようなデータの点数を、バスとして考えるデータを どういう範疇とるか、ということにも水に関わってきて、うん。だから、こ の
2:04:57	データですね、取り扱いとして、ある程度、集めるところ集めるとする のんして、データ点数をふやしてやることにするのか、それとも
2:05:09	この茂原で何らかの考え方を適用してやるのかっていうの、これは今後 検討しないといけないという認識を私は持っているというふうに申し上げ たところでございます。
2:05:20	ですのでそれはいつ、
2:05:26	それをその検討をして来、我々に説明するのはいつ。
2:05:29	今日付を日付じゃなくて、さっきのプロセス図で、プロセスでですか。
2:05:35	プロセスでいうと、私の認識では、基本地盤モデルによる入力地震動を 算定するという、フロー図で言うたら真ん中に一段あるよねっておっしゃ っていたその段階なのかなというふうには思う。
2:05:52	また、その段階だとしたらこの資料に入りますっていうことです。
2:05:58	日本地震だって、先ほどその本文のところで話したけど6ポツ以降の7 ポツ8ポツもありえますよねって話をしている、
2:06:09	その先のプロセスであるにせよ、この資料には入るわけですよ。
2:06:14	はい。はい。
2:06:17	答弁聞いてたのは
2:06:20	基本地盤モデル等を、ての応答を計算しますというタイミングと、そのあ とそれで比較をする分析をするというタイミングと、
2:06:33	その先の申請でどうするかと。
2:06:37	いうところのタイミングとそれぞれあってですね。はい。
2:06:39	考え方によってはどこのタイミングで合流すればいいのかってのはあり 得るのかなと思ったんですけど。
2:06:46	それでちょっと先のところを考えているのかなと思って聞いてたんですが、 どうも手間、一番手前でやると言われているように、
2:06:53	一番手前になるんですかね。だって、基本計画の前の、
2:06:59	応答を求めるときに入れますでしょ。はい。はい。はい。
2:07:03	そういうことになっちゃいますね。
2:07:06	とすると、
2:07:08	介護、今回の会合には間に合わないかもしれないけど次回の会合まで には間に合わせますってことですか。
2:07:15	そうか、基本地盤モデルを設定しまし。

2:07:19	他の時に、そうかそうか。はい。だから 12 グループによる、
2:07:25	ちょっとここは私理解が間違ってたかもしれません。地震力の算定っていうのは、12 グループに対してやるということが確定してるわけではなく、
2:07:36	12 グループで一旦設定したものをもとに、ばらつきのある集約なりの考え方をちゃんと整理した上で設定してるっていうもんだと。
2:07:47	いうふうに思ってください。ここは同じにしコサクです。それは私はそう思ってますけど、そういう資料になってないよねトガサキアノそう思ってるならそう書いてください。そうですねはいです。おそらく管理課もそう思っていないと思うので、
2:08:04	多分、中にそのまま行くんだと思っておられる。
2:08:07	そういうことで多分違う。
2:08:13	うちで、
2:08:14	うん。
2:08:40	固まって、
2:08:42	次のステップ。
2:08:43	全国でやりますという選挙ができるから、どちらですかっていうのが今です。
2:08:49	今でも社内。
2:08:50	来てないなあいけないけど、いけないってことは自動的に
2:08:55	9 月 3 日の会合には間に合わない、分かっている。
2:08:58	会合頑張りますっていうのが、
2:09:03	ありがとうございますけどもう 1 回利用しますっていう状態はない。
2:09:08	うん。はい。
2:09:11	ちょっともう 1 回どうぞ。
2:09:13	アップです。少なくともプロセスをちゃんとして、どこで何を議論するのかいつ確定させるのかと、いうことを明確にしない限りは、いつまでたってもクリアしないで、はい。
2:09:24	それはしっかりと整理してください。はい。では、数字を確定するのはさっきの
2:09:30	99 月はやめて、10 月とかっていうところで、それに向けて、
2:09:36	データは整理をしてくれればいいので、
2:09:39	まずはプロセスを、
2:09:41	明確にして、誤解のないようにですね。

2:09:45	いうことが今回タスクなんだ。
2:09:47	うんてます。
2:09:49	そんな時に、今のばらつきの整理というのも、
2:09:53	統合するなら統合するおそらく論点になる。うん。
2:09:57	ところだと思うので、それを明示しておかないと。はい。なんで統合すんのっていうことの説明にならないんだと思うんですよ。
2:10:06	ということである。
2:10:07	漏らさないようにしてください。
2:10:13	表でございます。
2:10:15	だから、私どもが、
2:10:18	以前からこういう進め方かなと言ってるスケジュールに照らすと、
2:10:25	次の次 10 月なりなんなりの断面がそのタイミングになるはずと。必然的にそうなるはずであると。
2:10:34	いう整理だという理解ははい。すいません
2:10:37	今、して申し訳ないです。しました。
2:10:41	はい。選挙ハバノです。
2:10:44	以前の話で大体わかりました。ちょっとその中にグループをお示ししないっていうのは、これは問題が複雑なんでちょっと分けて、12 グループありきの場合も、
2:10:55	どうすんですかというときに、
2:10:57	一つの考えとしては岩種ごとにですね、もう前、
2:11:01	データだから、そのばらつきをするというような、あるかなと思ったんですけども、どうも今のお話を聞いていると、まだどうするか決まっていないという
2:11:11	うん。わかりました。で、9 月 4 日の段階では 60 ページはこの数字のままになるという理解でよろしい。
2:11:21	そうですね具体的な考え方についてはついているのは、そういうことになってる。そうすると、コサクそうすると説明済みじゃないです。
2:11:31	そうだよ。うん。
2:11:33	で、
2:11:36	そうですね。
2:11:39	その中がIIって言っていた。
2:11:43	地震の算定のタイミングで、
2:11:46	初めてここが全部埋まって初めて、

2:11:50	藤純奈。
2:11:57	はい、おっしゃる通りです。はい。
2:12:01	ですから、
2:12:03	そのチーム、
2:12:11	規制庁のタケダ。
2:12:13	教えていた。
2:12:16	当 152 ページを、
2:12:19	が、
2:12:24	下の方の
2:12:27	EW高とG17 直下の地下構造比較されているんですけど、
2:12:33	この右側の図で、
2:12:35	うち 17 の基礎底面がちょうど、
2:12:40	表層両方から、
2:12:42	50 メーターちょっと切るぐらい。
2:12:45	レベルであるのに対して、そこからですね。
2:12:49	20 メーターぐらい近く 15 名ぐらい下まで 257、270 ぐらいの
2:12:55	頭が続いていると、ということが示されています。
2:12:59	けど、実際
2:13:02	ネット周辺の地盤モデルだと思うんですけど、セットでの地盤モデルとしては、Vsは 760 で設定がされている。
2:13:12	ということなんですけれど、中心随分差が、落差が大きいと思うんですけど、これでも問題なしとした理由はどういう検討されて判断されたんでしょう。
2:13:28	はい。日本原燃オガセすみませんちょっと今詳細にデータをすみませんぱっと出てこなくて大変恐縮ですMMRで上げてるとか何かそういうのがあったようなはずだったので、ちょっとそこすみませんちょっと。
2:13:38	確認した上で、はい。
2:13:40	場合によってはその 152 ページの右側の図はちょっと
2:13:44	現実には書き換えるとか、これあくまでもすみませんその建屋とかが建つ前の状況のその地質の柱状図だったりするのでちょっとその位置付けを確認させていただきたい。
2:13:54	すみません。徳富。
2:13:56	規制庁の館

2:13:58	谷表彰レベルベースなので、そこは使うことは多分ないと思うんですけど、はい。
2:14:02	ここは適切に表していただければと。
2:14:06	はい、その下に難しくなりました。
2:14:09	似たようなやつでもう1個ぐらいあるんですけど。
2:14:13	そんな時の説明聞いた同じなのかなと思うんですけど。
2:14:18	174 ページ。
2:14:32	172 を見ていただく方がいい。
2:14:40	はい。テイツーなんですけど、
2:14:44	これも
2:14:47	その他のBAとかイイダとかと、
2:14:51	まあ同じ直下で設定したVsと同じものをそのまま上げて設定されてるとは思うんですけど、
2:14:58	はい。
2:15:00	A+から、
2:15:02	ドイツーまでの間のV例数検層というのがあって、多少小さい結果が出ていると。これもそのまま上げていいと判断した理由。
2:15:10	はい。多分何かあると。
2:15:12	御説明基づいていただければと。
2:15:14	はい。日本原燃オガセアノかしこまりました。多分先ほどと同じような理由だと思うのでは、そちらはあわせて確認させていただきます。他にも同様のがないかは、同じような目で確認をいたします。はい。
2:15:25	竹田です。はい。最後のところが大事だと思いますので、はい。一通り確認。
2:15:30	対応いただければ。
2:15:33	端から別紙2-1については以上です。
2:15:39	よろしい。
2:15:40	それでは次別紙2の2について確認に進みたいと思います。休憩を取らない。はい。休憩の発想です。
2:15:49	はい。規制庁の竹田です。衛藤。
2:15:51	それでは、
2:15:53	随分と進んできましたので時間が経ちましたので一度休憩入れたいと思います。はい。
2:15:58	休憩。

2:16:00	で、
2:16:02	振り返り、大分パンクしてるんじゃないかなっていう気が。
2:16:07	するので、じゃあ休憩ではありますけど、はい。はい。
2:16:15	時間も時間なので、どう。
2:16:18	その先しましょうかというのは、
2:16:23	再開後に、はい。
2:16:24	こういう、これぐらいでこういうふうにする。
2:16:27	て欲しいみたいなことを、
2:16:28	があれば言っていたら、
2:16:31	そう。
2:16:32	今日はどっか、ここら辺まで家帰ったんだっけ。そう。
2:16:36	そうです。
2:16:38	ヒアリングは提示まで、
2:16:40	はあはあ言うのが基本ですね、表。
2:16:44	ました。
2:16:47	ちょっとあれですね。
2:16:51	別にお時間いただくところをちょっと考えない。
2:16:54	営業運転資金。
2:16:56	いやお時間いただかなくても、もう、
2:17:00	全般的に言われることの相場感わかったので、自分たちでやり直します と言えばそれで終わるんですけど、
2:17:06	これは言われてやりやすっていうスタンスじゃなくなったはずですよ。
2:17:12	ここまでやりました。はい。もちろん、そういう形で、では、前田です。はい。 今日言ったことはすべて本来そちらがやるべきですよ。はい。はい。
2:17:23	なので、その上で、あと1時間ぐらいは、
2:17:27	お付き合いしてあげてもいいですよってということなので、はい。それも含 めて振り返りを、
2:17:32	はい。
2:17:33	15分とか10分かわかりませんが、
2:17:35	はい。
2:17:38	ただいま17時16分ですけど振り返りは、まとめにどれぐらいかかる でしょうか。
2:17:46	10、15ページはハママツいただければと。

2:17:51

はい、規制庁の竹崎さんわかりましたそれでは 10、15 分に再開したい
と思いますのでよろしくお願いいたします。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁、武田です。
0:00:06	原燃の方から、ここまでの振り返りをお願いいたします。
0:00:11	はい。日本原燃野本でございます。謄本とそれからオオバ木製の所につきまして、振り返りでございます。
0:00:21	①番、資料タイトルにおける分析の設定等の記載についてはこれタイトルを適宜見直します。②、現在ですね例えば北井霜田は1アノ、4イシイがを念頭に置いたような、ちょっと記載が出る
0:00:37	検討の流れとして、全体の白子で絵を示した上で、プロセス全体像をちゃんと示すような記載と、いうふうに直して直すということでございます。
0:00:48	③番、2ポツ2施設方針はですね第1回との差分があればそのオープン明確にするんだけど、富士通に置き換えないと。
0:00:59	4番、これ、規制庁、企業、すいません、事業者の考え方としてどういう不安問題意識あり解消するための検討内容、検討内容とするかという整理のを明確に、をするというでこれ
0:01:13	金融界コウノ状態変化2についてのコメントいただいたものを、ネットにちょっとこれこういうことから、返していただいております。
0:01:20	で、5番目状態変化を踏まえた確認事項の整理結果について、内容をですね、ポツポツポツ、三つ書いてございますけれども、等については最終的にはアクセスの結論が示されるという
0:01:33	やらないということではなくって、深堀
0:01:38	番場の間のもう1、プロセスがいると言ったようなところの、記載がわかるように記載修正ということと、
0:01:58	6番、MMRの扱いについて説明を行うことということで、また記載箇所については、検討を行うことということでございます。
0:02:08	で、7番、尺等の文献に示されている内容について、引用してる内容と人間の解釈、についてはアノをちゃんと書き分けなさいということでしたいております。
0:02:20	8番目オカ柳生土木構造物のその中にグループ近傍で2、やりますなんてちょっと
0:02:27	もう現地での、
0:02:30	夏になるように、
0:02:32	⑨番。
0:02:34	看護基盤以深の5000対
0:02:40	10番、合成の非線形性

0:02:42	第1回の考え方なんかの一般的な考え方であって今回は、それを踏まえて、フカホリでこうやりましたといったようなちゃんと考え方が整理できたような形で、資料の記載を見直すこと。
0:03:06	内容が含まれていると。
0:03:12	各医師の検討の結果を、を示す際には、
0:03:17	もう、
0:03:24	今後追加され
0:03:28	た章として、議会で、
0:03:30	反映する。
0:03:32	今後の検討で、
0:03:34	これCHASTE
0:03:35	で評価分かれるよねと、いや、おっしゃっていただいたところ、
0:03:38	あります。
0:03:40	別に、
0:03:44	はい。スズキ間岩盤部分の分析等の設計についてでございます。直下にPS検層がない施設に対する適用性についてはまず定性的な内容での説明を検討と。
0:03:56	ということで、そうでない場合はこういう周期でのヘッドホンによる説明の十分性について検討
0:04:03	を、説明の方針を再検討しなさいと。
0:04:07	で、次、15番目こういう周期による、同じじゃこういう周期による確認を行っている場合、近傍のPS検層が使う前提で計算されている。
0:04:16	あれば麻生。
0:04:22	して、今回、
0:04:26	喜多垂門であると、いうことを踏まえまして、
0:04:29	許可で示される平均的な
0:04:37	無理に整合的だというようなことを、ポツ、
0:04:40	じゃなくて、
0:04:42	キタニすることと、いうことでございます。
0:04:45	17番で、グループ内の画像
0:04:48	となるところが出ている可能性がある場合はその影響があった上で、
0:04:56	人を説明する
0:04:59	だから18番目、直下基礎構造の確認をされて浅部
0:05:07	Aの基礎下の、その速度の扱い、異議の周辺の

0:05:18	ことになって、
0:05:20	江藤フルタ理事でございます。
0:05:27	イマセ規制庁。
0:05:46	あと、清清。
0:05:51	一応書いてある。
0:05:53	要は、ないに調和的だとか、
0:05:58	出ない。うん。
0:05:59	そういうところを見て、どう判断するか。
0:06:05	何が何でも許可と合ってなきゃいけないっていうわけ。
0:06:12	差分があっても
0:06:23	今日はちょっとせずに、
0:06:33	ボンボン
0:06:35	のところをどうすんだっていう
0:06:38	はい。
0:06:42	そうですね。当然たEのところで入れた方がいいなと言いながらちょっとあれでばらつきっていうのがあれなので、こっちは、
0:06:52	あそこではないんですね、要は話ですね、今の。
0:06:59	さっきの話、10月。
0:07:02	そうなると会合資料においても、
0:07:10	下水は作業としては、
0:07:17	衛藤本間のばらつきについて、
0:07:20	の検討ステータスをちゃんと明確に、これ資料の中で表すことと、
0:07:27	ことではあるし、
0:07:29	ないんですけど、まずは話をした通り、10月、
0:07:35	浪速区自治会以降の会合での説明をします。
0:07:41	次回介護者によっては、まだ番場も、
0:07:46	検討中というふうにします。うん。
0:07:50	まず書いた上で、
0:07:52	その次に私の質問は本当にそれでいいんですかって話なんですけど、そんな。
0:07:57	ちょっとしたことで、
0:08:01	その検討全体が後ろオープンなってるっていうことになっちゃうんですけど、本当にそんな資料で次の会合をやるんですかっていうのは、次の
0:08:15	またあれなんですね衛藤。

0:08:20	ドイツをどうまとめるっていうのが決まらなるとばらつきをどうこうとるから好きな議論を、設計上の取り扱いの範疇と扱って、岩盤の話。
0:08:34	の扱い等、ちゃんと丁寧に書き分けるっていう手はあって、その辺をどうしますかっていう議論だと。
0:08:41	余りに加久藤坂野なんか、後に戻ったような印象を与える書き方をするのがコサクではないんじゃないかっていうのが、今のご指摘だと思うので、そこは一度持って帰って、書き方を検討してもいいんじゃないかなと思うんで。
0:08:57	そういう書き方にしてもいいんじゃないかなと思うんですけど。
0:09:01	規制庁コサクですけど別に統合するとかっていうことまで言わなくてよくて、それは比較した後についてのことだから、
0:09:09	今回いうことでもないし次回いうことでもないですよ。
0:09:13	次、次回、
0:09:15	次。
0:09:17	次。
0:09:18	企画も自治会あるんでしょう。学校、自治会がみずから自治会、
0:09:24	なので、そういうことを検討しますだけ言えばよくて、一方で、検討するにあたって、基本地盤モデルどうすんですかっていうところの設定方針を当然言わなきゃいけないし、
0:09:36	データがあるならデータも示してもらわないといけない。
0:09:39	うん。
0:09:40	ということなので、
0:09:42	データがまだまとまってないんですって何で言うのかなっていうのが2本あっじゃなくて、更新資材数値が変わるだけの話っていう扱いか。
0:09:53	基本はでも基本地盤モデルにおいては、更新何もなくてただ計算するだけなんでしょ。
0:10:05	だからばらつきは研究所最終的に入るところ。
0:10:09	から、ちゃんと書き方をちゃんとすれば違和感はないんじゃないかっていう話かな。
0:10:17	今みたいに、
0:10:19	夏場に、
0:10:20	僕に住んでいる方でちょっとありますよ。
0:10:23	うん。そういう。
0:11:18	まずまだいまいちきっちり入れてないけど、この書き方で買って欲しい。これ3%今チェックしました。

0:11:26	不確かさ
0:11:29	説明の全体像、1、
0:11:31	した上で、
0:11:39	イマセっていうのはなくして、うん。
0:11:45	要は理解されてる藤堂 2000 から企画課だけじゃないです。
0:11:59	今後は、
0:12:03	全中じゃないさい。
0:12:06	振り返りがやけになかったんで、
0:12:09	私も今の会議は、
0:12:13	同じように、
0:12:14	でも、
0:12:17	今の場合、
0:12:19	逆にちょっと今、ばらつきの話と、
0:12:22	ちょっと幾つかコメントあったのは、
0:12:26	違う。
0:12:27	私のメモさ、
0:12:30	どちらかというとちょっと細かいこと聞かない。
0:12:35	なんで、
0:12:37	改善したのかよく。
0:12:43	古作ですけど私の勝手な想像ですけど、技術的なところは自分の領域だから、
0:12:49	概念的なところは増えてたから、意味がわからず、うまく文章、
0:12:53	それだけじゃない。
0:12:56	います。
0:13:04	はい、大丈夫ですか。
0:13:07	イセ。
0:13:14	アート本部で赤間布施ノモトです。はい。はい。
0:13:22	16 番。
0:13:26	ユースケースを進める前提で計算されて、
0:13:30	は、はい、二本木オカ先生おっしゃる通りです。
0:13:33	BSケースを使っていることを含め、計算。
0:13:49	こんな感じでよろしいでしょうか。はい。
0:14:00	11 番。
0:14:06	あ、合成の支援件数の話ですね。

0:14:09	第1回の規制ちゃうんです。第1回の考え方が何番と一般的な考えであり、これ私の方で出したので、
0:14:20	その時には言わなかったんですけども、追加で
0:14:25	記載してもらいたいんですけども、さらに今回、
0:14:30	状態変化、要は基準地震動が大きくなったこと。
0:14:36	にもかかわらず、
0:14:39	今回は、今回はその考えを見直す。
0:14:43	あるんですね。
0:14:46	一般的であり、なおかつイセんですが、地震動が大きくなった。普通それだと、より非線形化を考慮しなくちゃいけないと考えるにもかかわらず
0:14:56	あえて先決する理由。
0:14:59	はい。はい。
0:15:01	はい。それを、
0:15:04	本部本部ですね、本部の、
0:15:07	の制定ところに、
0:15:09	をしたい。
0:15:17	はい。
0:15:19	しちゃうんだけどちょっと先ほど、減衰の件。
0:15:24	ごめんなさい、ばらつきだけ。
0:15:26	ステータ数を確認したいんですけども、さっきもちらっと言いましたけれども、ばらつきの考慮の方法の一つとしては、ラッシュごとに、
0:15:37	要は申請地盤の、
0:15:40	松木をそのまま使って持ってくるという考えが、
0:15:43	ますよね。一つ、
0:15:45	ざっくり。
0:15:46	それとはまた別に、ここのグループごとに、各岩種の、毎月、
0:15:54	ね。そうすると、各グループごとですと、
0:15:58	例えば、
0:15:59	バランスQコールばらつきの数、評価するだけの十分なデータが足りない。
0:16:05	だから、このグループは足りるけどこのグループ、足りないとか、さらに追加するだとか、
0:16:10	そういう考え方もあるということなんですけども。
0:16:14	留年は今そういう検討さしているんですか。

0:16:18	これから数。
0:16:19	現状、バランスに関しては、どれをとる、とですね、その選択費が何があつて、ちょっとどうしていこうかという議論は、やっているところですけども、
0:16:34	まだちょっとご説明できる状態で、そこまでいってないっていうのはそういう状態でございます
0:16:40	はい。院長。はい、わかりました。
0:16:44	何。
0:16:53	振り返りについて確認はございますでしょうか。
0:16:58	よろしいでしょうか。
0:17:01	それでは、本日の議題としてはまだ続きありますか。この後どう進めるでしょうか原燃の方で考えがあればお願いします。ちょっとすいません時間が本当にお聞きします。申し訳ございません。
0:17:15	ですね本来でしたら後、三つのですね1について、ご確認、
0:17:21	黄疽いただくべきところがちょっと時間も時間なんですけれども、ちょっと我々の方からですね、ちょっとそれでここだけは、
0:17:33	ちょっと確認させていただきたいといいますか規制庁さんの受けとめをお聞きしたいと。
0:17:39	いうところをちょっとお聞きしまして、規制庁さんからもですねちょっと下に対して、最近ここだけはどうも認識が切られるだから正したいというところをちょっと
0:17:53	短時間、少しいただくといった形で、今回はそこまでやらせていただくという形でいかがかというふうに思います。
0:18:05	そちらから、
0:18:07	THAIことってというのは構わない。
0:18:09	ちょっと、
0:18:13	何とも言えないんですけど、これだけやればいいみたいになっちゃうのもあれなので、
0:18:18	ここだけは元の認識が間違いなくちょっと違うんじゃないかと、もうご懸念のところがあれば、
0:18:27	ちょっと聞きできればというところではございます。
0:18:33	まだそこまでの確度でできてないんじゃないかなっていう感じだし、
0:18:39	そういうことでしたら、ちょっとこちらから実際クドウだけちょっとうかがわせていただいて、あと我々の中で、もう一度ちょっと揉んで参りたいというふうには思います。

0:18:51	はい。まず、
0:18:54	きちゃうわけです。最後でいい。ちょっと
0:18:57	今日付の新海でございます 8 月 4 日の資料の件で、2 点ほど事実確認 をしているところが、これは最後。はい。
0:19:08	出しました。
0:19:10	そうしますとですねちょっと元カーで恐縮なんすけどもまさに今ちょっと おっしゃっていただいた 8 月 4 日のですね、
0:19:20	降灰のペーパーですね。
0:19:23	ちょっと
0:19:24	冒頭でお話ありました、3 ページですね、我々減衰の検討の、
0:19:29	プロセスといいますか、考え方を、これ、かなり我々、自信持って作った つもりであるというところがどうや全くちょっと悪いと。
0:19:41	用語反応ではあったので、ちょっとそこがうまくやはり我々ちゃんとでき てないかなというのがちょっと心配したところでございます。
0:19:51	我々これの意図としては、前回以降ですね、その下水に関する検討事 項を網羅的に抽出したんだけど、
0:20:04	ポンプローズってどっかからのスタートがあって、インプット情報があれ ば、はい。
0:20:13	パーンへ。
0:20:15	4%。
0:20:18	なると思うんですよ、これ。
0:20:20	どっから始めて、
0:20:22	何が出てくるんですかっていうのは、全然見てわからない。
0:20:26	でございます。そうですね出発点があるのではなくてですね一番上ので すね基本地盤モデルにおける下水道させて、ここに向けて、各パーツ が、
0:20:37	どういう関係性でどこに着目して、その目的に向かってデータを集めて いくかといったような頭でこれは作っておりました。
0:20:47	はい、じゃあ、そのように基づいて今多分 5%です。
0:20:54	はい。
0:20:55	今多分ですね、基本地盤における先生。
0:20:59	出口であると思うんですけど、はい、じゃあ、目標としては細江都築です か。
0:21:10	まずとっかかります。

0:21:11	どうやって辿り着く
0:21:13	かといいますデータそのものは下から上がっていくものになるんですけども、一番江藤はい、そこもわかんないっすよね。
0:21:23	普通広げると書きたくないんですか。
0:21:31	そうですね。
0:21:33	そもそも、
0:21:35	定員をなしていない。
0:21:37	体系図の手を出していない。
0:21:40	橋野。
0:21:47	こうしたら、最終目標に繋がる検討のフローではないよねというものですね。
0:21:53	これはね、
0:21:55	背景、
0:21:59	そんな感じ。
0:22:01	そう感じですかね。
0:22:05	だから、花粉雑はい。
0:22:08	そうか。
0:22:12	えっとそれぞれの検討の、
0:22:15	ここのな、そうですね。
0:22:18	中にちょっと、どこに着目して、これを補強してっていうの、
0:22:22	聞かしたつもりなんですけど、ちょっとこれはこれでいいかっていう質問に対しては、うん。じゃあ、実際に具体的に数字をまず当てはめて、
0:22:34	ていうのがある。
0:22:36	Dですか検層だって、大体これぐらい取れるだろうと。
0:22:41	仮で案内を入れて、今、目指しているところに、
0:22:46	たどり着くか代入して、本当にその順番も含めて、正しくそこはたどり着くのかっていうのを皆さん学会として、
0:22:57	矢印で、
0:22:59	矢印出先も含めて、本当にちゃんとパーに流れ着くなんていうところをまず検討してみたらいいんじゃないかと思いますけど、そうすると、ちょっと大分、
0:23:11	表の感じは変わってこないと、その導くような図にならないんじゃないかなと思ってます。

0:23:19	ありがとうございます。辨野でございます。最終の目標にちゃんとたどり着けるような検討フローになってないよね。
0:23:29	おっしゃっていただいてシバタヒントいただいたんだと思います。ちょっと我々の中でもう一度議論してみたいと思います。
0:23:36	期待を
0:23:38	はい。
0:23:40	私からちょっと一つ、喜多片野以上でございます
0:23:45	衛藤小阪様。
0:23:49	そうですか。
0:23:51	一応説明。
0:23:53	理解していただこうと思ひまして、
0:23:56	ずっと文章、
0:24:00	3、
0:24:01	構成も変えまして、
0:24:03	まず最初はその、
0:24:07	全体的な、
0:24:09	施設品質できてますよっていうのと、あとはちょっと西ヒガシを分解して、
0:24:14	それぞれですね、
0:24:19	会議モデルが平均の中に入れば、
0:24:23	ちょっとモンテカルロシミュレーション外に出しちゃってですね、こういうもので検討したっていう絵がですね、393 ページにちょっと患者さんに何か、
0:24:34	ちょっとポンチ絵でもいいから、わかるようにしてくださいっていうんで、
0:24:38	こういう絵を作ってみたんですけども。
0:24:40	ちょっとこのAの説明をですね、させ、
0:24:46	それぞれですね、まず、風シミュレーションでやって、
0:24:50	この真ん中の黒い線と、
0:24:52	両側ですね、完全相関の波線ですね、プラスマイナス安心。
0:24:57	結局、これ正規分布、
0:24:59	もししてるのであれば、
0:25:00	モンテカルロみたいな、ばらつきをもってしてやれば、これは Σ でばらつきをもってしても、持ってきて、
0:25:08	下から言って、全体的に 1000 名はですから総合的に揺れるんで、

0:25:12	平均無線に落ち着いていくっていうのが、シミュレーションの結果なんです ね。
0:25:17	この姫路の結果の中で、それぞれ青がですね 1990 年井清、赤が 2000 年以降の、
0:25:25	平均背景海域がですね、この分布の中に入ってるのであれば、
0:25:30	最終的にはですね、設計の段階ではですね、±ワンシグマを考えてで すね設計上は、ここで出現する、
0:25:41	事象というのですね。
0:25:42	説明できて、この中で、この中でこの中に今、ばらつきを持っていれば ですね、今回設定する値でいいんじゃないかということを説明しようとし たんですけども、
0:25:53	ちょっとその辺が、ご理解いただけてるかなという。
0:25:58	強化。
0:25:59	ご質問いただければ
0:26:02	確認したんですけど、
0:26:12	全部きちんと読んだかっていうと、まだ、
0:26:16	前回の後、
0:26:18	この前のバージョンの資料を見て、
0:26:22	何かいまいちだな。
0:26:25	生み出しながら
0:26:27	まず 376 ページぐらいから③の資料始まってます。はい。はい。
0:26:35	日本語め埋め戻しをしましょう。
0:26:40	1.1 での状況を説明しますということで、昔は多少やり方は違ったんだけ ど、こんな感じであると。
0:26:54	17
0:27:00	その次に、
0:27:04	2.1. 386 ページ。
0:27:08	まして、
0:27:10	については、
0:27:15	弁護士。
0:27:19	井清を実際ボーリング図、
0:27:22	ボーリングから持ってきました。
0:27:25	そうしました。

0:27:28	そうですねまずですね、全体的にこういう管理を押してます。こういう基準で作ってますってところをご説明した後にですね、
0:27:39	実際にその埋め戻しとってというのはどういうふうに、この段階で、実際に事業許可申請書の時で設定したのかというのをここに書いてございます。ここで書いてるのがですねデータセットといったこの前からもちょっと、
0:27:52	どういうことだっということなんですけども、これジーゼルというですね、意義ある特性を出すために、使うデータの
0:28:04	セットっていうカセっていうか、Dたの、必要なデータですね、それを今データセットって言ってるんですけども、これは先ほどのちょっと最初の本文の方にも入ってたんですけども、
0:28:15	ダウン、大分でいいのかどうかって何なので、ミイて言ってニワマーカで、こんな感じでやっていますよってということで、事実関係ですよ。ですね。
0:28:25	もともと、
0:28:27	管理してましたって設計においては、
0:28:29	許可段階ですか。
0:28:33	そのあとに、388 ページ。
0:28:38	いえ。
0:28:40	育成っていうのが出てきた。
0:28:43	ね。はい。施工年代に分かれて、
0:28:49	2.1. 1 で、施工年度別でした。2.1. 2 では、何も、
0:28:57	そこには触れずに許可では一緒くたにやりました。事実関係 2、
0:29:02	2.1. 3 になって、本当にこれ、そのまま敷設工事、
0:29:07	一緒に扱えるかどうか
0:29:08	かが、
0:29:11	3D、
0:29:20	これと先ほど言っていた、
0:29:24	運転管理、
0:29:26	なぜやるのかっていうところの繋がりが、全体によく見えなかったなあと 思う。
0:29:36	例えば 300、
0:29:37	18 ページの、
0:29:39	青、赤、

0:29:41	見て、
0:29:44	どういう問題点があって、その
0:29:49	この後の検討に繋がっていったのかってというのがよくわからない。
0:29:55	すみません、です。当然関野でございます 388 ページなんですけども、
0:30:01	これ先ほどの事業許可でですね一色単にして回帰をすると、実線と破線ということでG0 が設定されますと、これを見ると、ある程度のばらつきを持っているんですけども、
0:30:15	こういうようなばらつきを持っていたとしてもですね、今ここに、このこのばらつき、このばらつきっていうのは、
0:30:21	ここにも書いてありますけどもシマtがですね標準誤差ですね、プラスワンシグマが 47.6 っていう、
0:30:29	ばらつきを持って、その正規
0:30:33	分布をしてるというのが、もともとのモンテカルロシミュレーションの結果なんですけども、このぐらい分布しててもですね、200 個のケースをまわしたとしても、
0:30:44	全部が平均値で出した答えと同じぐらいになってしまう。
0:30:48	この分布を考えたんですね。
0:30:50	そういう結果になってしまうということで、ほぼこのぐらいばらついてても、平均になるでしょうということが一つ言えます。あともう一つはですね、この破線で書いてるのが、実際に±ワンシグマの完全相関という
0:31:04	ここで言いますと、一番設計としては、一番低いや低いやつ、合成の場合は低い高いっていうのは、強度じゃありませんので、一番周波数体がちっちゃくなるのが一番低い方で周波数体が一番大きくなるのはG0 の、
0:31:19	高い方ですね、この中にですね、平均値、ここで言うところの平均的なものが入ってればですね、最終的な設計ではですねこの破線のところまでの、
0:31:31	設計を海峡して、背この破線のところで回帰した設計値までを用いれば、ほぼほぼ、実際に表、ここで現れる現象というのが、
0:31:42	すべて網羅できますよというのが、そのモンテカルロシミュレーションの二つ目の結果、
0:31:48	お示ししている結果となります。そういうものも含めると、この程度のばらつきを持っていたとしても、実際には平均値で下、平均値を使ってもいいだろう。

0:31:59	或いは±アンシグマっていうのを設計時の時に使ってやってそれでその中に、それを網羅してやれば、設計としては包絡できるだろうということで、二つのモンテカルロシミュレーションをやらしております。
0:32:17	はい。
0:32:21	なので、条線の黒破線のばらつきという場合は、シフ。
0:32:28	を見ておけば、
0:32:32	もう、
0:32:35	お墓、そしてそのそれらのばらつきを踏まえた状態でも、
0:32:41	フローティングの破線の中におさまりますって言っているんです。
0:32:48	ばらつき含めても、はい。ちゃんと収まります。
0:32:54	それがですね、393 のところの、
0:32:58	なんですかけれども、といたしますか
0:33:01	2-1-3-70 というやつで示してる絵なんですけど、実際この黒破線の中に、
0:33:09	宇都赤野。
0:33:11	全海域の海域が中に入ってますね。この±ワンシグマ
0:33:17	ということはどういうことなのかというと、
0:33:19	参考でつけております。
0:33:29	でしょうか。
0:33:31	ちょっと参考 4、4。はい。参考の 440 ページなんですけども、
0:33:36	これ、これがですね、
0:33:38	この 393 ページを、の答えを示してるも、モンテカルロシミュレーションの結果ですので、ちょっとここと紐づけして、
0:33:48	ここで説明させていただいてるんで、
0:33:53	440 ページは、
0:33:56	何かこれに綺麗に点線の中に収まってくれてるとそうなんだっていう。
0:34:02	こすなんかそういう感じにも見えないんですね。
0:34:05	この赤で書いてあるのが、
0:34:08	平均値で、緑と青で書いてあるのが±ワンシグマですね。
0:34:14	それが完全相関の患者さんってここで言うときに、ここで言う、
0:34:19	マイナス側の黒破線とプラス側の黒破線の結果なんです。ここにしかもう内、ここまでの事象しか出てこない。

0:34:28	このばらつきを持ったデータからすると、当該時点ではここまでの事象しか出てこないということなので、これ最終的に設計の時に±ワンシグマを考慮する波が、赤と緑で書かれて、
0:34:41	平均で設計するときの赤で、ここに出ててそれにばらつきを持たせたとしてもほとんどグレーのところは、ばらつきを持ってたとしても同じ応答しか示さないというのが、
0:34:52	シミュレーション結果ということになるので、最終的に設計段階でこの青と緑色までを含めてやれば、
0:35:01	当該時点では、表、現れる事象というのが全部再現されて、それで、その中に収まっていれば、その建物、そそのまあ、ここでいうと、
0:35:12	その上に出てくるFRSとかっていうのはこの範疇に入るんですよっていうことになる。
0:35:18	うん。
0:35:21	440 ページで言うと、
0:35:23	例えば短周期側なんかも、青と緑をメインに千賀さんもホデてですけど、これは何て言ったでしょう。
0:35:34	今、440 ページの、
0:35:37	青とわかる。
0:35:39	それどっちが、えんじの水辺の方でしょうか。
0:35:43	上の方で、上の方ですか、水泳ですね、杉江アオキですね、青と緑がプラスマイナスの安心ですね。
0:35:51	はい。
0:35:52	これより上、
0:35:54	これ、包絡されるんこれこれをここまで設計してけば、全部、さっき、この赤っていうやつが許斐青と緑で崩落されているので、
0:36:04	はい。平均を使ったら、見えない。
0:36:10	例えばコンマ 1Hz のときですね、見ていただきますと、赤池も今日記述はするんですけど、短周期側とかは、青と緑、赤だったり、
0:36:20	黒がそれに出て、見えて、
0:36:26	0.06 から 0.08、
0:36:30	9 番。
0:36:33	じゃれ 0.2、一番一番北もそうだけどね。
0:36:40	し、シミュレーションですよ。このぐらいの幅が出るんですけども、
0:36:45	うん。いやそれを省略したら、
0:36:48	いやそのぐらいの差っていうのは、

0:36:51	安全、
0:36:51	吸収されるんです。
0:37:01	難しい、それがわからない。
0:37:03	コサクですすみません、そもそもこれ、ばらつき云々って書いてあること自体が、我々の懸念してこのデータを適切に入れたものなのかっていうのがよくわからない。
0:37:14	何か回帰して何してとかって言って、加工したDたで一生懸命上で説明されちゃうから、
0:37:21	438 ページにございますけれども、
0:37:24	これがワシグマ値をですね、ばらつかせる、ランダムにプラス、ばらつかせたデータを一つのケース、
0:37:34	ごめんなさい。
0:37:36	ワシグマのものをばらつかせたっていう意味がわからなくて、今回は
0:37:42	測定されている直下の或いは周辺のデータを愚直に使いますっていうのが基本コンセプトじゃないですか。
0:37:50	そうした時にそう使いませんって言うてるんですよね。いやそのデータの統計量として、確率密度関数があります。ごめんなさい。だから、統計量としてってなぜ言うんだっていうことがわからない。
0:38:05	言うてる意味が私の
0:38:07	開催成長が今は表層の話なので、1990 年以前と、2000 年以降を一緒に扱えるかどうかっていう話、ごめんなさい、もうちょっとちゃんと言いますね。
0:38:20	単純に言うと、一般人ですよ。私、専門じゃないので、一般人が見て、ワシグマより外のところにプロットしてますね。
0:38:32	で、これもう、しかも平均ですと、
0:38:35	ということですよ。
0:38:36	ざくつと言うね。はい。あと平均が外れているのに、なぜ外れていいんだっていうと当然石油ですが、例えばその 2-1-3-6 図で、平均が外れてるわけですね。
0:38:48	で、これ平均が外れても、
0:38:50	結局、地盤を伝わってきて表層ニイツに行くときには、この海域、ここで言う、青の実線、ございますけども、この青の実線と、
0:39:01	同じ、同じこの青の実線が入られるのと同じ応答を示すと。
0:39:07	ごめんなさい、古作です。その意味がよくわからない。

0:39:11	それが一番最初のモンテカルロシミュレーションで示してるやつなんですけども、
0:39:20	アノコサクです。単純に言うと、この点で入力して計算をしてみました。
0:39:27	それと、この線で計算したものと変わりませんって言うてくれれば、わかりました。なるほどって思えるんですけど、基本的に同じことです。
0:39:35	うん。ていうのを、はい。
0:39:37	説明してもらえません。わかりました。はい、承知しました。ちょっとですね数字的な話をしてるんで。わかりました。今おっしゃられたことがわかりましたので、
0:39:49	ここで今交点ってところに3関係になってますけどもそれを入れたときに、もうほとんどここで言うところの平均と同じような答えが出ますっていうやつをちょっとシミュレーションしています。はい。
0:40:01	規制庁コサクですっていうのも、この実線を引き直してること自体が、あくまで、
0:40:08	仮定じゃないですか。
0:40:11	何でそれでいいんだっていうところ。
0:40:13	から派生しちゃう、疑問なので、そこから潰してもらえると、理解ができるか。はい。わかりました。ちょっと、
0:40:22	大大井解析は、
0:40:24	しています。はい。コサクですっていうのも、この場合は更正引いてますけど、別の前のデータの縦に何本か線を引いて、インプットしますっていうパラメータがあるじゃないですか。
0:40:36	はい。あの前違うんですけど、当然ですけどもともとのその直下モデルって言ってないと。
0:40:43	で、
0:40:44	コサク磯そういう時に、これを見ると、
0:40:47	10メーターから下って縦に1本じゃないのっていうふうに見えるんですよ。
0:40:52	はい。これはですね、一方、
0:40:54	現行の産経なんで、
0:40:57	どうしてもこれなっちゃう。
0:40:59	うん。200、300、391 ページですね。
0:41:04	2-1-3-5 図の、
0:41:06	左側の絵を見ていただきますとこれもちょっと、これ1本だけっていう、今私が言ったことも、

0:41:14	今度の追加のですね、ちょっと調査をほっとしたいと思っておりますので、はい。はい。
0:41:21	ということなんでちょっとこのデータはやっぱりちょっと偏りがあってですね、最終的にはその統計的には、平均に落ち着くんですけども、ちょっとこういうことで、ばらついたデータを拾ってきちゃって、うん。
0:41:32	含めてちょっと、
0:41:34	はい、古作です。そういうことが大事だと思います。はい。
0:41:38	さらに言うと、他の
0:41:41	ちょうどばらついてるってのよく説明してくれてるなっていうのが、384 ページ。
0:41:50	これもパラメーターとしては、粒径、
0:41:53	のパラメータというだけですけど、
0:41:55	これ昔は相当ばらついてるのねと。
0:42:01	2000 年以降は管理の仕方っていうのが整理をされて、ある程度、
0:42:08	同様の仕様になる形にまでなったねと。
0:42:12	といっても、時々ずれるのね。
0:42:15	ですね、いうのがよくわかるようになって、
0:42:19	よくわかるようになったからこそ、
0:42:22	大きくばらついてるときと、ある程度固まってるときで、
0:42:25	同じなのって、
0:42:27	いうのがよくわからない。
0:42:29	はい。
0:42:30	今の二つ、当然関野んですけども、日下さんの質問に答えるべきはですね、427 ページをちょっと見ていく。
0:42:43	の、これ今、久野は、
0:42:48	384 ページのですね、四角で書いてあるのが、PT-3 というやつなんですね。
0:42:55	これKB-3 とすごくばらついてるように見えますよね。うん。うん。でも、実際これ先ほどのですねGO の、
0:43:02	会計のやつに乗せてやると、大体平均のところ、はい。
0:43:06	ですよ、これ左側なんですよ。ちょっと自分の思いはある。
0:43:12	このKT-9 というやつもですね、

0:43:17	ここでもOneシンボの中に入ってきているということで、これだけ青がばらついてるように見えるんですけども、G0の答えとしてはですね、この赤で入ってる中新統もの平均と同じような
0:43:30	もので入っているので、このこのばらつきぐらいだとすると、G0ってのは平均に入ってくるっていうのが、
0:43:37	ちょっと今、このデータだけではですね、そういう結果がとりにあらず見れるかなって。これで見えるんですか。僕はそう思ってます。
0:43:45	長コサクですけど無理ですね。
0:43:50	少なくとも文面ではしっかりとこれが限られたデータであって、他のデータ講座等こういうふうに会計にちゃんと載るんですと。
0:44:01	いうことを何らか言わなきゃいけないって、そうすると、追加情報って必要なんじゃないのっていう感じ。
0:44:07	なるんじゃないですかね。
0:44:11	当然設計のベースは、おっしゃってることはよくわかりますので、
0:44:15	その辺のところはですね、もう少しちゃんと解釈して、できるだけ、
0:44:20	わかり、
0:44:22	はい。
0:44:29	今言った話ですね。
0:44:31	何が。
0:44:33	ちょっと不安なところがあって、
0:44:36	予算としてはかなり自身も、
0:44:41	ことなんだとは思いますが、一方で、こういうところが考えたら、次の、
0:44:48	町村に表層のデータ、こういうところ、
0:44:52	それをこの図の、
0:44:54	にプロットしてみますと、いう時にこの辺に入ってるといいなっていうところまでイメージ、伝えてもらえるとその次、何をやるのかと。
0:45:04	今の表層において何が足りないのか。
0:45:09	そういうところも、
0:45:13	はい。
0:45:16	今日の午後の最初の方で、
0:45:19	競争も、ついでみたいな感じじゃなくて、データとかなきゃいけないんだと思っている。
0:45:29	どんな実験もですね、

0:45:31	何が足りないのかがわかって、深町深見ですね、10メートルより下のですね、データが取れてないっていうことができ、今深いところでとれる位置をですね、
0:45:42	確認してます。
0:45:44	できるだけ今回先ほど言った一本棒しかないってところがありますんで、ああいう10メートルから20メートルという基準仮想という20メートル以上なんですけどもその辺のところをですね、
0:45:55	とりあえず探して、今、風間になってる部分をできるだけ埋めるような、
0:46:00	調査をしようというふうにして、
0:46:06	それでいい。
0:46:07	そのデータを取ったときに、
0:46:10	それを持ってきて、もう1回平均化して、埋め戻しの物性を決めるのかって言うとそういうわけじゃない。江藤。
0:46:19	当然設計の部分ですけども、確認でばらつきの中に入ってるというところまで確認しようと。
0:46:27	新しいデータを作るというのは、
0:46:30	今のところ、
0:46:34	そういうところがちゃんとやっぱり、
0:46:37	多分その儘田町で生値として、徹底平均して使うんだったら調査しております。
0:46:44	んですけど、調査はするんだけど、それをそのまま使わずに、確認をするだけって、設計に使うタバコになっちゃうんですっていうかちょっと複雑なことだろう。
0:46:55	その辺の関係性をわかるようにして、
0:46:59	はい、池野でございます。はい、承知いたします
0:47:03	はい。清長です。その440ページの表んだと思うんです。移動とかも合わせてもらえると。
0:47:11	赤、
0:47:17	色をちゃんと先ほどのページの物性の
0:47:23	合わせてもらえるとわかりやすいし、
0:47:28	してもらおう。
0:47:30	あと、わかりました。はい。同じ意見でございます。ちょっと波線の色をですね、緑と青に変えています。はい。
0:47:43	それぐらい表層で、

0:47:45	まず 3 回はこんな感じで言われたことに対して、あなたとしてはそんな感じですけど、まだ、
0:47:54	いや、
0:47:56	自分、
0:48:02	アノ。
0:48:05	ちゃんと日本
0:48:07	はい。
0:48:11	もう、
0:48:12	本、
0:48:14	これで、
0:48:14	1 ニシタニってというのは、当然ながら、皆さんに
0:48:21	この辺はですね。
0:48:23	はい。要するに探し出して対応していただく。
0:48:27	理事会を確か 21、
0:48:32	そこに反映されている。
0:48:33	いうことか。
0:48:35	インナミでございますはい。そのスケジュールで考えてございます。
0:48:44	見ます。
0:48:47	まず入れた整備があったように、
0:48:52	本来、
0:48:58	ん。
0:48:59	ミツイ。
0:49:04	そういう説明の流れにイマセ。
0:49:10	今、結果的には、
0:49:18	が、
0:49:19	再整理する。
0:49:22	切れないんで、そういう整理ができない。
0:49:28	1 日間、
0:49:30	0 なんで、
0:49:32	うん。
0:49:35	品質を目指してる。
0:49:43	具体的なあ根拠という。
0:49:47	資料全般通じ、
0:49:53	三つを目指し、

0:49:58	詰めて均質になるという
0:50:01	おそらく教室を目指して、
0:50:06	急先鋒
0:50:09	つまりの説明もあって、
0:50:12	現場で実際そこに携わった人、わかんない。
0:50:22	違いを説明しているだけ。
0:50:27	3、
0:50:31	うん。
0:50:32	違い。
0:50:33	管理方法以外の間をつなぐために、
0:50:37	説明を試みようとしたんじゃないかなと思うんです。
0:50:40	うん。
0:50:41	なんでここである程度、
0:50:44	施工時期の違う傾向はない。
0:50:50	利用として、
0:50:52	多分、
0:50:54	説明がないんで、いたします。
0:50:58	スマート設備、
0:50:59	消費されるなら、さっき、
0:51:02	ここは違いだけを、
0:51:04	説明してる人が、
0:51:09	違いをつなぐ。
0:51:11	猪瀬。
0:51:12	しようとしてるんだろう。
0:51:21	技術課お願いして、
0:51:30	はい。
0:51:36	説明できてるつもりになって、
0:51:39	持っていただいて、一般の方にもわかるような、
0:51:50	議員の方でございます。周知いたしましたすみませんちょっと伝わらない、表現がやっぱり散見といいますかたというご指摘だというふうに思いますので今ちょっと全然見直しまして、
0:52:01	読み切れるような、といいますかちゃんと伝わるような表現をちょっと目指して参りたいと思います。ありがとうございます。

0:52:12	すいません原燃側からお聞きしたいことがいいです。はい。以上でございます。
0:52:18	はい。規制庁青井ですちょっと2点こちらから確認したいという点。今日、残りの別紙Cのですね説明。
0:52:29	とヒアリングがいつもっていうのがあるんで、それは後からスケジューリングしてもらおうと。
0:52:35	ちょっとこれだけ100人てのは、8月4日付2ページ目のですね、020のところ
0:52:42	全身アップのところの、
0:52:44	一番上の矢羽根まず鉛直方向の結果を示すというのは、これ、21日の美唄市版で、助教。
0:52:52	方向のステップのスタッフ等も出てくる。
0:52:56	近年の分でございますその通りでございます。
0:53:00	それともう一つ、三つ目の矢羽根にある評価に用いた全地震というのは、当評価に用いる地震の数というのは、現状示されているのか、いわゆる
0:53:12	日本原燃のオガセでございます。今のところの考えといたしましては結論としては増えないと思っています。そこについてはやはり次のページで書いている言葉と説明しませんけど、今のデータで十分であろうというところの考察をした上で、
0:53:26	今の19人ないしヒガシは14地震として、というところでやってやりますというところをちょっと説明します。その上でそれらの地震全部に対するシミュレーション結果を21人だし、
0:53:36	いたします。はい。規制庁阿比留です。伝達関数の比較で、今の絞られた地震で、6年、
0:53:44	問題ないと判断したという説明は今の方、別紙の中にあるんですか。はい。日本原燃土橋です。今現状入っていないです。はい。検討としての話としてはふやしたときの地震、伝達関数の感度とかそういったところの観点でのものを、
0:54:01	改めてふやして記載をするという必要があると思っております。はい。規制庁、衛藤。
0:54:07	その説明というのは21日版で反映されて、はい。日本原燃オガセおっしゃる通りです。はい、理解しました。
0:54:18	はい。
0:54:20	タナベから、

0:54:23	一応タケダにするその他何か、
0:54:25	事前に確認したいこと。
0:54:28	ありますでしょうか。
0:54:31	よろしいでしょうか。
0:54:35	通じて原点から何かございますでしょうか。
0:54:38	トップだけ。
0:54:40	それでは本日のヒアリングはこれで終了させていただきます。すいません、失礼します。
0:54:49	どうぞ。
0:54:50	最後、やりとりした結果がいいんじゃないですかね。高校と。
0:54:55	でも、口頭でこちらから各社長名でした。
0:55:02	こちらからの確認させていただいた事項としまして、まず建設法の
0:55:12	かかる今後の反映事項の3ページ目の前次長これは検討のプロセスとして、最後ですね、この求めたいものがちゃんと求まるようなちょっと、検討の流れが表せているのかと。
0:55:29	いう観点でもう一度我々の中で議論してちょっと見直させていただきます。たびに申し上げたそういうのが、以上でございます。
0:55:36	で、次に、
0:55:39	多分、他で事業をするんです。
0:55:42	うん。うん。なんでこっついうところ、ちょっとわかるように、
0:55:47	ところで、今、そちらもそこまで手応えってなっちゃうかなと思ってますけど。
0:55:54	うん。ロジックがですね、綺麗に整理できてるのかっていう。
0:55:58	うん。
0:55:59	あんまり綺麗についていきたいかああいう苦労なんだろうなあと思ってるんですけど。
0:56:04	やっぱそちらとしては割と、
0:56:07	結構ニイズ行ってるんですっていう感じで何かギャップがあるな。
0:56:13	何かわかんない。
0:56:16	なんでわかってくれないんだろうなあみたいな感じですか。ですね、ここでもう随分綺麗にできたよねと思いながらアトベさんに今日来たってのは事実でございます。それで、

0:56:29	ちょっと違うよねって今おっしゃっていただいて、やっぱり足りないんだなというふうに認識したというのを今の状態でございます。今神さんがおっしゃった、
0:56:39	ロジカルにですね5%がこれでいいんだということが表せてないということ、シンボいいただきましてちょっとそれをもとに、我々ちょっともう1回頭を整理し直すといえますかそれし直そうと思っておりますけども、
0:56:54	今おっしゃっていただいたことに対して、こうこうすればいいよねっていう、成功パスが私今見てるわけではないので、もう1回ちょっと考えさせてくださいというのが、現実の生活でございます。
0:57:06	はい。はい。
0:57:07	そういうことだと私も言いましたけど、実際にその値を行ってみたり、やってみる。
0:57:14	それで本当に話が通ってない。
0:57:18	で見てもらえば、
0:57:20	いいのかなっていう気はするんですけど、私はそういうふうに、
0:57:23	はい。
0:57:25	考えてもらう。
0:57:28	はい。表層の件では、当然スゲノでございます表層の件でございますけども、
0:57:34	実測データが安心は外れていてもですね、平均でいいのかということの説明をしてくださいということで、これはちょっと解析の方に変えさせていただきます。
0:57:44	あとはですね調査試験で何を確認したいのかということをちゃんと考えて、計画をするように、
0:57:51	ということ
0:57:51	思います。あと説明の中でですね、色遣い等をわかるように、きちんと説明する。
0:57:58	あと最後ですけども、品質をどう目指したのかということが、今回、提示してる図面からはわからないんで、その辺を丁寧に説明する。
0:58:11	ということで、
0:58:12	修正をさせて、
0:58:14	いうふうに、
0:58:16	で、先般といたしましていただきましたコメントで、今の資料の中でですね、この根拠を踏まえた根拠も含めてですね我々が説明、意識ってルートをいうふうに、

0:58:29	思ってるかもしれないけど、伝わってないと、いうこともいただきましてもう一度、今一度全体ですね、ちゃんと客観的に読める内容が読めるような形になってるのかと。
0:58:41	いうことを確認させていただくということを約束させていただきました。
0:58:45	それからですね、最後原崎さんからいただきました点で、等ですね、非地震観測記録を用いた評価結果、鉛直方向は、21 に提出いたします。
0:58:57	それから、さっき、
0:59:01	検討し、松崎進藤による解析、これにつきましても、これも 21 日に提出を約束となっております。以上でございます。
0:59:15	はい。
0:59:17	スケジュールなんですけど、21、また、
0:59:22	20、
0:59:24	3 ですね、まず資料ちゃんと間に合いますかっていうのは、頑張る。
0:59:30	そうですね。はい、辨野でございます。頑張ります。頑張った上で、もう本当に不可能だったらまだ来そうなんだとは思いますがでもその時はちょっとあの会合の日程ともどもになるのでちょっとそれはありえないのかなというふうに思ってますんで、極力頑張らせていただきます。
0:59:45	はい。
0:59:48	それでヒアリングは 23 日の午前中で今設定をされているようなんですけど、今日も全部触りきれないっていう、
0:59:58	ないですね、使ってとなると、
1:00:03	資料出してもらって 23 対 5 の話はするにしても、24 にずらすとかって、結構返事が起こってない。
1:00:14	ちょっと触れないところ、細かいところですね、そちらも
1:00:18	見直すとは言ってましたけど、
1:00:22	本当やるだけでも結構手一杯っぽい感じですので、
1:00:26	ちょっとそんな感じのスケジュールは、
1:00:29	看護師どう再考して、進め方、
1:00:33	聞かせてもらえれば、
1:00:35	議員のでございます。はい。おっしゃる通りちょっとこのボリュームをですね、このニッサカ午前中のしかも他のヒアリングとバッティングさせるような状態ではちょっとアノムタのかなというふうに思います。
1:00:48	24 日にちょっと入れさせていただく。

1:00:52	ようにちょっと調整させていただこうと思うんですけど、そのあと後の対応ができるのかも含め、そうですね、よく考えてください。はい。はい、承知いたしました。
1:01:02	時間が必要なものは間違いないと思いますけども、
1:01:10	ですが、21日のリヴァイスパンに向けて、今日の残りの部分は、いつ付ヒアリング
1:01:20	それは誰。
1:01:22	よろしいですか。今日、もう今日のです。今日は時間切れですけども。はい。今日のコメントを踏まえて、他の箇所についても展開して、ちゃんと読めるように、
1:01:35	資料をもう1回見直すという宿題をいただいて、これ次21日にご提出というお話に今なっているというふうに認識してございます。特徴ですけども、例えば減衰のスペクトル、これで何でやってるんですかという
1:01:49	か、
1:01:49	ですね、各資料に応じたっていうのもあると思うんですけど、もうおっしゃる通りですねはい。
1:01:58	側溝を背反本来ちょっとをご確認いただく時間をとるべきであったんですけども、今日ちょっとこんな状態になってしまったということですので、
1:02:13	はい。はい。今日の結果を踏まえて、例えば減衰の資料も見直しますと言ってね、
1:02:20	円錐ユニークな話いっぱいあって、はい。
1:02:23	減衰が結構、
1:02:25	いうイベント、
1:02:26	はい、お願いします。
1:02:28	それなくして21日に修正版が出てきても、それから会合には間に合わないという
1:02:35	はい。
1:02:38	そうですね。おっしゃる通りです。
1:02:43	ちょっと今もうあれですね。89が午前も午後入れてしまってる状態ありますんで、次はもう10日になってと。
1:02:53	ということなんですけれども、規制庁コサクですけど、とりあえず、
1:03:00	現状の資料では、明石さんの話が入ってないっていうものをベースに話してもしようがないので、

1:03:08	アノ 21 と問わずに、その部分だけでも出すなら出したものでやるっていうことだと思いますけど。
1:03:17	そんな時に、今日言ったところもある程度、なんすか、5%に結びつけたっていうとちょっと語弊がありますけど、何で5%でいいと思ってるんだっていうところ。
1:03:28	考えてることをしっかり書き下すっていうことはやってないと。
1:03:32	話にならないわけで、
1:03:34	それをこちらからまた一つ一つこれはこれは言ってもしようがないんで。
1:03:39	それぐらいはやって、
1:03:42	なんじゃないかなっていう、
1:03:45	もし、
1:03:46	というので、
1:03:47	一応宿題にして、
1:03:50	等、
1:03:51	明後日の進め方日や、
1:03:54	7日、
1:03:57	その時にいつぐらいにまた相談させてくださいとか、わかりませんが、
1:04:01	整理をしていただいたらいいんじゃないですか。
1:04:08	ちょっともうここは思いつきで言ってあれなんですけれども、例えば9日の本に共通要因に関するヒアリングがあるんですけども、
1:04:16	その裏番組で浜崎さんに、これちょっと、
1:04:21	今、すいませんけど。はい。チームでやってるのでハバサキさんにとかっていうのだったらもう来ないでください。はい。失礼いたしました。はい。失礼しました。
1:04:30	明石さんともちゃんと話をしてください。秦さんと相談をしてないの日程決められないでしょう。はい。
1:04:37	失礼いたしました。という形があります。
1:04:41	はい規制ちゃうんですよ。
1:04:44	最終的には、会合で、はい。
1:04:46	わかりました。はい。
1:04:55	以上だけですその他何かございますでしょうか。
1:05:00	それでは本日のヒアリングはこれで終了とさせていただきますお疲れ様でした。ありがとうございました。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の武です。ただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった最初及び廃棄物管理施設の設工認申請について、
0:00:14	7月31日8月通の、
0:00:19	いかがですかね、提出があった資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:23	まず規制庁側の出席者紹介いたします。
0:00:26	規制庁側不作調査官、ハバサキキシノカミデタケダ以上になります。
0:00:33	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、それぞれの役割、本日のヒアリングでも説明範囲と達成目標について説明をお願いします。
0:00:43	はい日本原燃のオガセでございます。本日の原燃側の出席者でございますが、東京から出席しているところでございます。日本原燃よりケツクノモトオガセヤマグチ。
0:00:54	と、あと九州電力の井出アカシ様。当然設計より宇野様、三菱重工よりサトウ様、大林組よりウノ様。すいません。和田さんは28以上八名の参加となります六ヶ所側につきましては本日発言予定でございます。
0:01:09	ございませんので、6日本原燃側出席者は以上でございます。
0:01:13	日本原燃の郷でございます。本日のご説明ですけれども、7月30日に提出させていただきました最貧建物08の淡路18について、
0:01:26	ご確認いただくということとそれからこの太田井清館野08ご提出さし上げたものに対して8月2日の
0:01:36	ヒアリングの際に、この足らずのところを、ご指摘いただいたところを踏まえて、今回ですね耐震建物破棄に今、我々が欠けていないところというのを、
0:01:50	名簿の方で8月4日付のメモとして、ご提示いたしました耐震建物08に係る今後の搬入機構のこのメモについて、
0:02:01	ご案内いただくということでございます。それからこれらを踏まえまして、次回の会合、
0:02:08	でのご説明の骨子といたしましてパワーポイントを、のバージョンの資料を8月4日提出させていただいておりましてこれについても、この流れについてご報告いただくということ、
0:02:22	でございます。以上でございます。
0:02:26	はい。規制庁の竹田です。

0:02:29	では資料は三つありますけれど、順番としてはどういうふうに進められる予定でしょうか。
0:02:35	日本原燃野本でございます。ちょっとご相談かとは思いますが、ですね、まず、ちょっとこのですね耐震建物 08 期に係るご確認とそれから会合。
0:02:49	ナカニシの確認と、この二つの大きな流れになるかなとは思いますが、えっとですねまず、耐震建物 08 期の
0:03:01	ちょっと足らずのところですねこれ前段の話にはなろうかと思しますので、このですね、我々やってきたことのご説明、
0:03:13	まず差し上げて、こういうところが今後出しても 08 に入ってくるだろうというちょっと大枠のそういう資料のですね、
0:03:24	今後のちょっと作りの方向性についてご確認いただくというのをまずやってからですね。
0:03:34	介護資料の
0:03:39	流れのご確認をいただくと、いうことを次にやりまして、最後ですね私なんてのはここ、具体個別のですね、
0:03:49	内容についてのご確認いただくとちょっとこういう形かなとちょっと私は思っているんですけども、5 日がちょっと違うんであればまたちょっとそこはご相談かなというふうには思っております。以上でございます。
0:04:05	規制庁竹田です。衛藤それからつきまして規制庁側から何か。
0:04:08	おめでとうございますでしょうか。
0:04:10	よろしいでしょうか。
0:04:13	資料からやっちゃった方。
0:04:22	承知いたしました SOA コサクです。
0:04:27	資料以前の問題なので、何とも言いにくいんですけど、
0:04:31	会合資料が一応、タスクとしての全体像が入っているので、
0:04:36	それどういう認識なのかっていう話が、局長じゃなく、全体で話ができるのかなというふうに思います。
0:04:45	すいません。
0:04:46	一方で、
0:04:47	先ほどの説明は、資料を直そうっていうタスクのようにしか聞こえなくて、
0:04:53	そもそもその認識が違っている。
0:04:55	ていうふうに思ってます。我々は資料をブラッシュアップしたいのではなくて、原燃の姿勢を改善して欲しい。

0:05:02	はい。
0:05:04	検討の体系をしっかりと漏れのないものにして欲しい。
0:05:09	いうことであって、資料なんかどうでもいいんです。
0:05:13	ていうところが相変わらずずれてるなど。
0:05:16	いうところなので、
0:05:21	そういうところからしてそもそも資料の書きぶりがなっていない。
0:05:25	やっぱり認識が違っているから仕掛けるもの。
0:05:29	かけるものってないんですよ。
0:05:31	持ってないか。
0:05:35	ていうところをどうしたら改善できるのかっていうので、先週のヒアリングでは
0:05:41	地権者選考で審査実績のある地権者にしっかりと聞いて、
0:05:47	何が足りないのか何をやるべきなのか。
0:05:50	いうところをしっかりと押さえてきてくださいという話をした。
0:05:54	ということです。
0:05:57	もう一つの4日に提出していただいた、08の
0:06:02	反映事項も行ってから、
0:06:05	1日たらちょっと。
0:06:08	書き上げて出されたものなので、その点ではまだ地権者の十分知見を入れ込んでないと。
0:06:15	いうところでしょうから、この書類自体があまり力がよくないのは、しょうがないなとは思ってはいるんですけど、
0:06:26	ねえ。
0:06:28	ですけど、今申し上げたように、資料の直してというふうに意識が向いているっていうのが、
0:06:37	文章的に見え隠れしていて、
0:06:40	その説明が、野元さんが言われたところだとより資料によってるんだなということが明確になったということで、懸念がやっぱり払拭できてないなあと。
0:06:51	というのが率直な印象です。まずはそう大枠だけで言ってもしょうがないので、
0:07:01	審査会合資料の記載を基にですね。
0:07:05	ええ。
0:07:07	それぞれが何が。

0:07:09	考え方が違っているのかといったことは話をして、
0:07:14	いきつつ、また、タスクに明確にしていれば、
0:07:19	思います。
0:07:23	はい。日本原燃野元でございます。はい、承知いたしました。
0:07:28	前回ですね、この我々の検討そのものが、やっぱちょっと進め方が、
0:07:38	足らずがあるんじゃないかと。
0:07:40	いうご指摘をいただいたものに直接お答えするような、これちょっと資料の話にはなっていないし、今の私のご回答もそういうご回答じゃなかったと。
0:07:53	いうのは、おっしゃる通りかと思えます。
0:07:57	で、ちょっとここ、今もう空中戦やっても仕方がないからもうこの大枠のもう話を具体に行こうよというふうにおっしゃっていただいたのかなと。
0:08:08	いうふうには思いますので、ジャモン
0:08:11	をパートの方からもうちょっとやらせていただくってことでいろいろ、
0:08:17	もうちょっとあれでは、規制庁コサクです。それで言うと、
0:08:24	上辺でしか資料は書いてないので、
0:08:28	まず時状況の確認ですけど、
0:08:31	反映事項っていう書くときに、他に電力支援者なり、先方の地権者っていうのは確保しました。
0:08:42	ですね、これをどういうふうにしたかですけども、等も、あの日、一言で言いますと、
0:08:51	このメンバープラス他のSteeringメンバーでやりました。はい。
0:08:57	で、人が誰だというのに対するお答えは、そういうことでございます。規制庁コサクですそうすると
0:09:05	いつかヒアリングの時には、その時の状況とすると、
0:09:11	まだ明石さんはフォローしてきて、前日に見て、コメントしただけなので資料には反映できてないと。
0:09:17	いう状況だっていうのは、
0:09:19	して、今後は資料作成段階から不明として、
0:09:23	提示する資料の中では明石さんの意見が組み込まれた。
0:09:30	いうことにするってのが少なくとも、
0:09:34	減衰定数の検討での対応については主張していただきたい。
0:09:39	いうことでしたけど、それ以外の項目なり、全体的なところというのは、明石さんにも関与していただくんだと思えますけど、すべてに、

0:09:50	コメントを最初からしていただくというのは、本業の方もあって、負荷が強いだろうというようなこともありますね。はい。
0:10:00	そこは誰ということはいませんがっていうふうな話をしましたけど。はい。今の話からすると、補強するつもりはないってことですか。
0:10:10	日本原燃の郷でございます。いいですか。
0:10:12	はい、ありがとうございます。えっとですね、今のお答えに対しては補強をするつもりがあります。
0:10:21	この耐震、今後は1個、これをさ、
0:10:27	いただけたかということそれはノーでございます。
0:10:30	入っていただくための、人生の調整をこれ、
0:10:34	やっていたというのが実態でございます。
0:10:37	です。
0:10:40	自体はですね、進んでおりました大体、概ねですね、ちょっと実際に設計に関わってる方からちょっとご支援いただくという方向で今人選進めておりました大体めどが立ちつつあります。まだちょっと正式に
0:10:55	お願いしてる状態ではないので、ちょっとここでお名前と香月差し控えさせていただきますけれども、それちょっとベテランに近い方で、実際責任かかってらっしゃる方をご支援いただこうと。
0:11:08	ということで、今後関わっていただこうというふうに思います。はい。以上でございます。
0:11:12	規制庁コサクです。そうすると一そのカッターが一しっかりと下原燃の現状認識して、必要なことを、
0:11:24	インプットをし、或いは作業状況をフォローすると。はい。
0:11:28	いうことができるようになっていただくのがいつかと、いうことが、
0:11:33	ポイントになるのかなと思ってまして。
0:11:38	明石さんには大分前から参画いただいておりますけど、本業側もあってっていうところで、なかなか
0:11:47	うまくまだ
0:11:49	回りきれてないという状況ではありますが、
0:11:51	サポートするには、いろいろとその黒が、
0:11:58	どうやってかないとそう短期でキャッチでき、
0:12:02	動かせるかっていうのは、難しいことはよくご認識いただいているんじゃないかなと。
0:12:09	思っていて、
0:12:12	そういう知見がある中で、また参画いただくっていうところからすると、

0:12:20	と、実際に指名されて、その日等と話をして、じゃないと、具体のすみわかんないと思うんですけど。
0:12:30	その辺り、どうしていきけるかっていうのをお聞きしないと。
0:12:37	こちらとして1ヒアリングを進められるかがわからないなっていうのが今、率直な。
0:12:43	イメージして、はい。
0:12:45	それを
0:12:47	やってもらってからヒアリングだなっていうのが
0:12:51	もともとSteeringチームを設置し、されて、じゃあそれでヒアリングやりましょうねって言ったのは、もうまさにそういうことができるような状況になるということだからじゃあそれでヒアリングしましょう。はい。
0:13:02	ということなので、その状態まで今きてないというふうな、うん。
0:13:07	ことがある、2日で話をしたところなので、
0:13:11	実際にその軌道に乗ってヒアリングできるのがいつなのか、どうやって済むのかと。はい。
0:13:17	いうことを、
0:13:20	いつぐらいにお話いただけますか。
0:13:22	今週中には大体細かい契約とかそういう話もありますので、できて
0:13:28	今週来週ぐらいからは、大勢が入ってもらってやりたいというのが流れとしてはありまして、ちょっと講習の後半ぐらいからは入って、キャッチアップする時間も、
0:13:38	必要ですけどもヒアリングの参画は来週
0:13:42	そういったことになろうかと考えております。日本原電とケットクでした。
0:13:47	規制庁コサクです。そうすると、18にちに進め方ヒアリングがあるので、
0:13:55	そこではどんな感じでいくのかっていうようなお話いただけますか。
0:14:01	今週9日ありました。
0:14:03	水曜日の時はちょっとまだ言えないと思うし、次回にはそのいうよりは指摘をしております。
0:14:10	日アノ実際に入って、実働できるっていうのが私が目指しているところでございます。
0:14:16	はい。規制庁コサクです。わかりました。
0:14:19	そうしましたら、今日はその方2、こちらが思ってることが伝えられるように、
0:14:28	いうことで、

0:14:31	現状での懸念事項を2日には、
0:14:34	それなりにお話はしていますけど、
0:14:37	それを踏まえた今日の資料見てもっていうところがあるので、
0:14:41	その点をお伝えをしておいて、議事メモとしてですね。
0:14:46	お伝えいただき、
0:14:49	来週以降、
0:14:50	対応していただいたらいいかな。
0:14:56	それですね、資料これ1ページ1ページやっても、あんまり意味がないと思う。
0:15:04	ていて、
0:15:07	大体は6月20日会合の再掲ですと。
0:15:12	言っているものだったり、今後差しかえますと言っているもの。
0:15:18	でしかないので、はい。
0:15:20	そのあたりどういつもりでいるのかって言うのが、
0:15:26	よくわからないですね。
0:15:30	再掲のものだ等、加えたところはアンダーが引かれているので、
0:15:36	ですけど、
0:15:37	それでいいのかっていうこともよくわかんないんですよ。
0:15:46	どうですか。
0:15:48	この辺りで、今何か、作成方針的に思っていることとかがあれば言っていたいただけますか。日本原燃の郷でございます。この資料で、
0:15:59	今日、確認させていただきたかったんですけども、
0:16:04	まず外形的な話としては、この地盤モデルの策定についてで前回のつづきといいますか、前回今後検討して参りますといった内容の
0:16:18	追加された部分をお話しするっていうような立て付けになろうかなというふうには思っていて、そうすると前回ですね
0:16:28	基本基盤モデル、こういう形をつくって参りますということをまず宣言して、で、岩盤非線形をこういう形で、データそろえました表層、
0:16:41	減衰のところは、ここまではそろったけれどもやはりちょっとまだ不足があるねという議論をいただいて、検討の状況になっているという、
0:16:53	流れからするとですね、最初の基本シバモデルは、設定するそれからデータを4品について整理するんで、

0:17:03	最後、基本地盤モデルを設定するっていう流れは前回からの追加の形で、フルセット流れが見えて、ここまで今回できましたここがまだ今後になりますっていうことが、
0:17:17	わかるような資料になるんだろうなと想像しながらちょっとこれは作ってるんですけどまずそういう構成で、よろしかろうかと、小西が合ってるだろうかとということを確認させていただきたかったと。
0:17:28	というのがこの目的の一つでございます。
0:17:33	で、目的の二つ目といたしましては、そういう形ですね、等を設定しましたので、前回のですね会合資料では、何が一般的標準的かと。
0:17:47	作業員に対しての一般的標準的な評価ちゃんと明記すべしと、アノ期資料として記載する日といったようなコメントもいただいておりますし、またヒアリングでご確認いただいております中で、
0:17:59	基本地盤モデルを設定するにあたって、4品を設定するまでの考え方ですとかそういう前段の議論についても、きちんと話を、
0:18:10	見せることというのもいただいておりますけれども、そのところは、もちろん補足説明資料には載っけてはおるんですが、ここを、
0:18:21	会合で、また最初からですねご説明するのかなというところが逡巡がありまして、この資料としては、今用意し、
0:18:32	設定いたしますこれで作りますんで、結果として、こういう形で、
0:18:40	設定したものを使って参りますといったような、大体そういう3大話みたいな構成で、ひとまず作ってみました会合の時間の中では弱でいくとちょっとご審議いただくにはこういうふうな内容かなと思っていたんですけどもこれがご認識と合ってるかどうかというのを確認かけて、
0:18:58	出し方というのが、二つ目で三つ目といたしましては、最後のですね協力ページのところで今後の対応という形で、テーマ一つ、
0:19:08	ございますけれども、こちらですね基本基盤モデルを作成した後のですね、耐震計算に至る流れを非常にざっくりですけども、文字にところ落としておりまして、
0:19:21	これが認識が合っておりますでしょうかということで資料の作り方として認識が合っておりますでしょうかということを確認させていただきたかった。
0:19:29	いや以上申し上げたようなところを確認させていただきたくて、今日はこれを持ってきております。以上でございます。
0:19:37	規制庁コサクですけど、今の話も資料をどうするかっていう話になって、

0:19:45	理解ができないっていうことにまた繋がっちゃうんですけど。
0:19:49	まずですね、今言われた方針だとしたら何でこんな資料になるんだっていうのが率直な疑問で。
0:19:58	ヒアリング資料D、詰めることと、会合でやること分けたいというのは、
0:20:05	何となくわからなくはないんです。
0:20:07	なんですけど、であれば、
0:20:11	会合資料はもっとコンパクトになるはずで、前回やったことなんて、なんで再掲する必要があるんだ。
0:20:18	ああいう気がするんですよ。はあ。ていうのは、最初に言われた4石云々っていう話をしたくないんだっただけですよ。
0:20:28	したくないんだっただけで2ページがあるんですか。
0:20:32	等、
0:20:34	これ2ページはあれですね、全かいいできる病院費を設定しますと言っているところなんですけど、だからこそ、
0:20:45	それをこのページがあるんだっただけこのページを抜本的に書き換えて、なんでこの4イシダっていうのを追記しない限り、該当にならないぞ。
0:20:56	この、このページがなければ、それは整理してあることだから、今回は前回からもスズキの前回、
0:21:04	ここまでこういう話をしましたそれによって、こういう宿題が残ってますっていうサマリーだけが書いてあって、
0:21:13	その宿題事項についてで、具体のページが説明すべき具体のページが入ってくると。
0:21:18	いう形になりますけど、そのページがあるんだっただけちゃんと説明してくださいよになっちゃうんです。
0:21:24	宙ぶらりんなページをそのままの形で、
0:21:28	都合のいいところだけ追記されるから、
0:21:31	わかってないなっていう感じになっちゃう。
0:21:35	日本原燃の郷でございます。ちょっと私の理解が落ちないところも含めて確認させていただきたいと思います。介護の時の、
0:21:45	いただいても、今年藤堂が4市に対して、標準的一般的な手法。
0:21:52	ていうのが、なぜ負荷を明示すべきというところでいただいております。で、
0:21:57	4イシイに至るまでの、
0:22:02	プロセス、
0:22:04	について、この断面っていいですかずっと6月20日の断面で、

0:22:13	そうですね。
0:22:16	この資料に対して、
0:22:19	理解いたしましたこれがあるのであれば、その前段にあるところを追記。
0:22:26	ですか。ちゃんとここに至るまでのストーリーも、パワーポイントに入るべきであると、いうことをおっしゃっていただいたんです。すいませんや、すみません自分で自分のあれですけど
0:22:38	自己完結しました。理解いたしました。
0:22:44	規制庁コサクです。その上でですね、
0:22:48	どういうふうに説明されるかは、こちらが指示するものではないので、整理いただければと思うんですけど。
0:23:01	前回も
0:23:03	後に、耐専 08 月対
0:23:05	08 じゃないか、08 ノモトになる附属それぞれのタムラ町になるはずですよ、添 123 という形についていたと。
0:23:15	事ですけど今回は 08 がつくんですね。
0:23:18	そうすると、具体は 0 はちい。この後、反映っていうのをいろいろとやっていたかということなので、
0:23:27	それがされればですね、
0:23:30	このパワポの方に事細かに書かれても、
0:23:34	本論が何かっていう、ミイづらくなるので、要点だけ書かれて、適宜見てください。前回と、
0:23:43	体裁が違うわけですから、
0:23:46	なぜ、
0:23:47	変わったのか、どういうことを拡充したのか、っていうことはどこかで書いていただいたら、
0:23:54	いいんだろうなと思うんですよ。
0:23:55	はい。はい。
0:23:58	そういったその全体像っていうのを一つ語っていただく。
0:24:03	のは必要かなというふうな今話をしてると思います。
0:24:07	前回説明したこと、宿題事項を宿題事項とか
0:24:12	やっていること。
0:24:15	それを、それに付随して、
0:24:19	添付されているものをブラッシュアップしていく。

0:24:24	それをまずはまとめて、その上で舞台に入って、
0:24:28	いうふうにしていただいたら、
0:24:32	次に増でございます。
0:24:37	おっしゃってる。はい承知したのとちょっと確認させていただきたいのが、そうしますと肥料の全体像とひましては、
0:24:51	この前回のものに追記して、フルセットの何ていうかひとつお話するといったようなイメージ、
0:25:01	私ちょっと考えてこうやってしまったわけですが、むしろそうではなくて、前回までに整理した基本地盤モデルを設定してやっていくんだよと。
0:25:13	全体前回までに、の大ケースと、それからその時の、その後の検討事項といいますか、宿題事故。
0:25:24	その検討結果といったような流れでご説明すると。
0:25:29	いったような、
0:25:31	形になるのかなというふうに理解したんですけれども、それで、
0:25:41	今おっしゃっていただいたこと私うまくとらえられておるでしょうか。規制庁コサクです私の言ったのは大体そういうことで、今2ページでお話しましたけど、1ページからですね。
0:25:52	1ページの前半もあまり要らないの情報であって、
0:25:57	後半部分の、本日説明内容っていうのも、
0:26:01	何のことなんかいまちよくわからない。
0:26:05	ということなんで、説明事項といいながら再掲ですなんて、
0:26:09	何だかわからない。
0:26:11	資料なので、
0:26:12	その点は整理をしていただいた方がいい。
0:26:16	D、
0:26:17	D一方で添付するその08のナカは一式そろっているわけですから、全体像云々て話を呼べばそっちを読めばいい。
0:26:27	いうことだと思っている。
0:26:30	すいません。
0:26:31	畠中。
0:26:36	はい。
0:26:49	でもう
0:26:51	今、その全体としてどれぐらい助かって、今どこまで進んだよ。

0:26:57	というのが、
0:26:58	あると思ってない、多分。
0:27:00	再掲にすれば、そちらは、
0:27:03	わかるでしょう。
0:27:05	どうですか。
0:27:08	今日の1ページ目を見ても、本日の説明内容でしょうか。
0:27:14	前回、
0:27:16	地盤モデルの介護市場を見てみたら、今後の対応っていうタイプになって、こうしますっていうんですね。
0:27:25	今後の対応で、入力地震動の算定に用いるモデルをこう設定していきますっていう、前回は言ってるんだけど、今それを受けた記載がなくて、提供を説明する。
0:27:36	ですから、
0:27:39	前回、C全体の
0:27:43	全体になる。
0:27:45	例えばよくわかる。
0:27:46	いうところがあるんで、真空の後に、
0:27:51	まず、補足説明
0:27:53	ねえ。
0:27:56	パートとしてはサマリーと思うんですけど、その辺りばかり。
0:28:00	抜粋。
0:28:02	もう1個、
0:28:04	よくわからないのは、
0:28:07	入力地震動を基本地盤モデル作りますよっていうことは、次の会議で宣言されるだろう。
0:28:16	今そこが、
0:28:19	もう読めない。
0:28:21	前回の会議の資料だと、入力地震動のために使うための基本地盤モデルって言葉がまだあったので、ぎりぎりばかりや、わかった
0:28:31	うん。今その言葉もなくなって、基本地盤モデル。
0:28:38	そうではなくて、まずは基本地盤モデルによって入力地震動をまず確定します。
0:28:44	それで、まず正式な地震、作りますというのをまず宣言で、
0:28:49	そのあとに、前の、

0:28:51	入力地震計算書、
0:28:55	MACCSコーナーでやっていきます。
0:28:59	そのあたりが、
0:29:01	5月から9月の
0:29:03	中にすごく変わったポイントだと思う。
0:29:06	そのあたりが全然見えないんで、
0:29:09	そこが、
0:29:10	ポイントはやっぱり、
0:29:13	最初の方で、請求者が、
0:29:18	表現にノーでございます。
0:29:20	曾我カミデさんがおっしゃっていただいたはず前半の0まで何やって今回やるんだというのが、やっぱりちょっと見えないのでわかりにくいんだよっておっしゃっていただいたのはその通りだと思いますので先ほどお話の通り、
0:29:35	全体の前回の第一層でここまでやりました。今回ここやりますというのがちょっとでかくなるオチアイしようと思います。後半おっしゃっていただきました。
0:29:45	基本地盤モデルで、入力地震と算定してっていうあたりをですね、今16ページのところでこの対応のところで全部書きちゃってるんですけども、
0:29:56	お話の流れとして、何のためにこの検討やってるのかっていうのを、やっぱり冒頭で言わないとちょっと話の流れをニシナうよと、いうことをおっしゃってるのかなと。
0:30:07	いうふうに思ったんで上に類する記載を、前半のといえますか冒頭のこの系統の位置付け的なところで、もう言っていくと、ちょっとそんなイメージを持ったんですけども、それで仁木がってますでしょうか。
0:30:28	冒頭まで全体像を説明して、本当はそう。
0:30:32	多分そちらとしては、うん、示したつもりなんです。
0:30:37	多分示しつもりだ。
0:30:41	なんだけども、
0:30:44	どうしても、
0:30:44	この、仮に2ページをそのまま使うとですね、今多分多くはないと思うんですけど、
0:30:51	仮に2ページをそのまま行くんだとすると、まずここでちゃんと入力地震動を、一つ目の四角の下は、

0:31:00	そんなにここでまず決めますっていうのがまずあって、それから、次回以降ご説明の地盤モデルによる地震動と、申請上は震度をさを分析とかしていきますっていうのが、
0:31:14	わかるようになるはずなんです。ここに一つ間入るはずなんですけど、それも直っていないっていう状況なので、
0:31:23	何ていうか
0:31:25	そういうポイントがわかるように全体像を示す。
0:31:30	いう形で、2 ページ右側、
0:31:34	いろんなことが続いて、もう多分もう使えないと思う。
0:31:38	その辺は、福祉コーナーがチェンジされたんだというところはわかりました。
0:31:45	はい。日本原燃野本でございます。はい。よくわかりましたありがとうございます。
0:31:58	はい。規制庁、檀ですけれども。国会のところ、難しいんですけど
0:32:04	インターのところですね。大丈夫。
0:32:09	後先ほどブロック長の佐田という話ですね、その取っかかり。
0:32:14	前回の指摘事項
0:32:16	もして書いて欲しい。
0:32:18	いう中で、
0:32:20	例えば朝までやられてる。
0:32:23	資料にして、
0:32:27	の資料も、一応審査会合資料というのは、ゴコウというスタイルがある。
0:32:34	今日の現状のこういう構成っていうのは、ちょっとユニーク
0:32:46	要は再掲等後硬水っていう内容もこういう内容ね。
0:32:53	者センターがあるんなるんでしょうけども、まずイントロのところと構成のところ、あと指摘事項の話とかですね。
0:33:02	それはもう、それが、ある意味、提携という、
0:33:06	できないと駄目とは言わないですけど、
0:33:09	はい。
0:33:12	で、
0:33:14	解決しないとか、あるんですよ。そこは、
0:33:19	介護資料ですから、
0:33:21	やはり文献ついた資料ということで、
0:33:26	以上。

0:33:28	はい。日本原燃のでございます。承知いたしました。
0:33:33	A規制庁コサクです。
0:33:35	何で最近駄目か。
0:33:38	ていうと、
0:33:39	最近じゃ駄目だからです。
0:33:44	会合で説明。
0:33:46	文とっておられるかもしれないと。
0:33:49	まだまだその相関関係どう考えてるんだとかっていう宿題事項があつて ですね。
0:33:54	なのに、回答するつもりがありませんっていうような会合での、
0:33:59	姿勢を示されちゃうと、
0:34:01	こちらとしては指摘せざるをえなくなるわけですよ。
0:34:05	もう一度指摘されたいですか。
0:34:08	ということなので、下、
0:34:11	わかってますやりますっていうんであれば、わざわざ
0:34:16	打たれるような、
0:34:18	ものを出す必要はないんじゃないですかねということです。
0:34:25	それ、
0:34:32	先ほど上出が言ったように、その全体、どういうことをやるつもりなのか っていうプロセスがあつて、そのうちの今どこなのかと。
0:34:41	いうことが大事なので、最初に言っていたいてということですけど、
0:34:55	ちょっと話とんちゃうかもしれないですけど、16 ページで見ながら、
0:35:01	お話するんですね。
0:35:03	うん。
0:35:11	この断面でどこまで行ったんですか。
0:35:14	今後どうするんですかっていうのが、
0:35:16	この記載でいまいちわからない。
0:35:23	ちょっと今、16 ページという流れですけど、12 ページ。
0:35:27	開くと。
0:35:28	これ再掲じゃないんですけど。
0:35:31	ステータス説明済み説明済み、継続検討説明いたします。
0:35:37	なんですけど、表層地盤について説明済みと思った記憶がなくて、
0:35:43	この会で、

0:35:45	クローズするのかっていうと最初のページにはクローズするようなこと書いてなくて、うん。
0:35:51	16 ページ終わってみると、
0:35:53	書いてなくて、
0:35:56	どうするつもりなんですかっていうのが、全くわかんないんです。ないってことないか。
0:36:01	信頼性向上の方にチラッと。
0:36:04	ことで、
0:36:06	位置付けがわからんのですよ。ここでおもむろに信頼性向上って出てくんですけど。
0:36:10	その棲み分けってどこでやったの。
0:36:14	上の方で検討するって言ったのをいつの間にかここで信頼性向上に変えられちゃってんですよ。
0:36:21	16 ページ。
0:36:25	これって何っていうのを説明もせずに、何でこんなこといえる。
0:36:32	これが今回のポイントだと思う。
0:36:37	安全の方でございます。このあれですね、江藤大平厚生向上の取り組みっていう、記載の位置付けと、上の位置付けそれぞれの
0:36:46	アセス、
0:36:48	和気のところだけれども、
0:36:53	それが、はい。
0:36:55	はい。10 ページの方の説明っていうのは、ベツショアノ。
0:37:00	今回の会合で、
0:37:03	説明をしていいでしょうというのは、自信があるから、説明済みって書いたって思ってますけども、そういう
0:37:11	ことでございます。その通りですねここまでの説明で、息をクローズといえますか最後まで頭を設定できると。
0:37:22	一応基本地盤モデル設定できるということを言ってきましたということを書いてるつもりなんで、ポツで言ってるような、はい。
0:37:32	説明文は、前回までですね、一つっていうのは今回説明文って本当に意思があると。はい。
0:37:40	同じ説明って書きちゃった。なるほど。
0:37:44	ずっとその上で、
0:37:49	16 ページの

0:37:51	5 時間、
0:38:00	秋にでもでございます。それがアジアの減衰は減衰それから競争は表層のそれぞれのところで、
0:38:10	そうですね、お知らせ、ここまでやりました。あと信頼性向上として、これやりますと、
0:38:17	多様な記載がちょっと、そうですね、読めないんですが、古作ですと頭の整理をしてこいと言ったのをせずに、ただ、位置付けを明確にしましたって最後のページに書いてるだけだから駄目だと言って、
0:38:33	前々から言ってるのは、お尻で適当にごまかすんじゃなくて頭でちゃんと考える。
0:38:38	いうことができてないってことなんですよ。なので、信頼性向上っての最後のページに書くんじゃなくて一番最初のページに書くんですよ。
0:38:47	こういうふうに進めたいと思っていると。
0:38:51	何でか裏面でやるんですか。
0:38:53	と言ったら、その時期にいうと、早く見通しを立てたいと。
0:38:57	いうことですよ。見通しを立てないと、どこまで深掘りをしなきゃいけないのかもわからないから、まずは見通しを立てるために、入手、入力地震動をセットしたいと。
0:39:09	いうことであってそれも、東海林正面切って言わずに、しれっととりあえずセットしました。
0:39:16	あとは信頼性向上で勘弁してくださいみたいに言われても、
0:39:19	何でだっていうふうになっちゃう。
0:39:22	この資料出されても、別に会合で聞いただけだからいいんですけど、
0:39:27	なので、そこを最初に言えば、
0:39:33	それに対して必要な情報整理と、
0:39:37	最終的に、
0:39:40	補正をするにあたって、データ拡充をする。なるほど。伴。うん。
0:39:45	ていう二段階を、それによってこの程度で何とか見通しが立てたと思います。
0:39:51	申請にあった補正にあたってはさらに、こういうことは、
0:39:57	これぐらいの期間でもできるんで、引き続きやって、その間に、
0:40:02	計算を進めて見通しをさ、立てて、
0:40:06	双方から攻めていきますと。
0:40:10	いうことをちゃんと最初に、

0:40:14	宮井ですおっしゃる通りで、そういうのを書くのが、この2ページのフローからそういうのがあってコストコのシライと話が繋がる、ちょっとこれはちょっと、
0:40:25	あの資料か資料か言うてる割合資料館、
0:40:29	いうところがありますので辛めで見通しを全然進める程度これをちゃんと明確にしてから話をしないとちょっとあっちこっち飛んで結局終わってないのに官僚みたいな。
0:40:40	不信感だけが残るという資料になりますが、これ見世間から見え方としても、ちょっとよくない、理解いたしましたので、
0:40:47	ちょっと手直しというのは抜本的ちょっと作り変えて、
0:40:51	だから、頭を持ってるともりですので、ストーリーをちゃんと明確にしておいていただきたいと思います。はい。はい。コサクですよろしく願いしますその上で、12ページの
0:41:02	書きぶりについては先ほど上出が言いましたけど、
0:41:06	まず、
0:41:08	説明を、今回、競争を、
0:41:11	見通しを立てるという意味での活動は一区切り。
0:41:15	つけたい。
0:41:16	プラス拡充をしていきますっていうことフェーズだというふうに、その次の信頼性、信頼性向上です。
0:41:26	ということも含めて、言ってしまうえばいいわけですよ。最初に言ってしまうえばそういうことがあるってことはわかるわけですから、
0:41:33	いえると。そうすると、前段すべてのアクションを語ることもできて、
0:41:39	色分けもできるわけじゃない。
0:41:41	それがやっぱりアノ08で、別紙3じゃなく、
0:41:46	別紙2-3、四っていう中で、各といった心なんじゃないかなと思いますので、
0:41:52	アイテムを全部並べて、その
0:41:57	出てくる期間、
0:41:58	十分性というようなことを十分結果範囲、
0:42:04	言っていただいて、この程度で見通しとしてはつけました。
0:42:08	いえることを説明。
0:42:11	それによって12ページのここで見、
0:42:14	ということだと。

0:42:19	はい。大枠理解して、1点だけ、
0:42:23	今回見通しを、の活動をこれやりましたと。おっしゃっていただいた通り、全体としては、概ね1個切りです。ただ
0:42:35	下水道総務部については、少しまだ不足があるので、それは回収して参りますと、規制庁コサクです。すいません、まだ減衰定数のこと言っていないで申し訳ないんですけど、すいません、それ。
0:42:50	減衰については今回まだ見通しを立てるまでデータ整理ができませんでした。なので、引き続きやって、次回会合では、見通しを立てて、
0:43:00	るところまでの説明をしたいですってということですよ。そうですね。はい。
0:43:08	同窓は、
0:43:10	時期が一応合わせた。
0:43:14	放送の通過調査って、
0:43:17	減衰は多分何だっけ。
0:43:20	減衰は信頼性向上のデータとして、
0:43:23	必要だと。
0:43:24	競争は、
0:43:26	減衰のついででやるわけで、やれば良いと思っているのが何となく業者側なんじゃないか、そうじゃなくて、競争もデータとらないと、
0:43:39	9月の時点、今持ってるデータでは、競争の話が決着つかないとか、
0:43:45	それともう、
0:43:48	今のは、今のデータでも十分話ができるんですけど、
0:43:52	減衰データとるんだから、一応見ておきますっていう話だとか、どういう意識なのか、私はまだ理解できて、現在はどういうつもりだと競争の
0:44:03	追加データっていうのはどういう位置付けで取ろうとして、
0:44:06	元ノモトでございます。ねばならないのかというと、そこはノーだという認識ですけれども、ついてっていうのもちょっと泉は杉井といいますか。
0:44:19	やっぱり今のデータ見たときに、
0:44:22	やっぱり取った方が一ニワ嫌いなないので、取りますということでは、
0:44:29	あるということで、補強するためのデータという位置付けということかなというふうには思っています。どちらかといえば、里イデより鳥居松井よりなんですけども、なくてもう全然構わないのかというところとちょっとそうでもないのそのニュアンスは、
0:44:47	ちょっとスタッフにしたいかなと思います。持田政調会でその辺のニュアンスの違いが、とりあえず16ページは全くちょっと後、

0:44:57	ウノさんの考えと、これは結構このままでも、
0:45:05	どうだろうかね、
0:45:07	そうですね。当然設計のものでございます。
0:45:11	とりあえずですね、19992000円という施工別になってるんですが、全体量としては、このデータで十分だとは思っています。ただ、今回ですね、深さ方向依存ですとか平均だとかっていうふうな話をする中で、
0:45:24	今まとめている中でやはりちょっと足りないかなっていうふうな部分もありますので、それで深さ方向に戻るですとか、そういうことで、少しやはりデータを補充した方がいいんじゃないかと。
0:45:37	ということで、今回これで、私としては平均値、深度依存ということでご説明させていただきますけども、そのあとで、やはりそうでしたねっていう答えが、
0:45:49	出てもらえればいいなと私の期待ですけども、そういうことで、いくつかですね、ボーリング調査をする。
0:45:57	はい、規制庁わかりますアノ。
0:45:59	そちらの中でずっとよかったんで、そうなるとさっき今言われたようにですね、大分、今のデータでこういう結果を平均できると。
0:46:12	だけど、新たに競争して、こういうところのデータをとって、確からしさを、
0:46:20	拡充していくんだ。
0:46:22	ということですね。それをちゃんと資料で、介護でわかるように話をしてもらおうということが
0:46:30	そうなると件数と競争が
0:46:35	新海工場長。
0:46:37	の宿題が続いつつも、今、見えている。
0:46:42	仮のところを進めたい。
0:46:45	その点、
0:46:51	井野でございます、いたしました。
0:46:54	すいません。
0:46:55	相田。
0:47:04	規制庁コサクです。
0:47:06	ちょっと脱線しちゃうんですけど、
0:47:09	私がちゃんと覚えてなくて申し訳ないんですけど、14ページの、今のお話をしてた、表層の信頼性向上という、
0:47:17	ところなんですけど、

0:47:19	これわあ、大井町観光第2保管庫とかってあそこら辺のものは何もないんです。
0:47:26	当然関野でございます。大規模観光第2保管庫がですね、実際にはそこを流動化処理とかがですね、掘削した中でございますので、
0:47:37	今その流動化処理等についてですね我々最初一括にしてまとめようと思ってたんですけども、分けた方がやっぱりその基準が違うということで、分けた方がいいということで、
0:47:47	いろいろデータをですね確認してたところですね、やっぱりそれはもう測定はされてたんで、そういうデータを集めるとですね、やはりこれ二つに分かれるという、いうことになりまして、
0:47:58	1034の方はですね、同じ。
0:48:01	流動化処理で使ってるということで、もうそれを今度、別の流動、我々が今やった流動化処理漏えいというやつは、流動化処理の一つのものなんですけども、
0:48:13	1013時1034の方、別のものなんで、それはもう少し別のものとしてですね、取り上げて、それはそれで一つの物性値としてご提案したい。
0:48:22	ということで、今度21日の資料にはですね、その辺のところも全部まとめてご説明できればというふうに、
0:48:33	規制庁補足です。わかりました。
0:48:44	今10ページの話と思うんですかね。
0:48:48	第二グループ。
0:48:49	はいそうです。その第二グループのところのですね、11ページで今、何も書いてないところがですね、ここ
0:48:57	択捉ですね、G0のところをですね、今整理をしておりますんで、コガ、この内容が出されて、ここが一応といいますか、その管理が一様にされて、平均を用いたいと。
0:49:10	いうふうなことで、ご提示させていただきたいというふうに、
0:49:16	規制庁、古作ですけど、ちょっと個別論に入っちゃって申し訳ないんですけど、これ自由離島ヶ所里道。
0:49:22	で周囲やったのが、
0:49:24	その外と円切りができる。
0:49:28	だけのものになってるっていうのはどういう話です。
0:49:32	ですね、
0:49:35	本、
0:49:37	この中に、今回の中にですね、

0:49:40	一応解析の方は出てるんですが、
0:49:42	実際にその埋め戻されると我々掘削してですね、全体を埋め戻します流動化処理をしました。でも周辺は、事案はそのままですっていう、
0:49:53	2次元的な解析とですね、全部流動化処理した、例えばインフラサーフで頭が全部
0:49:58	流動化になったっていうやつの比較をしたらですね、ほとんど、
0:50:02	あるんですね、ということは、建屋の近傍にある流動化処理の方の影響が強いということで、今回もし幾ら政府でこのG1034をやるのであれば、
0:50:13	そのインフラ専務には、上は流動化してるというふうなものを入れた方が、入れていけば、アノ所長ソウノ周辺ですね、事案の影響はほとんどないと。
0:50:23	ということで、それを使わせていただきたい。
0:50:26	ということが結果、将来的な結果です。
0:50:30	規制庁コサクです。やってることはわかりましたけどその解析はどこら辺で説明が入る。
0:50:37	21日の資料の中でですね、新しい流動化車等対策、新しい流動化処理のジーゼルをですね、今想定してますので、
0:50:48	その平均値を用いてもう1回2次元の計算をします。その結果で、当然、あの時山賀前全部事案がある場合と事案は全部流動化した場合にあれば、SHAKEでやったときに全部ウチャマっていう状態の比較をして、
0:51:01	それで影響があるかないということを説明させさせていただいた上で、どれを使うというふうなことを設定いたします。
0:51:08	規制庁コサク率は変わりました。
0:51:15	そうしますとこのページ、先ほどのあと10ページ、11ページ。
0:51:20	11ページの下1階の話なんですけど、そういった検討もしているということは、少し触れていただいて、詳述は後ろ見ればわかると。はい。いうことだと。
0:51:30	はい。
0:51:31	はい。
0:51:32	この21日提出。
0:51:35	のっていうので、差し替える最後ですね。はい。
0:51:38	いただければ、
0:51:49	規制庁コサクです。

0:51:53	最初のページで方針とか全体のプロセスお話をさせていただくと、16 ページってのは振り返りに、
0:52:03	まとめるだけだと思うので、
0:52:09	問題なく書いていただけるんだろうなと。
0:52:13	思うんですけど、
0:52:21	その上でもやっぱり
0:52:25	信頼性向上って何かっていうのを最初にしっかり言っていただいと いうことと、その見通しっていうのをどこで、
0:52:31	取るんだと。
0:52:32	いうことを明確にして、そうだねって思えるようにしといていただく。
0:52:38	いうことがないとそこが論点、
0:52:42	いうことになります。
0:52:43	で、
0:52:46	12 ページは、
0:52:48	単純にステータスでしか書いてないのでその判断基準が書いてないん ですけど、
0:52:54	じゃあ、
0:52:55	その前のページかに書いてあるかっていうと、今一書いてあるように見 えないんですけどそこは考えてます。
0:53:05	伊藤さんどうですか。
0:53:10	そうですね書いてないんです。
0:53:16	うん。
0:53:18	規制庁コサクです。やっぱり 12 ページにいきなり言われても、やっぱり よくわかんないので、その前の個々の因子で検討しているところで、
0:53:28	返答項目パーツと並べたところにもうすでに書きちゃうのか。
0:53:32	或いは結果を出しながら、
0:53:35	ここまで行って、大体こういうところで、見通しが立てられたので、残りの 分は工場にする
0:53:43	この言い方はそれこそ戦略として原燃が考えるべきものっていうところ ではあるんですけど、明石さんの知見も入れていただきながら、
0:53:54	線引きの考えと、
0:53:56	もうしっかりと、
0:53:57	ちょっと、
0:54:09	でそれですね、

0:54:11	規制庁コサクですけど
0:54:18	カミデがその入力地震動を算定してっていう話を最初にしましたけど、
0:54:28	前の話だと、ここで言ってる 12 グループ、
0:54:33	出野アノ時、モデルっていうのは、
0:54:37	取っ掛かりからする等、敷地の特性を掴むためにまず 12 を設定しましたということであって、
0:54:45	設工認のモデル、
0:54:48	において 10 にしたわけではなかった。
0:54:51	はずなんですけど、
0:54:53	そこが曖昧なままなんかそうなっちゃったかのようにもなってるんですけど、そこはどう考えてます。
0:55:01	おっしゃる通りでして、
0:55:03	基本基盤モデルを
0:55:07	まずその検討のグループ。
0:55:12	それに基づいてやってきたのでこれ、あれですね最初に基盤を
0:55:19	7 日 12 グループ集約するのかっていう、ちょっと議論は我々社内でもしたんですが、まだちょっとここまで
0:55:31	検討の積み上げを、
0:55:34	12 ブロックベースで、
0:55:36	やってきたところ踏まえる等、ちょっと 12 グループで一旦はモデルを設定するのかなあという。考えていますか、ちょっと議論をしておりますてちょっと非常に歯切れが悪いんですけども、
0:55:54	少しですね、我々の中では、ちょっと宗を収入しながら議論しておって、今の状態だと 12 グループで、
0:56:07	ご提示することになるのかなあというふうに思ってるところでございます。
0:56:17	等、
0:56:19	こちらワー、
0:56:22	直下または周辺という中で、その場所での
0:56:28	適切なデータということであれば、どう区分けされても構わないんですけど、
0:56:34	そこで
0:56:37	一部顔をツカべられるような方々。
0:56:41	の、

0:56:43	思いもわかりませんが、
0:56:46	私がかれまでの話を聞いて思うところだと。
0:56:49	その限定した領域で十分なデータになつてんの。
0:56:54	ていうのは、
0:56:56	気になる。
0:56:57	を行つて、
0:56:58	1点しかないとかつていうことがあつたりするわけですよ。
0:57:01	それでいいの不確かさそれで算定できん。
0:57:06	いうことがあつて、
0:57:07	そうすると、それを補完するのにじゃあどうすんのつていう話が次来るわけですよ。
0:57:14	ていうのをちゃんと、
0:57:16	そこまでフェーズにまとめて、こういうふうに行こうつてなつてないですよ ねまだちょっと、
0:57:23	表現でございます。歯切れが悪いのは、そのあたりの議論をまだ社内で 積み切れていないというのが実態だつていうので歯切れが悪いと。
0:57:34	いうところでは、
0:57:36	我々の中でも一枚岩で、これで行こうつていうところまでちょっと辿り着け てないと。
0:57:43	いうところなんですがつちょっと今の断面でそんなことを、そんなんでいい のかつていうのは広く、もう本当にそんなんですけれども、
0:57:51	少し社内の
0:57:55	検討させていただくことの話しかないのかなと思います。以上です。
0:58:01	はい。補足です。それで雄踏、言葉遣い火をつけて、
0:58:07	間違えないようにしてくださいねつていうのが、
0:58:10	規制庁コサクですけど、現状行つておくことで、
0:58:17	記載を直してもらつかあれですけど2ページのそのフローでいうと、
0:58:21	モデルの左脳整理分析つていうのは、とりあえず12でやります。
0:58:28	うん。
0:58:29	その上設工認上の扱いつていうのを整理をすると。
0:58:36	いう際に、
0:58:37	まず、設工認での入力地震動つていうのをどう算定するのかと。
0:58:42	いう方針を固めます。

0:58:46	その上で、耐震計算をどうするかを、その影響を見ながら考えて整理をします。
0:58:53	いう2段あると思えばいいんですかね。
0:58:56	はい。
0:58:57	日本でございます。その通りでございます。はい。
0:59:00	わかりました。直接ですとそうするとそこまでちゃんと書いていただければ、用語の違いとかもそこでクリアになり、この言葉を使ってるのはこのフェーズのこの考えの部分。
0:59:11	いうこともわかると思うんで、最初にその全体像を示してくれというところで、そういったところはちゃんとわかるような
0:59:20	分解して、こんぐざって書かれちゃうとわからないんで、
0:59:24	整理をしていただければと思います。
0:59:27	はい。我々もちょっと言葉が揺れてきたっていう経緯もありますので、そのところ今回ちょっと揺れないように気をつけて参りたいと思います。
0:59:38	規制庁は、
0:59:40	駄目。
0:59:42	地盤モデルを
0:59:44	何をもって基本地盤モデルとするかという考え方もやっぱり、
0:59:48	出てくる。
0:59:49	今の話で、
0:59:51	40番モデルは、準例えば10グループのそれぞれのばらつきを含めたものにするのかしないのか。
0:59:58	で、
0:59:58	先ほど話があった、今後、
1:00:02	建屋機器応答解析をして、
1:00:04	戦略的に、
1:00:10	ない。
1:00:11	そういう中で、あり得る場合に、現時点で、基本情報モデル。
1:00:16	どの段階、
1:00:17	ということを明確にして、
1:00:20	一番
1:00:22	うん。
1:00:23	そういう使い分けが面白い。
1:00:26	はい。

1:00:30	具体的な規制庁青井です。具体的や、各モデルの場合の政治の話とか、あと学校案であると思いますけれども、
1:00:40	詳細に関しては、院長もヒアリングでさせていただき、
1:00:45	ノーでございます。東海林です。
1:00:51	規制庁コサクです後、
1:00:54	点確認なんですけど、今の2、
1:00:57	比嘉椎野。
1:00:59	あれなんですけど
1:01:02	岩盤の物性値。
1:01:04	について、
1:01:09	うん。
1:01:09	一応説明済みの状態、
1:01:14	再掲なだけのようにではありますが、
1:01:19	損
1:01:21	その認識で合ってます。
1:01:24	2年の方でございます。ここに記載している基本モデルとして、Aというグループでの小関の設定っていうのは、
1:01:35	この
1:01:38	説明としては追加するものは、特に中田島アノ、これ、あれですね前回お示したこの越智県以外のデータがここに載ってないの確かなんですけどそれはもう、後の補足説明資料見てくださいというそういう立て付けになるのかなと思います。
1:01:56	規制庁笠田です。わかりました。前は
1:02:02	例示で例示というかその段階でできてたというか、その建屋だけの情報しか出してないのっていうことです。
1:02:11	新野でございます。はい。その通りでございます。
1:02:13	はい、わかりました。まず、古作です。それで言うと、他の建屋もできましたってわざわざ会合のメイン資料で書く必要もないと思うので、
1:02:24	先ほど言ったように後ろにつけてるものの拡充状況とかっていうのをさっと書いといてもらえれば、
1:02:30	それでいいと思います。
1:02:40	あと、規制庁補足ですすごい体裁ですけど、
1:02:45	審査会合資料だと最初にお決まりの
1:02:49	1枚物、事務2枚ものですけども、耐震だと。

1:02:53	ありますけどそれはまたつけるってということでそれ以降のものを今回行ってたっていう理解でいいんですよね。でございますもちろんでございます。
1:03:04	おっしゃっていただいている、
1:03:07	2枚ものっていうのは、あれですね、江藤小久保倉庫の形式の方ですね。
1:03:20	昔から開放資料案というか、パワーポイントとしては、
1:03:25	とりあえず、
1:03:27	大枠なので、以上ですけど。
1:03:36	2ページですけど、
1:03:41	放送事務については、
1:03:48	ん。
1:03:51	そう。
1:04:00	6月の会合4月会議。
1:04:10	コジマの影響で作っとる。
1:04:18	多分それはこの今回の地盤モデルの投資をされ、
1:04:27	なんかにそういった説明も、
1:04:29	聞こえますって確か以前おっしゃってたと思いますので、このぐらいの何か、
1:04:34	今回の会合資料ではなくて、また後日改めて
1:04:42	述べてございますおっしゃる通りでして、今おっしゃっていただいたような下、ご懸念が確かに出るのもう最初に冒頭にもいただきましたように、
1:04:52	前回大臣とそれからいただきましたコメントでそのコメントに対して、こうしますというのをちゃんと記載して、ステイタス諦めた上で、今回の御説明といったような形でちょっと誤解のないようにしたいと思います。
1:05:05	そういった形で、これについては今後、
1:05:09	お願いします。
1:05:21	を、
1:05:22	というと、
1:05:23	2ページの件です。
1:05:29	全体との繋がりにって感じで言うと、何かあんまりよくないですね、何か新しいことのように、
1:05:41	全館塩見等、

1:05:43	アマヤ、
1:05:45	本当に出ますと
1:05:47	で一た各自を含めて検討したので、
1:05:56	検討を実施した結果、
1:06:00	その定数件数使ったというのが出てきました。
1:06:06	このフロー図は、ちょっとまた、
1:06:10	して、何か無茶苦茶なんで、なくなるんじゃないかなっていう気はしてま すけど。
1:06:15	じゃあ何がいいのかなっていうと、前回の、
1:06:19	介護資料の図 3 みたいな、
1:06:22	はい。
1:06:23	わかりやすい数でもあるんだけど、
1:06:27	悩ましいところで、ここの、
1:06:30	ヒアリング、
1:06:33	今回、こういうところを今、寺坂です。
1:06:39	活力のところは今回結構、
1:06:43	前回のテーマは、
1:06:47	うちがちょっとざっくりとした。
1:06:51	すんの。
1:06:53	おんなじように、その競争も、
1:06:58	一応、前からの繋がりにっていう部分で、その導入のところとか、あとは
1:07:06	同じような目的で使ったやつはおんなじ使ってもらってこれは毎年、
1:07:11	この
1:07:13	図は、例えばその、
1:07:16	9 ページでいうと一番下の右の図が含まれて、
1:07:24	麻生ですまだ、
1:07:27	同じものですが、まだこれ、
1:07:32	また 21 日ですとか、今日も話があるんですけども、そういう中で、
1:07:37	また形を変えるかもしれない。
1:07:40	そうですね。ここに入れてはおりますが、全面的に変わるかもしれない。
1:07:44	はい、清です。でも事前 678 お前、介護を使ったものはそのまま使う。
1:07:53	はい。ちょっと河田タカギでもいいんですけどその同じ目的なんだけど 違う図、ちょっと違うとか使う。
1:08:01	繋がりにっていう。

1:08:03	はい。はい。
1:08:06	新しいものであれば、新しい傾向しましたっていう説明を、私も、
1:08:12	その辺
1:08:14	岡崎です。
1:08:15	はい。少し、
1:08:16	まだあまりそういう点では、
1:08:20	にしてまだ散る。
1:08:22	作りこんだ感じにして、
1:08:25	はい、藤堂関野でございます。承知いたしました。
1:08:33	規制庁、古作です。
1:08:35	全般に、
1:08:39	会合資料で、次、細かくいっぱい書いて、
1:08:43	かわからないので、
1:08:44	端的に書いてください。詳細は
1:08:48	後ろの方の何ページとかで書いてくればいいんで、
1:08:52	ポイントだけにしてください。
1:08:55	ございます。承知いたしました。あまり情報量をやたらふやさないように、はい。
1:09:00	いきたいと思います。
1:09:11	磯野海吾資料でコメントはございますでしょうか。
1:09:21	それでは次の資料はすいません。規制庁、江崎です。いろいろ言ったので、一度ここで振り返りをしておいていただきたいので、
1:09:30	少し休憩を。
1:09:33	はい。うん。
1:09:34	まず、一応念のため最後に土岐ますけど、ここまでは方向性、
1:09:43	とか、
1:09:45	姿勢的にこうしてくださいねということでお話をしただけで、ここの内容については触れてなくてこれからの資料で話をするつもりだと。
1:09:55	ということなので、ご認識だと思えますけど、競争について説明を受けたというつもりはまだないし、
1:10:03	他その信頼性向上でここの部分からしていいよってということも、話を聞いていいるつもりはないし、
1:10:11	これから話をさせていただくということで、

1:10:14	休憩の中でも、次、こう説明しようとかっていうのも頭の整理もしておいていただければ、
1:10:22	はい、規制庁の武田です。それで挨拶に入りたいと思います。
1:10:26	14時40分ですけども、確認事項、振り替えのまとめは10分ぐらいでよろしいですか。15分、15分。
1:10:36	15分いただいてよろしいでしょうか。はい。
1:10:39	では、14時55。
1:10:43	じゃろう提出します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁の田村です。それでは、再開したいと思います。日本原燃の方から振り返りの説明をお願いします。はい。まず全体ですけれども、前回ヒアリングのいただいたコメントという資料の、
0:00:16	ことをおっしゃってたんじゃないくて、
0:00:19	原燃としての姿勢を
0:00:22	見直す必要があるという趣旨のご指摘だと、いうことを踏まえて、その検討体系としてしっかりしたものにするべく、電力会社での確認を行って、何をすべきか考えるよう、
0:00:35	等考えるような体制作るよう改善を図ることということでコメントいただいているところでございますんで我々の改善の方向性については、進め方、やり方ご報告して参ると。
0:00:46	いったようなところを申し上げたところでございます。
0:00:49	で、当会合資料の骨子につきましては、②番、この構成といたしまして、この行動を記載するじゃなくて前回会合での説明内容それからその説明、
0:01:03	に対する指摘事項を踏まえたタスクで、今回の検討の状況結果という流れで説明することということをお願いいたします。これが大きな流れの話で、次ですね位置付けとして基本地盤モデルをあたかも作るの目的のように、
0:01:19	見えるところがあるので地盤に、地盤モデルによる入力地震動を策定するのが目的であること。
0:01:25	であることとそれが基本地盤モデルの見通しを得る活動を今回行っていることという絶対位置付けの記載については冒頭の全体の中で施設示すことということをお願いいたします。
0:01:37	すいません。はい。規制庁コサクです 2 番の、
0:01:40	の、はい。
0:01:41	前回会合での説明内容云々って書いてある。
0:01:46	ところの前に、はい。
0:01:49	前、本当の全体像。
0:01:51	検討の全体像ですね。はい。
0:01:54	施設に至る耐震設計としての全体像を示して、
0:01:59	それの中での位置付け、
0:02:01	がわかるように、
0:02:09	そっち。私はすみません、チェックしますすみません。

0:02:19	今、
0:02:22	イマイまでますはい。
0:02:29	はい。今のいただいたところは②で、耐震設計の全体像とその中でこの地盤モデルを作ってるものの位置付けがここで対象ちょっと前。
0:02:39	大丈夫です。一番後でルール策定における全体像じゃなくて全体だって、耐震計算結果まで今使っていないから。はい。
0:02:49	はい。
0:02:53	すいません
0:02:56	今様できましてですね、4番ですけれども、減衰定数及び表層地盤につきまして、下資料冒頭にて今回説明内容でもって見直し替えられた範囲及び、
0:03:09	シライ 1000 個かかる工場は、今後進めていくと、いうことを説明することということで確実に係る説明の中で、結果の見直しと信頼性向上する線引き。
0:03:20	を、わかるようにしなさいということでございます。
0:03:25	5 番目競争基盤について、流動化処理等についてマルヤマの影響 2 次元的な検討を行ってますということを申し上げましたけどもその確認内容についても触れた説明をしなさいということでございます。
0:03:38	6 番目、基本地盤モデルのグループの扱いとか分ばらつきの扱いとか、というようなところは基本地盤モデルの作成時点や設計上の入力時の算定時点における、
0:03:51	位置付けを踏まえて、誤解ないように説明することと、ということでサエグサのような言い方に、言葉遣いすることということですね。はい。規制庁コサクですけど。
0:04:04	何を言ってるのかが、これでわかる人はどれだけいるのだろうか。
0:04:09	思うんですけど。はい。ですね。
0:04:15	まず 4 番なんですけど。はい。
0:04:18	見直し替えられた範囲。
0:04:20	で、範囲そのものを冒頭に言わないですよ。
0:04:26	ないよ。だから、前回、
0:04:30	前回、今回説明内容、見直し変えられた、これちょっと、
0:04:35	減らないかもしれない、なんちゅう議事録かこれ
0:04:40	ヒライたら我々が考えるんじゃないで、コサクそうじゃなくて冒頭に言うべきは、その見直しを立てて、
0:04:49	モデルの比較、モデルを踏まえた応答の比較だけど、

0:04:54	をしていきますっていう作業方針、
0:04:58	と。
0:05:00	見通しを立てるといったところの程度感。
0:05:03	どういう、どう移動、どこまで行ったら見通しを立てたと判断するかと。
0:05:08	いこと、判断基準を作りますよってということ。
0:05:13	判断基準も最初に言うんじゃないくて、それぞれの項目で、
0:05:16	書いてくれていましたよね。
0:05:19	なので、それに繋がることを冒頭に書いていただいて、
0:05:25	それぞれ2、その見通しの判断基準をっていうのは、線引きと言っているところ。ただこれがすいません結果的にここまでは見通しが取れてここからは信頼性向上という位置付けで結果の方の話で書いていたので、ちょっと今の小崎さんおっしゃってたのとちょっと趣旨が違う書きぶりになっているので、ということになります。
0:05:45	で、東レからその結果、
0:05:52	ためのちょっと1回方針であり、
0:06:14	困難
0:06:15	ウエダよ。
0:06:16	判断基準。
0:06:23	当初コウノハタケ。
0:06:26	うん。はい。そっちも入るんですよ。と思ってます私は。はい。
0:06:32	そうですね。高坂磯それで、
0:06:40	規制庁コサクですけど冒頭にて判断基準を示すことだと誤解されるので、
0:06:47	方針の中に、その判断方法、
0:06:53	はい。ごめんなさい。そこじゃない。そうですね。
0:06:57	どっちか。
0:07:01	出てくる。
0:07:06	中出じゃなくて、方針、括弧、
0:07:13	その判断。
0:07:15	広報含む。
0:07:23	そうですね、上を示す。
0:07:27	もし伏見さん。はい。
0:07:40	あと割り勘後、
0:07:43	信頼性向上、

0:07:47	後、後
0:07:52	そこに残ってるとか、はい。
0:07:59	これはこれで結果に対して見てたんですけどね。はい。うん。
0:08:06	Dはコサクですけど、この結果に対する見通しって上書いてその結果の見通しだけど、これどういう意味合いになる。
0:08:17	下は、各評価をやった結果なので、
0:08:21	見られた。
0:08:28	結果の人じゃなくて、多分伊東西縁ちゃう。はい。うん。はい。はい。はい。うん。
0:08:33	見通しと信頼性の向上と、
0:08:36	次、違う、違うでしょ。はい。それでカセですね。
0:08:43	あんまり、
0:08:44	角田加来です。そう。
0:08:47	はい。
0:08:48	そうですね。うん。
0:08:52	はい。
0:08:54	はい。はい。仙波。はい。
0:09:01	7、6番までいきましたは、7番です。基本地盤モデルでの総グループ誘発会
0:09:10	ここに、
0:09:11	6月開及びバラつきが扱いについては、基本モデル、気持ちはモデルを作成する時点ですとか設計上の入力地震力の算定時点における位置付け踏まえて、
0:09:24	誤解のないように、説明といいますかこれだから検討していくことっていうことですねもうそれは言葉遣いをコサクです。これがですね、これも何て言うかわからなくて、
0:09:37	申し上げたのは、
0:09:41	冒頭で今回、さっき②でしたかね、全体像を示せと。
0:09:46	言ったときに、
0:09:49	12グループで検討することと、耐震設計、
0:09:54	設工認の補正をするにあたっての、
0:09:58	地震入力地震動の枠組みと、ここをちゃんとす。
0:10:03	仕分けして、誤解しないように、プロセス変えてねということです。
0:10:10	圧壊と設工認そのときに、ばらつき、

0:10:15	サノ設工認でのばらつきのデータの取り方っていうのも考えるんでしょ。
0:10:20	いうことを
0:10:23	気になってるポイントをお話ただけでは、
0:10:26	ばらつきだけ整理してもいいです。
0:10:56	上にフローでの、
0:10:59	検討が、耐震せえ後段の耐震設計で、
0:11:09	そうか。
0:11:13	だから、それから扱いの、後段の対比設計での
0:11:21	扱いというのに気づき
0:11:22	木野。
0:11:26	わかるように話を進めていくこと。
0:11:30	すいませんちょっと
0:11:31	いただいたことを何かすみません、決定おっしゃる方が私、
0:11:39	2グループだけじゃない。
0:11:51	アベ。
0:11:52	規制庁コサクですけどあんまり言葉としては好きじゃないんだけど、今日の資料の2ページで言えば、下二つ。
0:12:02	モデルの差を、
0:12:05	整理分析、
0:12:08	する際の応答と、
0:12:15	その後の耐震
0:12:17	計算で用いるに設定設工認、
0:12:22	申請として最終的に設定をする入力地震動と、
0:12:27	ちょっと
0:12:29	はい、はいます。
0:12:31	あとちやいを。はい。
0:12:33	扱いを、はい。
0:12:35	基本地盤モデル、はい。
0:12:38	はい。
0:12:40	及び
0:12:41	その後の、
0:12:47	入力地震動の算定、
0:12:50	設計、基本は、
0:12:54	住民グループ様に行くかどうか、それを基本事項の設定の時と、

0:12:59	そのもの笹野分析の、
0:13:02	ところ使える範囲、申請、申請の使えるところ、
0:13:06	扱い方、
0:13:07	含めて考える。
0:13:14	の設定。
0:13:16	地盤モデルの設定は、これは、
0:13:19	その後の、
0:13:21	その後の、
0:13:24	先生基盤モデルとさ。
0:13:27	CFAM
0:13:28	分析、
0:13:37	等を踏まえ、全部の案件等を踏まえて、扱いを決めていく中にグループの扱いを、を決めていくということは、どうするのか。はい。整理整頓。
0:13:47	はい。あ、えっとね、今コサクですけど、扱いを整理すること自体最終最後の四角にあるわけでしょ。うん。うん。うん。
0:13:56	で、
0:13:58	そんな時の、まずは地盤モデル、基本地盤モデルで、応答解析をして出てきてるもの。
0:14:07	の応答の名前と、最終的に設工認で補正をして、
0:14:13	今後用いると言っている入力地震動と、ちゃんと用語を仕分けをしてくださいねっていうのがまず一つ。
0:14:23	で、
0:14:27	補正で、入力地震動として設定をするときの考えを整理するにあたっては、
0:14:37	不確かさ。
0:14:39	に用いるデータの十分性等を踏まえて、
0:14:42	よく考えて、
0:14:44	整理してくる。
0:14:50	マツオ計画分けた方がいい。
0:15:22	で、設計値を入れてて、落ちる設計を入力し、
0:15:35	温泉
0:15:36	算定する上で、
0:15:41	恐れている変動さん。
0:15:46	では、

0:15:49	うん、これ。
0:15:50	年金はこれ時間として持っているデータを両方センターについて説明すること。
0:15:57	これ2グループ、子供は1、
0:16:10	9番です。衛藤岩盤部分の減衰定数については前回会合の説明内容との対比として通過鉄塔部分がわかるように記載をふやすこと。
0:16:22	10番目前回会合での内容と同じ内容を、を説明するときに、違う図を使わないことということです。11番目アノ会合では端的に説明を行って、詳細は耐震087ページを参照するかを、紐づけがわかるようにしなさいと。
0:16:39	以上です。
0:16:42	最後で思い出したんですけど、その08のことを、一番上の①ナカ②とか、
0:16:50	②加古
0:16:53	することから、
0:17:01	前回から08に、
0:17:04	拡充してますよってということも説明してくださいっていうのが、
0:17:14	岩盤のところに書く時は、ここ全体全体じゃないです。
0:17:42	規制庁の竹田です。
0:17:43	以下につきまして何か成長側からコメントございますでしょう。
0:17:48	弊社はですね、さっきの丸ミイで、前回資料の最後の資料で、資料の引き続いて、
0:17:58	説明資料、また、
0:18:01	続いているんですけども、
0:18:02	今回、同じスタイルで、それでも負けますから、本資料と
0:18:08	同じ資料番号で一つにするのかどうかっていうことですよね。
0:18:13	そうですね。
0:18:14	何百ページのファイルにするのか。はい。なるほど。
0:18:19	でも、
0:18:21	私以前、電力でやったときは分けてた本なんですけれども、
0:18:26	ここ、ここみんな一緒にするのかしら、割と開示、やっぱり、
0:18:31	話はまだ今回はちゃんと呼び出しとかもつきますので資料が分かれていますとちゃんとよく私はできるようにしますので、もうあのハンドリングを決めて、

0:18:39	わかった方が流砂プリントフィーダというふうには私は思うので、よければ そうさせていただこうかなと思うんですけども。
0:18:49	はい。長井社長。最終的には、
0:18:55	分けた方が本当に、
0:18:58	それから、ちょっと08、ごめんなさい、⑧のところで、
0:19:06	等、
0:19:07	不確かさの花強いですが、
0:19:13	入力地震動を算定する上では、ってなってますけれども、
0:19:20	要はばらつきの考え方の話ですね。で、
0:19:25	これって
0:19:30	現段階で決める必要はないですか。
0:19:32	入力地震動を算定する段階まで。
0:19:39	次の考え方。
0:19:46	入力地震動
0:19:50	と、
0:19:51	体で決めて、
0:19:53	ものかなというふうには思っていて、
0:19:56	ここを
0:19:59	そうですね。具体論は、やはりちょっと入力値施設の入力地震動を決め るところで、ちょっと一緒に扱っていききたいなというふうには思う。
0:20:12	松井。
0:20:14	ここですけれども、
0:20:17	ばらつきはもちろん、基本にホテル基づく算出結果としてばらつき考慮 していかなくちゃいけないというのは、それはもちろん、その通りでもあ るし、
0:20:27	それがいかほどの量の中でもう士安心前にもあまり疑念のないところ ではあるので、
0:20:35	そういう方針はもちろん、この段階ではメーカーに、
0:20:40	よって多く必要があるかなとは思いますが。いうじゃないですか。この段階 というのは、
0:20:47	PRAモデルを設定する上で、はい。そうですね。今後のあれですね、本 当に個別具体の設定は、どういうデータにっていうのは、この後やるん ですけれども、
0:20:57	今これを設計する上で、今後こうやって

0:21:09	今絶対必要だと言われる。
0:21:11	けど、やはり一番
0:21:13	最初、
0:21:14	イシイ、
0:21:19	現時点機、
0:21:20	基準時間モデルを設定する上でのばらつきの考え方というのは最低必要だと。はい。
0:21:26	はい。はい。
0:21:29	そういう
0:21:30	な。
0:21:38	規制庁コサクですけど、⑧は補正にてってなってますけど、
0:21:44	補正にて考えるにおいては、本巢の基準地盤モデル、
0:21:50	もうそもそも標準一般的なものとしてと言ってるんだから当然同じようにやる。
0:21:56	ことになってってということなので、最初に言っておきましょうねってということだと思うんです。
0:22:02	で、12グループ不確かさ、ばらつき考えようとしたときには、こうなりますよ。
0:22:08	で、それを見渡してみるとこういう特徴があるからこうしましょうよ。
0:22:12	いうふうに、ここにやることによって、この⑧の検討に繋がってくると。
0:22:18	いうことになるんだろうなと思います。
0:22:26	規制庁コサクですそれですね、
0:22:33	⑦について、
0:22:36	な名称だけでちょっと話しちゃったんですけど、作業プロセスとしても二つにしてねって話をしている、
0:22:43	最後の四角を、
0:22:47	ここでは何だっけ。
0:22:51	設計用入力地震動と今書いてある。
0:22:54	ものを、
0:22:57	どうしていくのかっていう整理と、
0:22:59	あと耐震計算、
0:23:02	そしてどうしていくのか。
0:23:05	ここだって松木でしたっけ。
0:23:08	施設耐震形。

0:23:09	設計計算。
0:23:12	この表現がどうかわかりませんが、そうです。
0:23:15	これの取り扱いを整理するっていう、二つあるんですよと。
0:23:20	いうことを、二つあるならちゃんと二つ書いてください。
0:23:28	それがこれまでのヒアリングなり面談でも混在してたから、何を言っているんだ。
0:23:34	やるつもりがあるのかないのかみたいな。うん。ずっと。
0:23:38	話が混迷をされていてですね。
0:23:41	一旦ちゃんと整理をして、
0:23:43	話をする必要があるかな。
0:24:03	私だけは、
0:24:07	広瀬赤塚。
0:24:09	バラつきのプロセス二つボーリングは1個しかないとか、そういうのも提供してくる。
0:24:15	言ったところの趣旨は始めるということでよろしいでしょうか。
0:24:21	地震力のメーターが名称問題じゃないやつは、ばらつきが、
0:24:27	考え方が変わるんじゃないかと、その整理が必要だということで、いろんな考え方がですね、1個しかない場合は、はい。
0:24:39	どうしてもっていう
0:24:41	そのときに、例えば、例えば表層なら全体的、はい。
0:24:45	バス停ならそういう人はいますし、或いは追加であります。
0:24:49	近隣のものを出すというのは、
0:24:52	はい。はい。
0:24:54	そういう考え方を、
0:24:56	示してください。はい。ですから、この10人がもうあたかも決まったようにそれだけで突っ走るという、みすみすなことだけはすんだよと、きっちりそこを考えて、10、12が、
0:25:07	もっと細くなるのか広く集約されるのか、また、またまた違うところで広がっていくのかは、もう当然我々考えるんですけども、その辺を考えても、
0:25:18	関西支店、規制庁で考えるべきばらつきというのが重要であるということをお願いしたい。はい、わかりました。
0:25:32	質問がよろしいでしょうか。
0:25:36	それでは介護資料案としては、はい。これで終了とさせ

0:25:41	次の資料について、ぐらい入りたいと思います。
0:25:47	日本語でございます。タケモト 08Gのご確認をいただきたいと思うんですけども、昨日二つ今後の廃棄簿でたつの市、
0:25:58	整理してきたとすると31日にお話した問題等がございますけれども、
0:26:03	あと本体の方、よろしければですね本体の方、
0:26:08	ご確認とあわせてちょっと足らずの方。
0:26:11	多少をしながら、
0:26:14	そういうような形で、ご確認いただければよろしいのかなというふうには思うんですけども、いかがでしょうか。
0:26:26	ありがとうございます。
0:26:28	そうしますとですね、今回、もうこ、もちろんこれも読み上げたりなんかいたしませんけれども31日お話ししましたアビル8の例えば08でございますけれども、
0:26:40	今回ですね、大きくですね、この
0:26:46	地盤モデルの設定につきまして、頭のですね方針のところから書き下すような形で、
0:26:57	記載いたしまして本文のところですね、一通りのストーリーを図りつつ、残りの4因子のですね検討は別紙に飛ばすといったような形での構成として参りました。
0:27:10	ですね一番最後のちょっと今別紙3っていう形で残ってしまっていますけれども、これ別のサトウのように、飛び込ま形にいずれなるということですね報告タイトル自体は、
0:27:22	今ちょっと消えてるものと、いうふうに見ていただいて結構かというふうに思います。
0:27:29	ハタですが、以上でございます。
0:27:34	はい。
0:27:35	以上です。
0:27:37	佐治スタッフの方に入り、
0:27:42	工夫して確認していかないと後は、
0:27:49	まず、本文、
0:27:53	までで、確認事項はございますでしょうか。
0:28:01	大丈夫
0:28:02	規制庁コサクで全然大丈夫じゃないのでなんてよくなればいいたろうっていう。
0:28:08	こと。

0:28:10	なんですけど、
0:28:14	等
0:28:16	何が骨子なんだっていう、
0:28:20	ことなんですけど。
0:28:24	これって、
0:28:29	表題が、地盤モデル及び物性値の設定って言うてるんですけど、
0:28:38	そもそも、
0:28:40	地盤モデル及び物性値って正しいんですか。
0:28:44	いや、これ大丈夫。
0:28:46	なんか委員会は香田社全体そういうことやってるんですね延ばせるけどおっしゃる通りで今もう原水とか試設計とか、4 イシイ出てきてるので僕ってだけではとてもないんで、
0:28:57	もはや古い名前。
0:28:58	使えることは当然あるだろう。
0:29:02	し規制庁コサクです海越表でつくこともありですねもうちょっと、
0:29:07	全体像がわかる、表題にさせていただいた方がいいかなと。
0:29:13	08 が引き継がれて、ビジョンがあれば、態度が変わってもいいです。
0:29:22	それ
0:29:25	この資料って別に清 4 イシイの話をしたいだっけじゃ本来なくて、
0:29:32	48、
0:29:34	より、
0:29:38	はい。
0:29:41	1 ページ。
0:29:46	はい。
0:29:49	その後の話が續いて、
0:29:52	江藤、日本原燃のオガセごめんなさい。
0:29:54	違っていたら申し訳ないです。今の話というところでは我々の最終的に4 市に対する検討をやるんですけどもその前にはちゃんと4 市が何でその良いでいいのっていうところの説明が必要だというのは、今までいただいたご指摘からも必要だというふうにし、
0:30:08	しました。その時に、話としてあるのが、やはり最初にまず今ためさをした9 っていう数字、これ表層と岩盤と解放基盤以深でそれぞれ三つのアノイシイこれでザッツオールになるわけなんですけどもそれに対して、

0:30:21	いろいろ絞り込んでいくと最後 4 になるのでこの四つについて深掘りを しましようというところで一応背弧し、ある意味骨子として、そこがはいち よつとわかるように作ってきたつもりでございますちよつと何か目的とか が書かれてないとか、そういうのは、
0:30:35	わかっています今、今となってはい。ただそういう骨子で、検討をちゃんと 順番に進めていってますということはちよつと今回わかるように変えて きたつもりではありました。はい。
0:30:45	全部です。
0:30:47	LCO潰せしようということは、はい。はい。はい。そこが足りてないと思っ たので、はい。
0:30:55	規制庁コサクです。
0:31:00	一方 2 歩II見ると、先ほどの話と矛盾した状態になるんですけど、私が 誘導したような感じがありますが、
0:31:08	2 ポツの最後のところ上記を踏まえのところを見ると、基本地盤モデル ってというのは、
0:31:15	申請における入力地震動の算定に用いるもの。
0:31:19	いう定義をしてるわけですよ。うん。だからさっきは違うこと言ってたわけ ですよ。
0:31:25	こっちだそうです。
0:31:30	さっきのプロセスがあるとすると、ここでそのプロセスを書き、
0:31:34	それを検討する場所が作られ、
0:31:38	という必要があつてですね。
0:31:41	それちよつともともとその基準、基準、あ、ごめんなさい。
0:31:48	基準地盤、基本地盤モデルも、申請時はモデルと比較をして、最終的に 耐震計算ではっていうのがありますけどそれはこの資料に入るんです か、入らないですか。
0:32:00	三野でございます。最終的には入ります。
0:32:03	そしたら、古作です。それも含めて、この範囲を説明するものでずっとい って、パーツとしては作っておいて、いつぐらいにどこでこういうふうにな ってから記載していきますっていうふうにかかないと、
0:32:20	おっしゃる通りです。はい。はい。はい、原燃の小形ですおっしゃる通 り、
0:32:24	改めてお出ししてから眺めたときにポツがちよつとすみません全然書い てる後ろに書いている。
0:32:34	9 から 4、

0:32:38	おっしやったの。
0:32:40	私はちゃんと会合資料
0:32:48	はい。
0:32:49	ですよろしく申し上げますそれが
0:32:56	あるわけじゃないんですけど、
0:32:58	現行完璧に話。
0:33:01	2 ポツなんかやっぱり変化が、
0:33:04	一番、
0:33:05	それが最初に思ったのは、
0:33:07	日本で書くぐらいの内容って、下線引かれないはずだよな。
0:33:13	本来ね。
0:33:14	高井会社員さんから、そんなに変わんないはずだ。
0:33:18	はい。ていうのがあるべき姿。
0:33:21	大分とは言っても、
0:33:25	ていうことの趣旨って触れない。そう。だから、その辺は表現できたらいいなっていうのが、見てて思ってるんですけど、衣川一色としてその辺は何か考え。
0:33:38	原燃のオガセすみません、若干前に逆を突いてしまったわけなんですけど、ちょっと第2回でいろんな、出てきたキーワードというのはやはり入れた方がいいかなと思ったんですがはい、今野さん。
0:33:49	第1回と変わらないところが理想であろうと、理想というかそういうふう
0:33:56	に我々方針を今日共通のものとして扱ったので、
0:33:56	あまり変えないほうがかえってよかったです。
0:34:02	そのまま使えるバス設置がいいんですけど、多分、
0:34:06	もう、とは言ってもこの資料のわかりやすさとあと今話をしていく。
0:34:11	ことがまずザイゼン。
0:34:14	入ってもらった上で、前と同じ言葉が使えればいいんだけど、変わっちゃう場合には、ここはこういう内容になってますとか説明できれば、それはそれでいい。
0:34:25	対応が説明できて、この考え方は、第1回説明したことが変わったわけじゃない。まじか。
0:34:32	いえば、
0:34:34	だからその辺、ちょっと理解はしていただきながら書いてくれる。
0:34:39	みたいなんで、

0:34:41	次か。
0:34:44	全く第 1 回のものを明示して書きすぎるんじゃないくて、
0:34:51	ジンノでございます。ここちょっとな。すいません。悩みをもうちょっと申し上げると、
0:34:57	前回までの会合でその第 1 回での反省をやっぱり我々した。
0:35:04	ですねやっぱり第 1 回ちょっと足らずがあったよねって言ったような、
0:35:08	反省をしたんだとは思う。
0:35:10	て言って、
0:35:12	けども、その反省ホアシで検討したら結果的に第 1 回でやったことっていうのは園田講師から、もう 1 回あれだったらそういう間違ってたよねっていう良い規制庁ですけど、すいません。
0:35:25	まず第 1 回つつても、第 1 回の当初申請と補正では意味が違う。うん。
0:35:31	補正のときには、周辺の地盤直下或いは周辺のデータを用いて、
0:35:40	ちゃんと評価をするという姿勢に変わってるわけですね。はい。はい。その点においては、それはさほどですね、違いがなくなってるんです。おっしゃる通りです。そうです。だからこそ第 1 回の時には第 2 回も同じようにやれよというふうにはこちらはコメントして、
0:35:56	にもかかわらず、第 2 回の当初申請において、
0:36:00	ショッカー或いは周辺ではなく、エリア全体と言ってきたから、うん。
0:36:05	第 1 回と言ってること違うじゃないかっていうまず反省事項ができてるわけですね。
0:36:09	ていうのと、もう一つは減衰で、
0:36:12	減衰は第 1 回も、
0:36:16	何気ず、
0:36:18	材料原材料材料減衰だけのデータで保守的にやりますと言ってしまっていたものを、
0:36:27	自分の敷地の状況を踏まえて適切に設定をすると。
0:36:32	いう
0:36:33	データに真摯に向き合うっていう姿勢に改めたということでそこは、第 1 回でもできなかったところなのでそこは、この際しっかりやらせて、
0:36:43	まずと言って、改めて、
0:36:47	ていう 2 点違いがあるんですね、そこをちゃんと認識しておくことだと思います。それで、補足説明資料の位置付けなんですけど、一応設工認の分割の全体として一体として説明をいただくと。

0:37:02	ということで、工事会でやるときに前回と同じですというときに、補足を改めて作り直すということがないように、継続していただいているということだと思って。そうすると、
0:37:16	第1回と第2回が違うと。
0:37:18	そんなん書き分けるっていうことをしなきゃいけない。
0:37:22	前のものは前のものとして残しておき、今回は今回、今後こうしますだったり、
0:37:28	いうふうに配慮するんじゃないかなと思う。
0:37:32	前年のオガセです第1回の際にそういう方針で第2回も含めて本部共通でという、イトウで作っていたのがすいませんなんかちょっと、今回は第1種だったので、ちょっとそんなところがございますそれは申し訳ない。
0:37:45	でも、
0:37:46	終わっても、スポーツの場合、
0:37:49	減衰を、材料減衰、何にも書いて、うん。
0:37:55	実態に即したものです。
0:37:58	即したモデルを、
0:38:01	作ってみますぐらい。
0:38:02	それを採用しますとまだ入って、昔は3分割でやってました。今回はちょっと、
0:38:10	まずまで作っていきますという名前を、その地盤の実態を考慮して地盤モデルテックス当時はそういう名前をつけて、ここで作って、黙殺そのまま採用したんですけど、日本では、それどう使うと。
0:38:25	まずそういうものを、今回考えます。あと下書いてあるのはそういう状態変化、基準地震動なりまして、埋め込みを考慮するなりましたっていう
0:38:35	設計の状態。
0:38:40	書いてます。
0:38:40	以上ぐらい。
0:38:42	なはずなんですけど、言葉の使い方が最新の状態とちょっとずれたという
0:38:48	3年、
0:38:51	がらっと変えかけるんじゃないか。
0:38:57	ジンノでございます。はい、承知いたしました。だから2ポツは極力、大会をそのまま生かす形で、
0:39:04	追加せるところは、

0:39:07	何だろう。
0:39:08	やったほうがいいんじゃない。規制庁布施です。別に手をこうやってもいいんですけど、ちゃんと違いがあるのか、言葉の拡充だけなのか。
0:39:19	そこら辺をちゃんと認識共有することだと思いますので、違いが出てと思ったら、併記するっていうことをしておけば、違いがあると思ってるのかないのかっていうのはまず、
0:39:32	理解ができるし、そこで認識のずれがあれば、ヒアリングでコメントすればいいので、
0:39:38	作成方針としてそれさえ守ってくれる。
0:39:41	わかると思います。
0:39:51	A規制庁コサクです。で、7の今後の反映事項の方で書いていただいた本文と言ってるところろうんか、今のようところで記載が甘くなってるっていう。
0:40:05	異なる。
0:40:06	ですね。
0:40:08	現状のそのこ反映事項も4因子っていうことにこだわり過ぎて書いているので、
0:40:14	そもそもこの書類で書く全体像って何ですか、そのプロセスって何ですか。
0:40:19	何でそういうふうにしてるんですか。
0:40:22	ていうことを説明するっていうふうにまだなっていないわけですよ。
0:40:27	はい。
0:40:28	これは
0:40:29	ここ、こちらが指摘するような話ではなくて当たり前のことできてないっていう指摘なんで、
0:40:36	ちゃんと説明し切ってください。
0:40:38	ということです。
0:40:40	ありがとうございます。本当に2日にちょっとたらずーだよなというふうに関ワードいただいて我々もちょっと見てて、ここ足りないなと思っていたのが、
0:40:51	今おっしゃっていただいたような趣旨と多分同じ受注に我々が追いついていけるかなと思うんですけども、陽子通の基本地盤モデル設定提供ってどこかラーンの話じゃないかと思うんですが、
0:41:04	この業務のパラメータ整理して次がですね、状態変化を踏まえた確認事項抽出ってもうこういうところに飛んではいるんですけども、このの、

0:41:18	どういふふうを考えるのかということで、地盤モデルのパラメーター出して、
0:41:24	で、
0:41:25	各
0:41:26	データを元に図で設定して行って、その時はその業態変化を踏まえた検討を行って、結果、病院費にソケットすべきここが集約されるっていうような、
0:41:39	そっちは結果系ですけど、流れの方をちょっとわかるように書かないといけないかちょっと前段の記載がすっ飛んでいて状態変化を踏まえて、いきなり三角サノバ、
0:41:51	Publされてきてこっから四つですって、
0:41:56	前段の朝クボを確認をする必要あるねというふうに我々ちょっと認識してるところで、
0:42:10	はい、規制庁草場ですその前段っていうのはどの程度のものだと思っておられるのか。
0:42:16	どの程度、
0:42:17	かけるのかっていうことがわからないと何とも。そうですね。返事ができるんですけど、書いていただいてということだと思います。本当は今日のその反映事項という資料で、
0:42:29	わかっておられるねって思いたかったんですけど、この書きぶりだとわかってるように見えなくてですね、何とも返答ができないというのが、
0:42:38	私の印象。
0:42:43	先ほどの2ポツの議論を踏まえても、少し書類として、
0:42:50	各方向性っていうのを、矮小化してるっていうとちょっと変ですけど今回のタスクに特化し過ぎていたっていうことだと思うんです。
0:43:00	そこは認識、
0:43:03	改めていただけたと思いますから、それのもとに、何を書く必要があるかってのは改めて考えれば、
0:43:10	たまってるところもあるのかなと思いますので、次のバージョンってなったら、
0:43:15	承知いたしました。
0:43:28	規制庁コサクです。それで言うんですね。
0:43:33	この3ポツとかを追加をしているということからすると、
0:43:37	普通はその前段に、

0:43:40	この書類構成がこうなってます。なぜなら高校だからですみたいなことが、
0:43:45	書いてあるはずなんですよ。それが何かおもむろに項目がぽんぽんぽんと出てくると、
0:43:50	いうことも、やっぱり書き足りてない。その前段が書き足りないっていう。
0:43:55	気づくポイントだと思うんで、
0:43:58	散布図結構、
0:44:00	入口として大事なところですね、自分たちの敷地をちゃんと認識をして対応していくと、やみくもにエリア機器、
0:44:08	一律だと。
0:44:12	何これ、既認可にアノ。
0:44:14	ウダ下がらないという姿勢に立ち返った場所なので、
0:44:19	その点ではしっかりと
0:44:21	前段で行った上で、
0:44:23	3 ポツ目。
0:44:25	3 ポツでサービスで、その上で 4 ポツということですよ。
0:44:31	はい。
0:44:53	性とか、
0:44:54	説明の展開、
0:45:24	地盤モデル。
0:45:40	うん。
0:45:50	21 ページ。
0:46:00	ページか。
0:46:19	を、
0:46:23	ホームページ、
0:46:26	5 件。
0:46:28	地盤モデル、
0:46:34	はい、日本原燃のオガセですまずすいませんきなんだっけ、あのモデルの適用性って言い方はちょっとすいません完全に誤解を招くので良くないなというところはまずちょっと申し上げた上なんです。
0:46:44	施設の施設の設計変更それは設計変更とか設計の考え方を今回地盤モデルにどう反映すべきかというところの考えは、21 ページのところですね。

0:46:57	2行目のところの表です表層地盤のところの既設の建物につきましても、実際の埋め込み状況等を踏まえ、すいません今回、設工認におきましては側面ばねを考慮するというところの行為を耐震設計で行っておりますので、
0:47:12	改めて表層地盤というものを既認可では考慮していなかったものを、考慮してあげる。その時にはちゃんとした設定をしてあげることが必要だという意味で、牧委員からの設計条件の変更というところをちゃんと着目点として挙げさせていただいたと、そういうナイトウでございます。
0:47:27	はい。はい。
0:47:30	そう。
0:47:31	はい。
0:47:32	今、
0:47:34	御社の考え方、
0:47:36	うん。
0:47:45	うん。
0:47:52	はい。日本原燃大瀬ですかしこまりましたちょっと両方の扱いも含めて、
0:48:47	配分元のオガセですちょっとすみません、一応こっちの作成の意図をちょっとお伝えしますと、表層地盤の物性値等というところは私の作成としては減衰とか、
0:49:00	事前形成は含んでいませんというのも、後の先ほど9種類のパラメータという言葉をお申し上げしましたが、それが表層だと。
0:49:10	21が21ページ。
0:49:12	21ページにあります通り、表層についても物性値等と減衰と非線形性それぞれきちんとパラメータとしてはあると。
0:49:20	ただしその表層地盤については S_s に対する基準による影響というのは絶対に無視できないものだというふうな判断をしまして、もうその非線形なりの物性値をそういうふうに設定した後ステージじゃないですね、減衰定数ないし点検を設定してあげる。
0:49:32	ということになったときに、やはりフカホリ的な検討が必要なのはこの表層物性値とVSVPと、あとがんばろうですねそういったところについて、今回深掘りをしていきますというふうな意味で、
0:49:42	言っておりますので、岩盤と同じ位置付けではここはあの名称はつけているつもりでございます。はい。
0:49:48	はい、わかりました。確かにそういう説明
0:49:59	に

0:50:06	はい。
0:50:08	21 ページ。
0:50:22	うん。
0:51:04	はい。
0:51:16	あ、
0:51:25	20 年、
0:51:43	少し、
0:52:04	配分元のオガセですすいません今岸野さんおっしゃっていただいたご指摘、いずれもそうだなと思いましたがまず最初の丸とか一のところが 0 で何かもうこれで検討。
0:52:14	することはありませんみたいなのところに、配布が見えちゃうというところもちょっと見た目上もよろしくないですので、ちょっと我々として、非線形を考慮するというふうにそこで何かを確認するというフカホリが仮にないとしても最終的に我々がどう設定するかみたいなのところの結論は、
0:52:29	やはり一番右なんかには書かれるべきだと思いますのでちょっとこの辺は、すいませんあの検討あるなしだけではなくて、何ていうんすかね。
0:52:36	ちょっと記載の方はちょっと改めてもうちょっとわかりやすくしたいと思います。あと今中身のところのお話でも、金融界コウノ状態変化を踏まえての、書きぶり、中身の書きぶりというところが確かにちょっとトーン取れてないというか取りきれてない部分。
0:52:50	ありましたのですいませんここはもう 1 回名簿をさらにして配置。
0:52:55	思います。
0:52:56	21 ページ。はい。
0:53:07	うちの方、
0:53:15	はい。
0:53:25	はい。日本原燃オガセですかしこまりました。
0:53:29	21、1、
0:53:32	D、
0:53:33	今のパイプの
0:53:35	もう、
0:53:36	何か何なんだ。
0:53:40	よく言ってる 4、1、2、
0:53:44	つなげたいがためだけに、
0:53:46	より違うってというような感じがする。

0:53:55	本来は、
0:53:57	本来、
0:54:00	状態変化を、
0:54:01	前で、
0:54:03	追加したことだったり、新しく
0:54:08	ていうのは、まずある。
0:54:14	要件。
0:54:18	前と変わんなくてもちょうだい。
0:54:20	なあ。
0:54:22	井清形成なんか前も線形でやってしまうっていうんだけど、
0:54:27	別です。
0:54:29	ました。
0:54:33	1 ページの表層の線形性がもともと表層見てなかったし、
0:54:39	C、あと、
0:54:42	どうしようか考える。
0:54:45	何らかの判断があって、
0:54:49	規制経過をしますっていう環境下、
0:54:54	ええ。
0:54:55	だけど、フカホリはなんか要らない。
0:54:59	その辺は、その何年 4 日繋がるんだ。
0:55:05	つまり、場所、
0:55:09	ええ。
0:55:10	で、
0:55:11	変わったことは新しいこととしてはまず全体のメンバーの紹介だけなん だけど、フカホリが必要ないよ。
0:55:20	ていう、
0:55:21	もう時間。
0:55:24	もらうと、21 ページから、
0:55:32	県、
0:55:35	嘘 4Bも、この表の締め範囲で、
0:55:41	ところが、抜けちゃって、そこ、
0:55:48	まずその団体、
0:55:50	規制庁さんです。そんな、
0:55:52	ハバノ。

0:55:53	クドウシンボしたでしょ。
0:55:55	方針のもとでとった選択肢が、
0:55:59	サトウ等したかと、今回ちょっと頑張って、
0:56:06	努力。
0:56:13	まずいです。
0:56:16	はい。ありがとうございます。あれです。
0:56:19	そうですね。ここでは、
0:56:22	減衰のところなんかはもっとそれを見、
0:56:25	と。
0:56:26	ちょっと深さが変わってしまうので、両方読めるように、
0:56:32	した方が、
0:56:33	うん。
0:56:34	4、4名とか情報読めるようにし、違うところは全然違う。そうですね。いいところある別に、正直、実際
0:56:45	その結果おかしければおかしいですよっていう話になる。
0:56:49	古作です。だから、
0:56:52	第1回の際は、材料だけでやっちゃいました。
0:56:57	ごめんなさい。ごめんなさい。昨日、
0:57:02	も前に行った報酬、例えば、こういうことも追加して検討したすべきなので、第2回以降はこうします。それにあたってこういうデータをとって、
0:57:14	4に書けば、
0:57:16	ノジリ系列に沿って書けばいいということなんだけど、
0:57:20	ポンプでそこがわかるように書いて、後、表現そうですねそんなイメージですね。はい。
0:57:30	あと、全然忘れたの1個目の方の21ページの表ブレークの一覧するところについては拝承いたしました。今の右から2番目のところで、どういう検討をした上で何とかを設定するみたいな言い方がしていれば、
0:57:44	そういうフカホリが必要だというふうなことで日本語でしか書いていないところでありましたので、そういうような、どういう検討をしないといけないという必要性があるというのをまず一旦置いた上で、それに対する確認をフカホリとして行うものがあるというような流れでブレークしてあげるのがいいかと思う。

0:57:58	ましたので、ちょっとはい。今の 21 ページから 23 ページの表についてはちょっと列をさしてあげれば。はい。今おっしゃっていたコメントについてはクリアできるかと思しますのでそのように、
0:58:07	します。
0:58:13	設置されれば、大体クリアになる、全体の考え、
0:58:20	ちょっと具体的に確認したいのは、ちょっとさっき言っちゃいますけど、3、
0:58:34	39 ページのその詰めをご指導、
0:58:37	全部方面中部支社、
0:58:41	その前のページの 38 ページを見ると、単位体積重量とか、大学 9 名、今やっぱり、
0:58:51	どういう違いなんですか。
0:58:53	日本原燃のオガセです。今上出さんおっしゃったのは 39 ページだと埋戻し度が単位体積重量とかS波も米なのに、造成モリタとかアノPAの方の造成モデルとか数字が入ってナカセという、そういうことでよろしいですか。
0:59:06	はい。日本原燃大町でそれにつきましては第 2 回、
0:59:10	今やってる埋戻量につきましては、単純に数字として 1 個の数字ではなくて深さ依存のバー式で表される数字になるということ、一方で第 1 回の時の、このPAとかノモトの造成モリタしかり、六ヶ所層につきましてはそのPS検層の
0:59:25	データ埋戻堂みたいにデータがいっぱいあるわけではありませんので、そのPS検層の数字でこのまっすぐの数字をつけていたとそういう差になっています。
0:59:35	はい。
0:59:37	じゃあ、pHどう
0:59:41	これはそもそも競争の扱いが違うんですねちょっとご専門ですね。
0:59:50	そうすると次 4B、Dに関しては、そうそう。はい。はい。
0:59:59	だから、菅さん。
1:00:03	はい。はい。
1:00:06	状況はわかりました。
1:00:18	ドロップの説明も、
1:00:20	やっぱりなきやいけないんでしょうね、こういうことになる。
1:00:24	大丈夫。はい。はい。

1:00:27	それはそれで置き換えっていう話は日本原電オガセしてますそれがA4の別紙今立1とかになるんですかね。
1:00:39	プラスして、
1:00:41	かといって共通的にするために、本文に上げるほどかというところとまた難しい話でも、うん。そうですね。その辺を最後資料、
1:00:51	days、
1:00:53	そうですねはい。
1:01:03	うん。
1:01:06	文章、
1:01:17	20 ページ。
1:01:18	これは 06 名。
1:01:21	文章はその次は、
1:01:38	も設定し、
1:01:59	そういう人が、
1:02:08	元の会社。
1:02:14	考える。
1:02:31	岩盤です。
1:02:33	うん。
1:02:52	をしながら、
1:03:19	でございます。
1:03:20	端的に申し上げますと、逆では、こう書いてあることを踏まえて、
1:03:25	我々は、こういうふうには、
1:03:28	等考えたなり、判断したり、あたかもちょっと手法がすりかわったかのように見えるのはよろしくない、ということかと思しますのでそこをちょっと基本電話におきをつけたいというふうに思います。ありがとうございます。
1:04:06	ふうん。
1:04:10	それから 2%。
1:04:50	下の方でございます。ちょっとすみません、おっしゃっていただいた通り少し遺産や、
1:04:55	ではあったかというふうには思います。
1:04:59	ちょっとここは低下させていただいてという記載を、
1:05:03	修正させていただこうと思います。大井としては、今 12 ブロックで設定、イマセキしてる、金峰のものは同じナカマになると。

1:05:14	いう考え方で集約のときはまた考えていくんだろうなといったような頭でちょっと書いていたんですけども、あと12グループが固定で、
1:05:26	近傍の施設を使っていくというのは、ちょっとそこまで議論が進んでるわけではないということではございませんでちょっと修正したいと。
1:05:40	今後議論
1:05:50	さ。
1:06:06	安定した。
1:06:12	ございます。
1:06:22	ちょっと
1:06:23	今日の資料ですと内容についてもある程度確認した方がいいかな。
1:06:27	で、
1:06:30	通しのページで20ページ。
1:06:35	なお、
1:06:37	サンゴ基盤の
1:06:41	設置は、設計条件とする。
1:06:46	今あるかな。
1:06:48	そこは既存によって岩盤部分の補正でかなりかたいから。
1:06:54	はい。
1:06:56	日本原燃の加瀬です。
1:06:58	ちょっとすみません、若干これは筆が滑ったところかもしれません。実態としては、剛性が、対応基盤以浅よりもかたいってというようなところがあるからってというようなことが、言いたいことの趣旨でございます。
1:07:10	うちの地盤でいきますと、実際解放基盤よりちょっと上から提案っていうのが出てきて、解放基盤突き抜けてもずっと提案ってのが結構続きがちで、同じ岩盤の岩種の中でも、ちょっと硬くなっていくんですよっていうのを言うためにちょっと拘束圧って言葉を、
1:07:25	つけたところではあるんですけども、言いたいことは、解放基盤よりも浅いところと深いところで深いほうがかたいからですってということで、全部、
1:07:33	もちろんではないんですけども、これが本当に、
1:07:37	決定要因になったってということで、ちょっと、ちょっと、
1:07:41	いや、見ていただけてないじゃないんでしょうけど、はい。
1:07:46	油井ナカと。
1:07:49	はい。計画ですか。はい。

1:07:51	29 ページ。
1:07:56	括弧 2 のですね、中ほどのパラグラフのところで、
1:08:02	下から三つ目のパラグラフの下から 4 行目。
1:08:05	これ、減衰について、
1:08:08	ラマンについて、
1:08:12	ごめんなさい。
1:08:13	減衰についてはひずみ依存特性を考慮したから、ゴウセイについても、
1:08:20	地盤を考慮し、
1:08:22	なんて書いてあるんですねこの文章。
1:08:26	これは、
1:08:27	大体新鮮。
1:08:28	本当にそうハマカワでしたから、時間も来です。
1:08:34	日本原燃のオガセです。当時もですね、日本原燃おられて第 1 回のときも、やはり、頑としては鷹架層として結構おっきいもの硬いものでございましたそれは今、ご説明してるところと、あまりそんなに変わるものってのは、むしろ固いぐらい。
1:08:51	でしたので、実態としては非線形性を仮にですけれども、今と同じような線形状態として経営状態の比較みたいなところをやってみると、おそらくやはり同じような結果が今回出られるというふうに我々思っています。
1:09:04	ただし、第 1 回の際はちょっとちょっと急いでいたということもありましたので、非線形として、一番につきましてはもう見るというふうに決めましたのでそれと連続でG岩盤の方についても、もう一緒に非線形を 1 個見るならもう両方セットで見た上で、もうそれをお示しして、もうそれでも急ぎですので、
1:09:21	それでも決定してしまおうというようなところがございましたので、実態としては、
1:09:25	合成の 1 件、正直フカホリすれば見なくてもよかったか見なくても良いという結論を導いてたかもしれないけれども、もう現実ヤタカミヤも一緒にやっちゃいましょうという判断をしたというのは実際事実でございますただ、それをそういう経緯でやりましたというところを第 1 回説明しているかというとしていないのか、実態でございますので、
1:09:41	ちょっとこう書かれてしまうと、いろいろ困っちゃうのかなというところははい。
1:09:45	理解いたします。はい。規制庁、

1:09:50	これ、実は直樹以下っていうのが一般的なやり方なんかの場合ですね。
1:09:56	だと思います。はい。で、
1:09:59	だから、第1回申請は、一般的で、
1:10:04	で、
1:10:07	今回はそれを、
1:10:10	何なの。従来の考え方と、ちょっとやっぱり変えますっていうところですよ。今回、また、
1:10:16	剛性減衰定期を、
1:10:21	みんな考え。
1:10:23	ちょっと減水患者、あとは、
1:10:26	だから、
1:10:27	ちょっとこの永松井川の第1回の、
1:10:31	考え方。
1:10:32	次第によっては第2回、かなり影響し、
1:10:35	なってしまうので、
1:10:37	しっかりと、
1:10:38	根井考え方を仕分けしてもらった方がいいかなと。
1:10:48	書いてねえのオガセです。宇都は、はい、わかりました。
1:10:55	どっちも、検討でございます。高田委員。
1:10:59	甲斐の考え方が、
1:11:02	ある意味、一般的な考え方として、こうこうであった。
1:11:08	だけれども第2回は、これをさらに深掘りして、高校を設定したと、そういう構成し、あるべきであろうというのに、ご指摘いただいたんだと。
1:11:20	いうふうに思うんだけど、それが心配されました。
1:11:25	日本原燃宇津です第1回が今浜崎さんおっしゃいました通り、レギュラーの考え方当然線形が現象としてあるならばそれを見るのが一般的標準的だろうというところ。
1:11:35	に至ったときに、じゃあ第2回はどういう位置付けで、はいこういう線形と非線形を比べて、はい。いろいろと検討しようというふうにしたところの書きぶりがきちんと位置付け目的がわかれば、
1:11:46	いいのかと思うので、ちょっとそこはうまく書けばいいなと思ってます。はい。はい。
1:12:11	あ、ちょっと項番、

1:12:14	九州電力の明石でございます。後程減衰のところでもっと話があったので、そこで目標をちょっとお尋ねしようかなと思ってたんですけどちょっとここでお尋ねさせていただく。
1:12:24	あと、おっしゃる通り、何が一んでは、特にちょっと減衰で言うと、ひずみ依存性みたいっていうのは一般的。
1:12:34	なのかもしれないんで、それを今回どう扱うかの手前で、もっと上流の大方針として、に実際の状態を見ながら、
1:12:46	設定をしていきます。その結果として、議員、現在現在行って申請をしますけど今ちょっとこあらゆる放送としてますので、それがどうなるかちょっとまだわからない。
1:12:58	いう。
1:13:01	前提でいくと、
1:13:04	だから何か聞きたかったことは、第2回申請今回制定においても考え方としては、
1:13:13	今、
1:13:14	20ページだったことは、第1回申請でこう設定しましたという
1:13:25	同じく、
1:13:27	一番が考慮したから、G岩盤を考慮するとか、そういうんじゃないで、
1:13:32	これ基本的には何もコガもそうなんですけど、まず自然形成、材料減衰として1000、
1:13:39	そこで終わっちゃってたんですけども、本来はそれに逸散減衰があるから、1浜については、アンダーラインの上限値としてつきますよ、だからこういう形で設定します。
1:13:50	ただこれ久家っていう場合には岩盤が来ますって決まりますんで、岩盤決まった岩盤に対してG0とT0G、G一馬路GとHが決まります。でも、
1:14:01	実際この現場、この檀地点は、G0を小さくした方が、保守的っていう方がなくて、
1:14:11	応答がでかくでかくなるんで、事実はこちらしてますってのは第2回目なんですよね。だから、今度おっしゃってるように本来の考え方からすると、ピーエイも4Bも非線形でやりました。地盤面も一番非線形ですっていうのが、
1:14:24	ここに書かれて、今回はそれに対して、下限値を設けます。G0は保守的に次の初期費用にしますっていうふうな書き方が正しい。
1:14:35	はい。
1:14:36	中丸さんの説明は理解しました。

1:14:41	いえ、
1:14:44	着実
1:14:46	はい。ちょっと、どんな設計ですけども、ちょっとこの書き方も、もう1回社内的に、倉庫がないようにしなくちゃいけないんで、見直します。はい。はい。はい。
1:14:59	衛藤。
1:15:01	次の32ページの
1:15:06	減衰の話は、
1:15:09	30ページのウエダサンゴからですねもう5%を出資して、請求条件の
1:15:15	設定、
1:15:17	この資料として今5%と言い切っちゃうような、
1:15:23	言葉があるんですね。うん。
1:15:25	事業者としては、
1:15:29	線形状況能勢
1:15:31	ん。
1:15:34	センケン所
1:15:39	は、現状、
1:15:40	はい。日本原燃のオガセです。これ設計条件というのは、いわゆるひずみ依存で特性に応じて減衰の上昇していくってところを見ませんというひずみが進んでも、減衰は上がらず、一定のままという、つまりは、大きい減衰にならないようにし、
1:15:57	規制庁ハマダです。
1:16:00	今の説明は、やっぱりいいました。あれ。
1:16:02	さっきの、
1:16:04	上野さんの説明とちょっと違うように思いますけれども要は下限値を設けて、あるひずみレベルまでは、減衰を5%が一定にするっていうのは、
1:16:14	ひずみレベル、今の段階では、Ssでどうなんっていうのは考えない。
1:16:21	減衰のモデルとしてはある泉レベルからは、本来は1番目に、
1:16:27	はい。
1:16:29	そういう減衰の設定をするわけじゃなくて、今の尾川さんの説明は、すみません、適正にちょっと比較ですけど、最初にハバサキさんが言った通りで、今言うことじゃない。はい。
1:16:40	消してくれ。

1:16:41	いるってことはまずあると思います。データが見通しが、見通しを得るといった範囲が出てきてから、
1:16:50	それを踏まえて設定をします。
1:16:53	だけなんですよ。本来今回この、この段階では、
1:16:56	その上でどうするつもりなんですかっていうのが今の話で、
1:17:01	ある程度それもこういうデータを、が取れる見通しがあるので、こういうふうを考えてますっていうふうに言っていたらいいと思うんですけど。
1:17:08	そんな時に言って、
1:17:10	提出するのはなぜですか。
1:17:13	どっちでもいいですかはい。日本原燃のお話ですちょっと宇野さん。
1:17:18	はい。
1:17:19	今のお話でいきますと、曲げ
1:17:22	II地盤の件
1:17:24	小さい。
1:17:25	ものだということは、共通認識が持っているとしますので、実際まず科学的にも、ピタッとしたものを作るといようなところの観点でいくと、今ハバサキさん。
1:17:35	おっしゃいました通り、ある現
1:17:39	3 サンランプラス内部減衰の一定値みたいなのが、今で言えば、例えば仮に5%としましょう、それがあったとして、その主アノ地盤のひずみを超えて、
1:17:48	残高が増えたので材料減衰の履歴が増え
1:17:51	5%を超えて、
1:17:52	したら、5%からだんだん個人の期間でまた5%から上がってくるということが考えられる。これは認識当然でございます。ただ、ここで基本モデルでして、
1:18:04	32 ページに書いているところでございますけれども、減衰を大きくしないことで、そこには、
1:18:10	非安全側になることはないというか保守性といいますかそこをちょっと入れてあげましょうとそういうのは
1:18:15	他のが実態で、
1:18:17	はい。だからウダニワあごめんなさい、さっき
1:18:20	ノムラニワおっしゃる通り浜崎さんがおっしゃったの、途中で上がっていくそれはあるというのは、

1:18:28	説明はわかりましたけれども、内容についてはちょっと技術的な話になっちゃってますんでヒアリングを超えちゃう可能性もあるんですね、ちょっと。
1:18:37	これ以上、
1:18:38	感じはしません。補足です。ここで深掘りはしないですけど、議論ができるようにちゃんと書いてください。
1:18:46	今のであればこういう特性があるということがわかりました。
1:18:50	こういう時切断を初めからわかってるんでしょうけど、これぐらいの状況であることがわかりました。
1:18:57	それ、そういう状況を踏まえて、設計で使うモデルをどうするかということについては、この領域はこういうようなこと等々になるしこの例がこういうふうになるから、
1:19:09	設定としてはこういうふうにするのか、応答を見る上では適切だと考えました。
1:19:15	いうふうにして言わないとですね結果だけで5%だとか、線形だとかって言われても、
1:19:21	議論がしようがないので、
1:19:23	説明してくださいってその場でまともに。
1:19:26	口頭で言ってくれないとじゃあ次回、
1:19:29	いうことでするするいだけなので、ちゃんと書いていた。
1:19:33	いうことだと思います。
1:19:35	そんな時ですね、5%保守的って言いましたけど、
1:19:41	どっちがあるんでしたっけ、普通見ながらじゃない、あれですけど、材料減衰でプロットした側で言うと5ってないわけですよ。
1:19:49	バイリニアで書いてるときに、こういうよりも低く設定してる領域があって、何でこうなんだと。
1:19:55	いう理屈があればけど立たないわけですね。はい。あれが、否決できると私は思いますけど。
1:20:01	あれを設定して書いている以上、
1:20:04	自分で否定しなきゃいけない。
1:20:07	ていうことをちゃんと述べましょう。はい。はい。
1:20:10	それじゃないと保守的って言えないですか。
1:20:13	日本、それは前回の、すいません、何時でしたっけ、先週の木曜ぐらいのヒアリングではないほど、認識したところですので、最終的な設計設計というか、基本モデルに設定する時には、各周期で、

1:20:25	どれぐらいの減衰を入れるかとかってところの科学的な分析をした上でやってその上で最後、ナンバー1とかってやるふうなところが必要なのは、
1:20:33	しておりますのでその中でこの材料減衰の話をちょっと組み合わせて、はい、ご説明をするつもりでございます。はい。はい。補足です。
1:20:41	今回、
1:20:42	見通しがまだえられてませんというにもかかわらず、
1:20:46	数字を書くんですか。はい。ありがとうございます。すいません。これも先走ってます。はい。はい。
1:20:54	おっしゃるような説明をしなくちゃいけないということを認識の上、今のステータスに合った費用をします。
1:21:03	はい、細木ですよろしくお願ひしますはい。同じです
1:21:07	プロジェクト 39 ページから、そういう
1:21:10	見えますんで、
1:21:12	ファンステージすべて. 05
1:21:21	聞いた方がいいですか。私から。
1:21:28	1点だけなんですけど、
1:21:30	20 ページ。
1:21:33	括弧 2 の設定結果。
1:21:36	から始まって、第 2 段落目、
1:21:41	実際なんですけれども、
1:21:42	入力地震動に有意な差はないという記載を書いているんですけど、実際、今検討してされてることとしては地盤ばねの低下にも影響がないだとか、そういった検討も別紙 2-2 ですかねされてると思いますので、実際にやってることというのはここでちゃんと、これ以外に書いていただきたいと思います。
1:22:01	はい。日本原燃のオガセです。はい。かしこまりましたおっしゃる通り、ちょっとはい。入力地震動のさ、
1:22:07	してますのでそこを拾った記載を、はい。確認させていただきます。
1:22:14	これで言いますけど、他のところで、
1:22:17	谷アビルことっていうのはちゃんと漏れなく、
1:22:21	いただける
1:22:24	かしこまりました他の岩盤
1:22:27	含めて、

1:22:28	同じような感じで書く。
1:22:36	事故や確認ございますでしょうか。
1:22:55	10 ページ。
1:22:56	ていうのが、
1:23:09	と、49 ページの 6 ポツIIがここ意図してるのは、
1:23:15	非常にグループ設定した後に、
1:23:19	この施設での
1:23:23	耐震計算、取り扱い方気に入っていい。すいません。その中にグループ化とかオオハシメキアノ基本地盤まで詰めた後に大井モデルによる電力自身と算定してっていうそういう話を、はい。
1:23:40	全体。
1:23:42	作業前て示してくださいねっていう感じでしょうか。
1:23:46	はい。
1:23:50	全体通したときに、よっぽど書き切れますかということのアガワ考え、
1:23:58	7 ポツは、物まで必要なのであれば、最低限その枠ぐらいは、
1:24:05	次の通り示してくださいっていうのが思ったし、
1:24:10	よくわかりました。どうもありがとうございます。冒頭にちゃんと構成示してやれば、おのずとここは章立てが出てくるものだというふうにご理解いたしますので、1 種、対応させていただきたいと思います。
1:24:24	はい。
1:24:29	よろしいでしょうか。
1:24:33	それでは別紙の方に、
1:24:39	部品も、
1:24:40	順番にできればと思いますけど、まず、別紙 2-1 の岩盤部分の物性時の設定についてで確認したいと思います。
1:24:48	戸部氏二ノイチにつきまして規制庁側から発言があればお願いします。
1:25:16	うん。
1:25:41	それで、何かわかった。
1:25:44	入力地震さん。
1:25:56	はい。日本原燃のオガセでございます。今のここの②で書いていることにつきましては①からの繋がりはあるんですけども、やはり以前よりいただいているご指摘の中で、ここの、

1:26:08	グループの中の複数の工ないし各建屋の直下のところに地質構造を見たときに、速度境界ってのはやっぱりどうしてもばらつきがどうしても出てくるものでございますんで、
1:26:19	それを果たして平均して処理することに、原燃として問題ない各グループでソウノ、
1:26:24	松澤医師が違うところで平均していいかというような確認をする際にですけれども、やっぱりこの層境界の違いが、この地盤の振動性状に大きく差をもたらすようなものであればそれは別個として考慮すべきであって平均しちゃいけないでしょうとそういうような判断をしなければいけないと思います。
1:26:41	そうなったときに何を指標として、これは一緒とみなして、これはバラバラとしてみなさなければいけないというときの指標として、この地盤の固有周期というところを確認することとしました。
1:26:51	で、なぜそういうふうに、こういう周期に着目したかといいますと、これ前回のヒアリングで口頭ですいませんだけ述べたと思っているんですけども、今回の、あくまで差として出てきているのは、岩種境界のその深さレベルであって、
1:27:03	大体そのインピーダンスの量というのはどの工場の岩種が一緒であればほとんど変わらないというところ、つまりインピーダンスが一緒ということは、入力地震の縦軸の増幅率とかそんなに変わらないということが、思っております。
1:27:15	そうするとやっぱり今回、地盤の層序が違うことによって、地盤全体の等価剛性みたいなやつが変わって、地盤の周期が横にずれてくる、そういう振動特性が違うようなものになってないかという観点でいくと、やはり地盤の固有振動数、固有周期で確認するのがいいだろうというふうに確認、考えて、
1:27:32	これを指標とした次第です。結論として、地盤の層序が、そうじゃないソウノアノ境界のレベルが結構 10メートルとか違ったとしても、全然地盤の層境界固有周期に影響はないということを確認しましたので、
1:27:44	一緒に合体して、平均していい、ポーリンクだろうというような判断をしたというのが、今回考えた、ロジックというかシナリオでございます。
1:27:56	部分だけでしょうかね。
1:28:03	うん。
1:28:09	はい。入力地震動への影響という観点でいきますと、今今回解放基盤から入れて、

1:28:16	建物、
1:28:19	求人さんのヒアリングちょっとすいません。
1:28:23	これ、いつも。
1:28:34	ごめんなさいと途中で出したのもう一度最初から、今か有効基盤からSsが入ってきて、今これ岩盤部分の物性値ですので、建物の基礎下まで上昇してくるというようなところになっていますと。
1:28:46	これがまさに基礎下の入力地震動の何ですかね、そういったところに影響の、に影響があるかないかというところを確認するという観点でいったときに、入力地震動というのは当然周期特性、横軸の、
1:28:59	プレート縦軸の増幅率のブレというところはあるかと思えますと、縦軸のぶれは先ほど申し上げました通り、総インピーダンス量が変わらないわけですので、あまり着目しなくてもこれは同じとみなすことは問題ないでしょう。岩種は一緒ですし、Vsの構成も一緒だからと。
1:29:13	いうところで判断してます。そう協会が変わったことによるその入力地震動への影響というのは、横軸の周波数特性に影響するものだと思いますので、岩盤の保有周期を確認することで、その差が、
1:29:25	乳井になるかならないかというちょっと確認でいいと、横軸の観点での確認で十分であろうというふうに判断したということです。すいませんちょっと不足がありましたが、
1:29:35	おっしゃっていた
1:29:36	はい。
1:29:38	いや、こういう考えでしたが、はい。何か足りないところがありましたら。はい。
1:29:50	ええ。
1:29:51	その差がない。
1:29:58	違う。
1:30:12	優秀。
1:30:25	であれば、
1:30:26	おいしい。
1:30:29	つまりは、
1:30:31	小阪です。簡単に言うと、
1:30:34	固有周期が違うそりゃあ違うでしょうねっていうので、スクリーニングの基準ニワなスクリーニングの一つのパラメータになってるのは、おっしゃる通りだろうと思うんですけど。
1:30:44	その一つのスクリーニングだけで、同一ですっていうふうに、

1:30:48	十分性はあるんですかと。
1:30:50	ということじゃないかと思えますけど。はい。
1:30:54	困りましたはい。日本原燃のオガセです。最終的にはその十分性という観点でいきますと、いわゆる最終的に平均化という処理をかけるわけなんですけれども、
1:31:05	その元データとして、完全に外れたものを使っているかどうかという観点での確認ですので、何ていうんですかね
1:31:20	母集団として扱えるかどうかという観点では、この
1:31:24	ぐらいの確認で十分ではないかと全く同じデータとしてもそのデータは無視していいですという話ではなくて、あくまで平均化する上での母集団として扱いますという観点ですので、
1:31:34	何かあまりはい。
1:31:37	私もそれほど高度な知識、
1:31:40	知らない。
1:31:42	ちょっと議論
1:31:43	難しい。
1:31:45	説明
1:31:46	前回のヒアリング、
1:31:48	いきなりこの固有周期から説明されて、
1:31:55	次は、
1:31:56	こういう場合、これを使う。
1:32:02	飛んでない。
1:32:06	千田。
1:32:15	検層、
1:32:23	へえ。
1:32:28	使えるんだけど使うにあたっては、
1:32:31	フジムラってというようなやつが一つに絞ったというやつですね。
1:32:48	示して、
1:32:53	出して、
1:32:55	向けには、
1:32:58	をもちまして、
1:33:01	へえ。
1:33:07	なぜ、
1:33:13	通常、

1:33:17	おそらく若狭
1:33:20	もう少し、
1:33:26	整合してる。
1:33:30	積めるです。
1:33:42	へえ。
1:33:44	そして、
1:33:49	イシタニて、
1:33:59	どこまで、
1:34:11	説明できる
1:34:17	先生方、
1:34:20	すいません。
1:34:23	ここに、
1:34:29	えっと、
1:34:29	しかも、
1:34:38	ありました。
1:34:44	コサクです。一応十分性って言いましたけどわかりやすく言っただけで、十分で追い詰めるととんでもないことになるんですけど、結局目的何なのかって言うのを、
1:34:56	をとらまえて、その目的が達成できるかどうかという、
1:35:00	こと。
1:35:01	です。
1:35:01	で、極論言うと先ほど言ったように一体二次元でやってみたとかパラメータスタディやってみてとか、
1:35:08	幾つかやって、こっちの方に触れるからこっちの方がいいよねとかってやるのが一番わかりやすいんですけど。
1:35:16	先ほどの5%も同じで、しらみつぶしにやらなくても、
1:35:22	こういう傾向があるというようなことを一つ一つ話をしていけば、トータルとしてこうやるのが、まあいいでしょうっていう定性的判断もできる。
1:35:32	ようなところあると思って、
1:35:34	単純に一つのパラメーターでいけるというのではなくて、
1:35:39	何が影響し得るかということを、
1:35:42	挙げて、
1:35:44	全体として最もらしい。
1:35:46	ということで、ちゃんと説明をいただくということで、

1:35:51	道路設計のものですけど、補足させていただいてよろしいですか。
1:35:55	先ほど岡部が言いましたようにですね、地盤の固有周期っていうのは、
1:36:01	1次元波動論、特にモリイたらセーフですから、SHAKEの場合ですね。
1:36:05	一時35時という、その時数のところでですね、増幅が大きくなるんですね。で、
1:36:12	地盤の固有周期に合ってるっていうことは、その地盤が同じ挙動を起こすということで、その1時35時の大きくなる本当だったらそこは、
1:36:21	一旦切ってきたね、基盤から入るときにはゼロじゃなきゃならないところがあるかと思って。
1:36:27	で、その1時35時っていうところが0になるっていうのは地盤の固有周期ですね。
1:36:33	そうすると、それじゃ、そこはもう決まればじゃあ同じ一番なんだけど応答が違うねっていうのは、インピーダンスが違う。
1:36:42	そうすると、一つの、さっき10分ではないんですけども、その地盤の固有周期で1時さ、3時5時っていう、その期数値数を抑えるっていうことが、
1:36:51	同じ地盤ですねっていう一つの特徴になるんですね。
1:36:55	ですから、これが十分じゃないんですけども、一つの
1:37:00	選択方法、これが合ってる変わってないかっていうことで重ね合わせるっていうことは、それが十分な殊、十分っていう、それが一つの
1:37:11	比較の対象になるんですね、ここだけです。結局、一つでしかなくて、今のね話言うてインピーダンスじゃどうなのっていう話があるからそれを補強するとか、そうですね。何が効くかっていうのをちゃんと言っていたいて、一つ一つ潰し込む。
1:37:25	ということだと思います。
1:37:27	それはもう理論で、出てます。その利用意識を示すだけです。そういうことで、まず一つの1000、一つの選定フィルターとしてはこういうものがあり、
1:37:37	これはこういう理論に基づいてやっていますんで、インピーダンスインピーダンスでこういうふうの違いがありまして、最終的に答えがこうなりますっていうふうなことをご説明させて、
1:37:53	これ、
1:38:01	今、
1:38:03	この
1:38:08	うん。

1:38:09	優秀
1:38:20	これを持ち出して、
1:38:37	はい、日本原燃オガセですおっしゃる通りかと思えますこちらについてははい。そもそもの目的が抜けて、はい。結論、結果のところでは拾われてないのでは記載の方、適正化いたします。
1:38:50	うん。
1:38:52	件数がない。
1:39:21	はい、剣持ですイメージでわかりやすいのだとすると例えば 202 ページなんかをご覧いただければ、
1:39:32	202 ページのところで行きますと、これ図 3-4 図のところでございますけれども、これ左二つ、地質の層序の地質区分とあとVs、これ同じセットの
1:39:44	ものでございますと、一方で右に三つ並んでいるところにつきましては
1:39:49	近くに建ってる建物構築物の直下の地下構造、Vsはえられてない地下構造で、この泥岩と細粒砂岩の層境界がそれぞれ違うところが獲られているというところで、
1:40:00	ございます。近くですし願書同じ構成になっているというところでございますので、この真ん中に書いてあるVsの、
1:40:08	ここだと 2 段ですね、730-800 というところの層境界を 5 分後から上に動かしたり下に増加したりっていうふうはこの赤線とに沿ってやっていると、そういうようなところでございますので、速度の数字自体を動かさずにその境界を動かすというような形でやっております。
1:40:25	ショックの
1:40:29	ユースケースですね。
1:40:52	はい、かしこまりました。
1:41:31	はい。日本原燃のオガセですこちらにつきましては
1:41:36	1 月の 10 何日ぐらいの、ご指摘の際にいただいております。許可では岩盤部分につきましても、いわゆる岩種ごとの主、シンボ依存性というところで物性値を示しているところがございますので、それとの整合性との観点での考察を入れること。
1:41:52	ご指摘をいただいてございました。それに対するアンサーとしてというところで今回記載してございまして、これに判断基準をと言われるとやはり難しくやはりここで許可で出してるのはあくまで岩種ごとのある意味、平均的な深さ依存性、ここで赤線で書いているのは、もうこのグループのもうある意味、

1:42:09	as-isの物性値というところですので単純に比較して似てるにいけないという話をするようなものではないんですけども、そんなに大きく外れているものではない。明らかに違う物性値が物性値というか
1:42:21	VSが出てしまっていて本当に同じ岩種になっているのかとかそういうような疑義が出るような構造にはなっていないと、そういうような観点で、ここではある割と整合しているというところでは記載をしてございます。以上です。
1:42:40	はい。
1:42:46	続けて、98 ページまでに整合してるように、
1:42:50	うん。
1:42:53	うん。
1:42:58	んですけど、
1:42:59	さすがにここは整合するという、
1:43:01	基本的な、
1:43:08	整合しているとか、
1:43:10	全部、
1:43:27	はい、原燃のオガセです。正直、ここではですね整合的だからいいとか調和的だからいいとかっていうところではなくやはり必要なのは、各グループごとに、その厚いずな物性がえられているということが大事だと思っておりますので、
1:43:43	平均に対して例えばこの 144 ページとかですと、カドイシイ凝灰岩の層で少し傾いているそうであるという、各グループの特徴みたいなところを本当は言ってあげるべきで、
1:43:55	合ってる合っていないように言うべきところではないのかなと今は読むと、(イ)ところでございます。
1:44:25	すいません。
1:44:32	総合的に見て、
1:44:53	はい。日本原燃のオガセでございます。
1:44:56	はい。位置付けはもっと最高の必要があるというのはイトウイデございます。
1:45:03	はい。はい。
1:45:07	どうしたらいい。
1:45:18	はい、明石木場。
1:45:25	そしたら、

1:45:26	レシピ
1:45:28	一応、
1:45:29	ハバサキ側の浜崎さんからいただいて欲しい。
1:45:40	井手上
1:45:49	土岐。
1:45:53	どういうレベルで、
1:45:54	定量的に、
1:45:58	基本許可せ、
1:46:04	明らかに、やはり傾向が違うものを、
1:46:07	許可制、
1:46:08	してますとは言えない。それで、
1:46:11	それはじゃあこの前何%。
1:46:17	越冬
1:46:22	あ、
1:46:23	そこはやはり
1:46:25	次にですね、
1:46:28	結果について述べてもらった上、
1:46:31	キャパと、何が一致してるのか、傾きITしてるのが絶対してるのかと。
1:46:39	きちんとやっぱり説明してもらえばいい。
1:46:42	で、
1:46:43	ここだけはどうしても許可と違ってますっていうならばそこはやっぱり我々としてクローズアップしなきゃいけない。
1:46:51	そうしてですね今の、この資料の作り方って、ほとんどみんな文章一緒に副社長ができたことを請願して、
1:47:00	もっと
1:47:01	丁寧に分析してもらった上で、その上で、このハバノツチャオンダが今日、
1:47:08	観点で見てもらえばいい。
1:47:11	と私は、
1:47:13	ました。
1:47:18	今の話で、
1:47:22	じゃ、これ、あれできそうだなって感じですか。

1:47:29	日本原燃のオガセです。基本的に今ハバサキさんおっしゃったような速度がどれぐらいの一時であと傾きも。もともとの許可に書いてるものもそんなにそもそも岩盤で傾きないですので今のPSで設定してるのも、
1:47:43	ものとそんなに、傾きの観点でもそごがないということはいえるかと思えますただ一方で絶対値の話ですね、例えば 144 ページのところにあるところの真ん中の層とか、
1:47:53	そういったところについては、やっぱりあくまで許可のときに出しているのっていうのは敷地全体の岩種に対しての平均的な位置付けで今回はそのグループについての丸井、ある意味、as-is的な位置付けというところで、
1:48:06	何ですかね当然合わないところ合わないというのは当然あると思いますその位置付けをきちんとボットもとでこの観点で比較して、ちゃんとその各
1:48:14	グループにおける、
1:48:16	何ですかね特徴みたいなところを、ちゃんと調和的という言葉だけではなくてきちんと考察して書いてあげることが、対応になるのかなと思いましたがそういうイメージで、そういう、
1:48:29	例えば今 161 ページ見て、
1:48:31	と。
1:48:33	ここで文章は概ね調和的である。うん。こっちに紹介率については、
1:48:38	情報の潮汐っていうふうに、
1:48:42	これ、いいたいことは、赤線がほぼ振動台位してるってことになるんですかね。はい。日本原燃大橋ですおっしゃる通りでそれぐらいのレベルです。はい。
1:48:53	何て言うんすかね。調和的と言っているのはある程度、ちょっと幅を持たせた言い方で大体まっすぐ落ちているのが、多少絶対値が違ってても調和的というふうな、はい。言い方にしましたが、先ほどお願いいたします。
1:49:05	はい。
1:49:07	はい。
1:49:10	なかなか掴みづらいと考えると、やっぱりそこは、
1:49:14	説明することによってこういう観点で見ればちょっといえるかもしれない。
1:49:19	いうところで、
1:49:22	ちなみに今 161 ページですと、凝灰岩のところは、

1:49:26	かなり傾向がある。これ、
1:49:30	要は関係ない、もう上に関して調和的と言ってるのか。
1:49:35	明らかにこの凝灰岩とそれよりも、そのイセんと、
1:49:40	違ってる。
1:49:41	これも調和的で、
1:49:43	根拠はないんですけども、それイマセつで、これにつきましても、先ほどの割とすみません、若干、何となく、
1:49:51	大きく外れていないぐらいのレベルでしか言ってなかったです。それも何て言うんでしょうね、どこが。
1:49:56	コサクです。だから、先ほど自分で言われたように、
1:50:03	前たEを示したものと、局所のものを、
1:50:06	無理くり調和って言う必要もないわけですよ。なのだから、全体でやっちゃ駄目だから局長見ると言ってるのに、全体と一緒にですって一生懸命説明する必要ないじゃないですか。
1:50:19	エリア全部平均しますって、もうやめたんだから、
1:50:23	であれば、そんな説明せずに、単純にこういう特徴があつて、それを踏まえて今後やっていきますっていうふうに、いやいいだけなんです。ですよ。
1:50:32	ただ、マインドが変わってないからこういう苦しい言葉が残るんじゃない。
1:50:37	おっしゃる通り、日本原燃松江さんのおっしゃる通り
1:50:40	ちょうど私が申しあげました通り、各
1:50:42	出野は
1:50:47	出た方がいいですそうしてですね。
1:50:52	傾向っていうのは理解する。
1:50:54	基本的には
1:50:58	いやこういう原因やってませんっていう説明をしてもらえばいいし、
1:51:03	来なくてね、やってますっていうと、
1:51:08	やはり我々として何か別に、
1:51:11	ここ、
1:51:26	そうですね。
1:51:31	ふうん。
1:51:40	説明はないです。
1:51:48	まさに建物の西橋付近から走り出して、

1:51:56	本当に、
1:52:01	理事、
1:52:20	技術県、
1:52:31	して、
1:52:32	へえ。
1:52:36	うん。
1:52:36	はい。
1:52:49	後は、
1:52:51	ただ反映事項という資料。
1:52:55	上宿題。
1:53:08	していただきたいと。
1:53:20	20 倍ぐらい。
1:53:27	うん。
1:53:38	日本原燃のオガセでございます。今、例えば
1:53:42	61 ページとかを、
1:53:44	いただければとですね見ながらちょっとお話。
1:53:54	12 グループのマップでございます。はい。
1:53:57	はい。のところにございますけれども、現時点におきまして、今回先ほど岸野さんにも見ていただきました、各建物の直下の地質構造と比べて、
1:54:07	同じとみなしていいかっていうところの観点での確認というものは、ここに書いております青井建物いわゆる重要系な建物と、あとこういう斜めハッチでかけているいわゆる波及的影響を考慮し、
1:54:20	する施設それらについても見てあるというところでそれらの地質構造ないし先ほど地盤の固有周期という話もしましたが、そういったところの類似性というところで確認をしているところでございます。だからそれらについては岩盤をある意味一緒としてヒトミなしでいいだろうというようなところの判断までしているところです。
1:54:37	今現状として、それがちょっと抜けているというふうな方、言い方になってしまうか、それがゼット周辺のこの網矢印、網かかっているところとあと自所並みかかっている土地 3536 のところになっている。
1:54:51	思っております、これらのところを見ていきますと特にアノ次 14 のところだと先ほどもおっしゃっておりましたSF6 断層とかで区切られるところがありますので、いわゆる今のその地質として同じにみなしていいかというところの、

1:55:04	判断をここはしないといけないところが、それがまだやれてないところしかもSF6 断層があるのかというような話になりますので、ここをきちんと同様の検討でやっていく必要があるという認識でございます。で、最初の話に戻りますが、今のところこの青とその斜めシマかけている建物につきましてはきちんと網羅して、対象としては網羅できている。
1:55:22	いうふうに考えてございますので、これ以上というところは出てこないかなというふうな考えでございます。
1:55:31	そう。
1:55:34	うん。
1:55:36	へえ。
1:55:47	よし。
1:55:49	見られ、
1:55:57	駄目。
1:56:01	断層を挟んで、
1:56:05	オガワのPS検層は、
1:56:09	うん。
1:56:13	優秀。
1:56:40	表現としては、
1:56:43	はい。日本原燃のオガセでございますそこにつきましては、今カバーしているところとしては先ほど申し上げた地質直下の地質が実際どうなってるかという観点で、203 ページ。
1:56:59	203 ページをご覧いただければと思いますが、こういう観点で確認をしていますというところ。
1:57:05	はい。でございます。203 ページにB建屋と、あとちょっと、この、この紙面の左半分はC建屋のいわゆるPS検層、ちゃんと今回、
1:57:15	根拠にしているところでこれ右側に書いてあるところの地質柱状図がP A建屋の直下のところの地下構造を引き抜いてきたものといったところで考えておりましたその時に、こういう速度境界石狩岩木長さんおっしゃったようなこのオレンジの層とピンクの層境界みたいなところが結構どうやらあるような、
1:57:32	というようなところの話は、考え、確認した上で、これが果たして速度として平均化していいんじゃないかというような検討をしているというところでございますので、基本的に建物があるところにつきましては波及のところであってもこういった検討でもって、

1:57:45	同じ母数としてやっていかというところの確認はすでにしてあるというところでございます。
1:57:50	わかりました。じゃあ、そのあたりはきちんと、
1:57:54	反映事項、人事の
1:57:57	西部長。
1:58:04	はい。
1:58:07	はい。
1:58:10	十分、
1:58:15	して、
1:58:22	現時点ですね。
1:58:29	はい。日本原燃のオガセでございますまず先ほど岸野さんにおっしゃっていただいたところBAとかも含めて次 14 についてって書いてますけどそうじゃなくてちゃんと全体対応の一部としてということで対応を記載する。
1:58:40	実際に対応するのは了解です。ありがとうございます。1024 のところのこのSF6 断層とかも今どうやってるかといいますと先ほどご覧いただいたようなピーエイとかでやってるような地質柱状図とかのまず比較をしてあげて、
1:58:52	それが果たしてVSとして同じしてみなせるか、Vsというか地質構造として同じしてみなせるかどうか、そこを今、この中で売られている
1:59:01	61 ページで書いてあります。市場エクスパー(2)以降というところのVsと比較してあげて、その日VS数の構造というのが次 14 でも同じような
1:59:13	味じゃないすいませんSSE6 断層を挟んで北側の方でも同じように見えるかどうかというところの確認をする等をやっている場合は、DBとかでやってるのと同じようなことをやっています。ただちょっとすいませんまだめどが立っていないところございまして、
1:59:27	現在そちらについて検討してございますので、一応方針を言えば同じであれば同じとみなせるというふうに判断しますし、もしこれは全然同じとして見いだせないというのであれば分けることも視野に入れて検討する。
1:59:44	はい。
1:59:45	はい。はい。矢口。
1:59:48	はい。日本原燃のオガセですこれは先ほどおっしゃっていただいたご指摘に思いっきりかんでしまうんですがいわゆる固有値とかの検討でやろ

	うとしてたところですので、地盤のですね、地盤のホリウチとかの検討でやろうとしていたところですので、
2:00:00	そこをちょっと他のところのやり方の見直し、説明性を見直しを含めて合わせて、ちょっとはい。再検討が必要あるという認識であります。
2:00:12	まず考える。
2:00:25	していたわけです。私の方から1点だけ、60ページになります。先ほど話したばらつきの話ですけれども、
2:00:32	土肥松井の状態ですけれども、あと、今日の反映事項のところにも、今後、この50ページ或いは各グループごとにですかね。
2:00:42	ばらつきを記載していきますということなんですか。
2:00:45	例えば60ページの記載っていうのは、いつものこの08の資料のリバイスパンで記載が入るんですか。それとももっと先になるんでしょうか。
2:00:57	はい。
2:01:00	現場の方でございます。えっとですね、
2:01:03	端的に申し上げますと、議会への提出に、大枠の考え方っていうのはもうできたと思います。ただ個別具体の設定っていうのは、その施設の方の設計と一体でやらなきゃいけないので、そちらの方は追って検討しますという形になると。
2:01:19	いうふうに思ってますんで議会副院長の時にそこが入ってくることにはならないと思う。
2:01:23	はい。はい。
2:01:25	納すいませんその後てはいつ。
2:01:28	施設の設計について、検討もモテギする。
2:01:33	時になるので、そのタイミングになるのかなとコサクです。そうすると先ほど言ったその地盤モデルの比較をして云々といったところに乗ってこなくて、話がおかしくなる。
2:01:46	ですけど、その時には関係ないんだばらつきは後にしてくださいっていうと、見通しでの仮メモ取れないんですけどいいですか。
2:01:58	すいません、個別部隊の考え方は、当施設の個別具体のじゃなくはい。
2:02:08	ばらつきも含めてどういうふうなものが標準一般的かそれを踏まえて、どうしていくべきかの議論をせず2回目は取れませんよと言っている。
2:02:17	はい。具体的に何にするかっていうのを聞いてるんじゃないで、

2:02:22	標準的一般的な考え方としてこうよう、感コサクです。ごめんなさい、考え方を述べると言ってるだけじゃなくて、分析をしてください。
2:02:32	次、12グループで、
2:02:34	基盤、基本、地盤モデルと申請モデル等を比較しますと、
2:02:39	いうときに、ばらつきを比較しませんと今言われたんですよね。
2:02:45	じゃなくて、もちろん建屋なり機器の方になってからやりますから、地盤モデル比較のときにやりませんって言うてるのと同期じゃない。
2:02:56	でもそうしたら比較もしてないのになんでそれでいいっていえるんですかってなっちゃう
2:03:00	うん。
2:03:02	バックアップ
2:03:04	基が必要な、元の紙を今とろうとしていると。
2:03:08	根本のKをとろうとし、赤瀬狩野君。
2:03:12	大本の今、
2:03:15	今やろうとしてることは12グループの衛藤オオイワモデルを、例えば設定しようとしていると。その中にグループの1番目で設定した時に、次入力地震動を、一番モデルに基づいて設定しようとするんだけど、
2:03:31	その時に、
2:03:35	等、
2:03:38	その集約をスルーなり、ばらつきなりも、
2:03:46	入れて、入力地震動で起こっている基本ニワモデルに基づく入力地震力かっていうのを決めていくことになる。
2:03:54	ていう認識を私持ってたんですけども、補足です。だったら、データがあるわけですよね。何で入れないんですか。
2:04:02	ネットです。金戸さんが、この資料にばらつきのデータを入れませんかと言ったんですよ。
2:04:08	バラ随分先になります。だけどそれを比較で使わない限り、界面取れませんよという話をしてるのに、
2:04:17	その時に渡しますと、というような言い方をし、話がここから今回あってですよ。多分ちょっとリセットしましょうか。ここの2分間記憶喪失しまして、もう一度やり直します。
2:04:29	はい。
2:04:30	それで、私がちょっとすいません、江藤百恵、ここのリセットで守ってるところあるんですけども、えっとですね、
2:04:40	そう、先ほどのばらつきの議論は、

2:04:45	まさにおっしゃってたようなデータの点数を、バスとして考えるデータを どういう範疇とるか、ということにも水に関わってきて、うん。だから、こ の
2:04:57	データですね、取り扱いとして、ある程度、集めるところ集めるとする のんして、データ点数をふやしてやることにするのか、それとも
2:05:09	この茂原で何らかの考え方を適用してやるのかっていうの、これは今後 検討しないといけないという認識を私は持っているというふうに申し上げ たところでございます。
2:05:20	ですのでそれはいつ、
2:05:26	それをその検討をして来、我々に説明するのはいつ。
2:05:29	今日付を日付じゃなくて、さっきのプロセス図で、プロセスでですか。
2:05:35	プロセスでいうと、私の認識では、基本地盤モデルによる入力地震動を 算定するという、フロー図で言うたら真ん中に一段あるよねっておっしゃ っていたその段階なのかなというふうには思う。
2:05:52	また、その段階だとしたらこの資料に入りますっていうことです。
2:05:58	日本地震だって、先ほどその本文のところで話したけど6ポツ以降の7 ポツ8ポツもありえますよねって話をしている、
2:06:09	その先のプロセスであるにせよ、この資料には入るわけですよ。
2:06:14	はい。はい。
2:06:17	答弁聞いてたのは
2:06:20	基本地盤モデル等を、ての応答を計算しますというタイミングと、そのあ とそれで比較をする分析をするというタイミングと、
2:06:33	その先の申請でどうするかと。
2:06:37	いうところのタイミングとそれぞれあってですね。はい。
2:06:39	考え方によってはどこのタイミングで合流すればいいのかってのはあり 得るのかなと思ったんですけど。
2:06:46	それでちょっと先のところを考えているのかなと思って聞いてたんですが、 どうも手間、一番手前でやると言われているように、
2:06:53	一番手前になるんですかね。だって、基本計画の前の、
2:06:59	応答を求めるときに入れますでしょ。はい。はい。はい。
2:07:03	そういうことになっちゃいますね。
2:07:06	とすると、
2:07:08	介護、今回の会合には間に合わないかもしれないけど次回の会合まで には間に合わせますってことですか。
2:07:15	そうか、基本地盤モデルを設定しまし。

2:07:19	他の時に、そうかそうか。はい。だから 12 グループによる、
2:07:25	ちょっとここは私理解が間違ってたかもしれません。地震力の算定っていうのは、12 グループに対してやるということが確定してるわけではなく、
2:07:36	12 グループで一旦設定したものをもとに、ばらつきのある集約なりの考え方をちゃんと整理した上で設定してるっていうもんだと。
2:07:47	いうふうに思ってください。ここは同じにしコサクです。それは私はそう思ってますけど、そういう資料になってないよねトガサキアノそう思ってるならそう書いてください。そうですねはいです。おそらく管理課もそう思っていないと思うので、
2:08:04	多分、中にそのまま行くんだと思っておられる。
2:08:07	そういうことで多分違う。
2:08:13	うちで、
2:08:14	うん。
2:08:40	固まって、
2:08:42	次のステップ。
2:08:43	全国でやりますという選挙ができるから、どちらですかっていうのが今です。
2:08:49	今でも社内。
2:08:50	来てないなあいけないけど、いけないってことは自動的に
2:08:55	9 月 3 日の会合には間に合わない、分かっている。
2:08:58	会合頑張りますっていうのが、
2:09:03	ありがとうございますけどもう 1 回利用しますっていう状態はない。
2:09:08	うん。はい。
2:09:11	ちょっともう 1 回どうぞ。
2:09:13	アップです。少なくともプロセスをちゃんとして、どこで何を議論するのかいつ確定させるのかと、いうことを明確にしない限りは、いつまでたってもクリアしないで、はい。
2:09:24	それはしっかりと整理してください。はい。では、数字を確定するのはさっきの
2:09:30	99 月はやめて、10 月とかっていうところで、それに向けて、
2:09:36	データは整理をしてくれればいいので、
2:09:39	まずはプロセスを、
2:09:41	明確にして、誤解のないようにですね。

2:09:45	ということが今回タスクなんだ。
2:09:47	うんてます。
2:09:49	そんな時に、今のばらつきの整理というのも、
2:09:53	統合するなら統合するおそらく論点になる。うん。
2:09:57	ところだと思うので、それを明示しておかないと。はい。なんで統合すんのっていうことの説明にならないんだと思うんですよ。
2:10:06	ということである。
2:10:07	漏らさないようにしてください。
2:10:13	表でございます。
2:10:15	だから、私どもが、
2:10:18	以前からこういう進め方かなと言ってるスケジュールに照らすと、
2:10:25	次の次 10 月なりなんなりの断面がそのタイミングになるはずと。必然的にそうなるはずであると。
2:10:34	いう整理だという理解ははい。すいません
2:10:37	今、して申し訳ないです。しました。
2:10:41	はい。選挙ハバノです。
2:10:44	以前の話で大体わかりました。ちょっとその中にグループをお示ししないっていうのは、これは問題が複雑なんでちょっと分けて、12 グループありきの場合も、
2:10:55	どうすんですかというときに、
2:10:57	一つの考えとしては岩種ごとにですね、もう前、
2:11:01	データだから、そのばらつきをするというような、あるかなと思ったんですけども、どうも今のお話を聞いていると、まだどうするか決まっていないという
2:11:11	うん。わかりました。で、9 月 4 日の段階では 60 ページはこの数字のままになるという理解でよろしい。
2:11:21	そうですね具体的な考え方についてはついているのは、そういうことになってる。そうすると、コサクそうすると説明済みじゃないです。
2:11:31	そうだよ。うん。
2:11:33	で、
2:11:36	そうですね。
2:11:39	その中がIIって言っていた。
2:11:43	地震の算定のタイミングで、
2:11:46	初めてここが全部埋まって初めて、

2:11:50	藤純奈。
2:11:57	はい、おっしゃる通りです。はい。
2:12:01	ですから、
2:12:03	そのチーム、
2:12:11	規制庁のタケダ。
2:12:13	教えていた。
2:12:16	当 152 ページを、
2:12:19	が、
2:12:24	下の方の
2:12:27	EW高とG17 直下の地下構造比較されているんですけど、
2:12:33	この右側の図で、
2:12:35	うち 17 の基礎底面がちょうど、
2:12:40	表層両方から、
2:12:42	50 メーターちょっと切るぐらい。
2:12:45	レベルであるのに対して、そこからですね。
2:12:49	20 メーターぐらい近く 15 名ぐらい下まで 257、270 ぐらいの
2:12:55	頭が続いていると、ということが示されています。
2:12:59	けど、実際
2:13:02	ネット周辺の地盤モデルだと思うんですけど、セットでの地盤モデルとしては、Vsは 760 で設定がされている。
2:13:12	ということなんですけれど、中心随分差が、落差が大きいと思うんですけど、これでも問題なしとした理由はどういう検討されて判断されたんでしょう。
2:13:28	はい。日本原燃オガセすみませんちょっと今詳細にデータをすみませんぱっと出てこなくて大変恐縮ですMMRで上げてるとか何かそういうのがあったようなはずだったので、ちょっとそこすみませんちょっと。
2:13:38	確認した上で、はい。
2:13:40	場合によってはその 152 ページの右側の図はちょっと
2:13:44	現実書き換えるとか、これあくまでもすみませんその建屋とかが建つ前の状況のその地質の柱状図だったりするのでちょっとその位置付けを確認させていただきたい。
2:13:54	すみません。徳富。
2:13:56	規制庁の館

2:13:58	谷表彰レベルベースなので、そこは使うことは多分ないと思うんですけど、はい。
2:14:02	ここは適切に表していただければと。
2:14:06	はい、その下に難しくなりました。
2:14:09	似たようなやつでもう1個ぐらいあるんですけど。
2:14:13	そんな時の説明聞いた同じなのかなと思うんですけど。
2:14:18	174 ページ。
2:14:32	172 を見ていただく方がいい。
2:14:40	はい。テイツーなんですけど、
2:14:44	これも
2:14:47	その他のBAとかイイダとかと、
2:14:51	まあ同じ直下で設定したVsと同じものをそのまま上げて設定されてるとは思うんですけど、
2:14:58	はい。
2:15:00	A+から、
2:15:02	ドイツーまでの間のV例数検層というのがあって、多少小さい結果が出ていると。これもそのまま上げていいと判断した理由。
2:15:10	はい。多分何かあると。
2:15:12	御説明基づいていただければと。
2:15:14	はい。日本原燃オガセアノかしこまりました。多分先ほどと同じような理由だと思うのでは、そちらはあわせて確認させていただきます。他にも同様のがないかは、同じような目で確認をいたします。はい。
2:15:25	竹田です。はい。最後のところが大事だと思いますので、はい。一通り確認。
2:15:30	対応いただければ。
2:15:33	端から別紙 2-1 については以上です。
2:15:39	よろしい。
2:15:40	それでは次別紙 2 の 2 について確認に進みたいと思います。休憩を取らない。はい。休憩の発想です。
2:15:49	はい。規制庁の竹田です。衛藤。
2:15:51	それでは、
2:15:53	随分と進んできましたので時間が経ちましたので一度休憩入れたいと思います。はい。
2:15:58	休憩。

2:16:00	で、
2:16:02	振り返り、大分パンクしてるんじゃないかなって感じが。
2:16:07	するので、じゃあ休憩ではありますけど、はい。はい。
2:16:15	時間も時間なので、どう。
2:16:18	その先しましょうかというのは、
2:16:23	再開後に、はい。
2:16:24	こういう、これぐらいでこういうふうにする。
2:16:27	て欲しいみたいなことを、
2:16:28	があれば言っていたら、
2:16:31	そう。
2:16:32	今日はどっか、ここら辺まで家帰ったんだっけ。そう。
2:16:36	そうです。
2:16:38	ヒアリングは提示まで、
2:16:40	はあはあ言うのが基本ですね、表。
2:16:44	ました。
2:16:47	ちょっとあれですね。
2:16:51	別にお時間いただくところをちょっと考えない。
2:16:54	営業運転資金。
2:16:56	いやお時間いただかなくても、もう、
2:17:00	全般的に言われることの相場感わかったので、自分たちでやり直します と言えればそれで終わるんですけど、
2:17:06	これは言われてやりやすっていうスタンスじゃなくなったはずですよ。
2:17:12	ここまでやりました。はい。もちろん、そういう形で、では、前田です。はい。 今日言ったことはすべて本来そちらがやるべきですよ。はい。はい。
2:17:23	なので、その上で、あと1時間ぐらいは、
2:17:27	お付き合いしてあげてもいいですよってということなので、はい。それも含 めて振り返りを、
2:17:32	はい。
2:17:33	15分とか10分かわかりませんが、
2:17:35	はい。
2:17:38	ただいま17時16分ですけど振り返りは、まとめにどれぐらいかかる でしょうか。
2:17:46	10、15ページはハママツいただければと。

2:17:51

はい、規制庁の竹崎さんわかりましたそれでは 10、15 分に再開したい
と思いますのでよろしくお願いいたします。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁、武田です。
0:00:06	原燃の方から、ここまでの振り返りをお願いいたします。
0:00:11	はい。日本原燃野本でございます。謄本とそれからオオバ木製の所につきまして、振り返りでございます。
0:00:21	①番、資料タイトルにおける分析の設定等の記載についてはこれタイトルを適宜見直します。②、現在ですね例えば北井霜田は1アノ、4イシイがを念頭に置いたような、ちょっと記載が出る
0:00:37	検討の流れとして、全体の白子で絵を示した上で、プロセス全体像をちゃんと示すような記載と、いうふうに直して直すということでございます。
0:00:48	③番、2ポツ2施設方針はですね第1回との差分があればそのオープン明確にするんだけど、富士通に置き換えないと。
0:00:59	4番、これ、規制庁、企業、すいません、事業者の考え方としてどういう不安問題意識あり解消するための検討内容、検討内容とするかという整理のを明確に、をするというでこれ
0:01:13	金融界コウノ状態変化2についてのコメントいただいたものを、ネットにちょっとこれこういうことから、返していただいております。
0:01:20	で、5番目状態変化を踏まえた確認事項の整理結果について、内容をですね、ポツポツポツ、三つ書いてございますけれども、等については最終的にはアクセスの結論が示されるという
0:01:33	やらないということではなくって、深堀
0:01:38	番場の間のもう1、プロセスがいると言ったようなところの、記載がわかるように記載修正ということと、
0:01:58	6番、MMRの扱いについて説明を行うことということで、また記載箇所については、検討を行うことということでございます。
0:02:08	で、7番、尺等の文献に示されている内容について、引用してる内容と人間の解釈、についてはアノをちゃんと書き分けなさいということでしたいております。
0:02:20	8番目オカ柳生土木構造物のその中にグループ近傍で2、やりますなんてちょっと
0:02:27	もう現地での、
0:02:30	夏になるように、
0:02:32	⑨番。
0:02:34	看護基盤以深の5000対
0:02:40	10番、合成の非線形性

0:02:42	第1回の考え方なんかの一般的な考え方であって今回は、それを踏まえて、フカホリでこうやりましたといったようなちゃんと考え方が整理できたような形で、資料の記載を見直すこと。
0:03:06	内容が含まれていると。
0:03:12	各医師の検討の結果を、を示す際には、
0:03:17	もう、
0:03:24	今後追加され
0:03:28	た章として、議会で、
0:03:30	反映する。
0:03:32	今後の検討で、
0:03:34	これCHASTE
0:03:35	で評価分かれるよねと、いや、おっしゃっていただいたところ、
0:03:38	あります。
0:03:40	別に、
0:03:44	はい。スズキ間岩盤部分の分析等の設計についてでございます。直下にPS検層がない施設に対する適用性についてはまず定性的な内容での説明を検討と。
0:03:56	ということで、そうでない場合はこういう周期でのヘッドホンによる説明の十分性について検討
0:04:03	を、説明の方針を再検討しなさいと。
0:04:07	で、次、15番目こういう周期による、同じじゃこういう周期による確認を行っている場合、近傍のPS検層が使う前提で計算されている。
0:04:16	あれば麻生。
0:04:22	して、今回、
0:04:26	喜多垂門であると、いうことを踏まえまして、
0:04:29	許可で示される平均的な
0:04:37	無理に整合的だというようなことを、ポツ、
0:04:40	じゃなくて、
0:04:42	キタニすることと、いうことでございます。
0:04:45	17番で、グループ内の画像
0:04:48	となるところが出ている可能性がある場合はその影響があった上で、
0:04:56	人を説明する
0:04:59	だから18番目、直下基礎構造の確認をされて浅部
0:05:07	Aの基礎下の、その速度の扱い、異議の周辺の

0:05:18	ことになって、
0:05:20	江藤フルタ理事でございます。
0:05:27	イマセ規制庁。
0:05:46	あと、清清。
0:05:51	一応書いてある。
0:05:53	要は、ないに調和的だとか、
0:05:58	出ない。うん。
0:05:59	そういうところを見て、どう判断するか。
0:06:05	何が何でも許可と合ってなきゃいけないっていうわけ。
0:06:12	差分があっても
0:06:23	今日はちょっとせずに、
0:06:33	ボンボン
0:06:35	のところをどうすんだっていう
0:06:38	はい。
0:06:42	そうですね。当然たEのところで入れた方がいいなと言いながらちょっとあれでばらつきっていうのがあれなので、こっちは、
0:06:52	あそこではないんですね、要は話ですね、今の。
0:06:59	さっきの話、10月。
0:07:02	そうなると会合資料においても、
0:07:10	下水は作業としては、
0:07:17	衛藤本間のばらつきについて、
0:07:20	の検討ステータスをちゃんと明確に、これ資料の中で表すことと、
0:07:27	ことではあるし、
0:07:29	ないんですけど、まずは話をした通り、10月、
0:07:35	浪速区自治会以降の会合での説明をします。
0:07:41	次回介護者によっては、まだ番場も、
0:07:46	検討中というふうにします。うん。
0:07:50	まず書いた上で、
0:07:52	その次に私の質問は本当にそれでいいんですかって話なんですけど、そんな。
0:07:57	ちょっとしたことで、
0:08:01	その検討全体が後ろオープンなってるっていうことになっちゃうんですけど、本当にそんな資料で次の会合をやるんですかっていうのは、次の
0:08:15	またあれなんですね衛藤。

0:08:20	ドイツをどうまとめるっていうのが決まらなるとばらつきをどうこうとるから好きな議論を、設計上の取り扱いの範疇と扱って、岩盤の話。
0:08:34	の扱い等、ちゃんと丁寧に書き分けるっていう手はあって、その辺をどうしますかっていう議論だと。
0:08:41	余りに加久藤坂野なんか、後に戻ったような印象を与える書き方をするのがコサクではないんじゃないかっていうのが、今のご指摘だと思うので、そこは一度持って帰って、書き方を検討してもいいんじゃないかなと思うんで。
0:08:57	そういう書き方にしてもいいんじゃないかなと思うんですけど。
0:09:01	規制庁コサクですけど別に統合するとかっていうことまで言わなくてよくて、それは比較した後についてのことだから、
0:09:09	今回いうことでもないし次回いうことでもないですよ。
0:09:13	次、次回、
0:09:15	次。
0:09:17	次。
0:09:18	企画も自治会あるんでしょう。学校、自治会がみずから自治会、
0:09:24	なので、そういうことを検討しますだけ言えばよくて、一方で、検討するにあたって、基本地盤モデルどうすんですかっていうところの設定方針を当然言わなきゃいけないし、
0:09:36	データがあるならデータも示してもらわないといけない。
0:09:39	うん。
0:09:40	ということなので、
0:09:42	データがまだまとまってないんですって何で言うのかなっていうのが2本あっじゃなくて、更新資材数値が変わるだけの話っていう扱いか。
0:09:53	基本はでも基本地盤モデルにおいては、更新何もなくてただ計算するだけなんですよ。
0:10:05	だからばらつきは研究所最終的に入るところ。
0:10:09	から、ちゃんと書き方をちゃんとすれば違和感はないんじゃないかっていう話かな。
0:10:17	今みたいに、
0:10:19	夏場に、
0:10:20	僕に住んでいる方でちょっとありますよ。
0:10:23	うん。そういう。
0:11:18	まずまだいまいちきっちり入れてないけど、この書き方で買って欲しい。これ3%今チェックしました。

0:11:26	不確かさ
0:11:29	説明の全体像、1、
0:11:31	した上で、
0:11:39	イマセっていうのはなくして、うん。
0:11:45	要は理解されてる藤堂 2000 から企画課だけじゃないです。
0:11:59	今後は、
0:12:03	全中じゃないさい。
0:12:06	振り返りがやけになかったんで、
0:12:09	私も今の会議は、
0:12:13	同じように、
0:12:14	でも、
0:12:17	今の場合、
0:12:19	逆にちょっと今、ばらつきの話と、
0:12:22	ちょっと幾つかコメントあったのは、
0:12:26	違う。
0:12:27	私のメモさ、
0:12:30	どちらかというとちょっと細かいこと聞かない。
0:12:35	なんで、
0:12:37	改善したのかよく。
0:12:43	古作ですけど私の勝手な想像ですけど、技術的なところは自分の領域だから、
0:12:49	概念的なところは増えてたから、意味がわからず、うまく文章、
0:12:53	それだけじゃない。
0:12:56	います。
0:13:04	はい、大丈夫ですか。
0:13:07	イセ。
0:13:14	アート本部で赤間布施ノモトです。はい。はい。
0:13:22	16 番。
0:13:26	ユースケースを進める前提で計算されて、
0:13:30	は、はい、二本木オカ先生おっしゃる通りです。
0:13:33	BSケースを使っていることを含め、計算。
0:13:49	こんな感じでよろしいでしょうか。はい。
0:14:00	11 番。
0:14:06	あ、合成の支援件数の話ですね。

0:14:09	第1回の規制ちゃうんです。第1回の考え方が何番と一般的な考えであり、これ私の方で出したので、
0:14:20	その時には言わなかったんですけども、追加で
0:14:25	記載してもらいたいですけども、さらに今回、
0:14:30	状態変化、要は基準地震動が大きくなったこと。
0:14:36	にもかかわらず、
0:14:39	今回は、今回はその考えを見直す。
0:14:43	あるんですね。
0:14:46	一般的であり、なおかつイセんですが、地震動が大きくなった。普通それだと、より非線形化を考慮しなくちゃいけないと考えるにもかかわらず
0:14:56	あえて先決する理由。
0:14:59	はい。はい。
0:15:01	はい。それを、
0:15:04	本部本部ですね、本部の、
0:15:07	の制定ところに、
0:15:09	をしたい。
0:15:17	はい。
0:15:19	しちゃうんだけどちょっと先ほど、減衰の件。
0:15:24	ごめんなさい、ばらつきだけ。
0:15:26	ステータ数を確認したいんですけども、さっきもちらっと言いましたけれども、ばらつきの考慮の方法の一つとしては、ラッシュごとに、
0:15:37	要は申請地盤の、
0:15:40	松木をそのまま使って持ってくるという考えが、
0:15:43	ますよね。一つ、
0:15:45	ざっくり。
0:15:46	それとはまた別に、ここのグループごとに、各岩種の、毎月、
0:15:54	ね。そうすると、各グループごとですと、
0:15:58	例えば、
0:15:59	バランスQコールばらつきの数、評価するだけの十分なデータが足りない。
0:16:05	だから、このグループは足りるけどこのグループ、足りないとか、さらに追加するだとか、
0:16:10	そういう考え方もあるということなんですけども。
0:16:14	留年は今そういう検討さしているんですか。

0:16:18	これから数。
0:16:19	現状、バランスに関しては、どれをとる、とですね、その選択費が何があつて、ちょっとどうしていこうかという議論は、やっているところですけども、
0:16:34	まだちょっとご説明できる状態で、そこまでいってないっていうのはそういう状態でございます
0:16:40	はい。院長。はい、わかりました。
0:16:44	何。
0:16:53	振り返りについて確認はございますでしょうか。
0:16:58	よろしいでしょうか。
0:17:01	それでは、本日の議題としてはまだ続きありますか。この後どう進めるでしょうか原燃の方で考えがあればお願いします。ちょっとすいません時間が本当にお聞きします。申し訳ございません。
0:17:15	ですね本来でしたら後、三つのですね1について、ご確認、
0:17:21	黄疽いただくべきところがちょっと時間も時間なんですけれども、ちょっと我々の方からですね、ちょっとそれでここだけは、
0:17:33	ちょっと確認させていただきたいといいますか規制庁さんの受けとめをお聞きしたいと。
0:17:39	いうところをちょっとお聞きしまして、規制庁さんからもですねちょっと下に対して、最近ここだけはどうも認識が切られるだから正したいというところをちょっと
0:17:53	短時間、少しいただくといった形で、今回はそこまでやらせていただくという形でいかがかというふうに思います。
0:18:05	そちらから、
0:18:07	THAIことってというのは構わない。
0:18:09	ちょっと、
0:18:13	何とも言えないんですけど、これだけやればいいみたいになっちゃうのもあれなので、
0:18:18	ここだけは元の認識が間違いなくちょっと違うんじゃないかと、もうご懸念のところがあれば、
0:18:27	ちょっと聞きできればというところではございます。
0:18:33	まだそこまでの確度でできてないんじゃないかなっていう感じだし、
0:18:39	そういうことでしたら、ちょっとこちらから実際クドウだけちょっとうかがわせていただいて、あと我々の中で、もう一度ちょっと揉んで参りたいというふうには思います。

0:18:51	はい。まず、
0:18:54	きちゃうわけです。最後でいい。ちょっと
0:18:57	今日付の新海でございます 8 月 4 日の資料の件で、2 点ほど事実確認をしているところが、これは最後。はい。
0:19:08	出しました。
0:19:10	そうしますとですねちょっと元カーで恐縮なんすけどもまさに今ちょっとおっしゃっていただいた 8 月 4 日のですね、
0:19:20	降灰のペーパーですね。
0:19:23	ちょっと
0:19:24	冒頭でお話ありました、3 ページですね、我々減衰の検討の、
0:19:29	プロセスといいますか、考え方を、これ、かなり我々、自信持って作ったつもりであるというところがどうや全くちょっと悪いと。
0:19:41	用語反応ではあったので、ちょっとそこがうまくやはり我々ちゃんとできてないかなというのがちょっと心配したところでございます。
0:19:51	我々これの意図としては、前回以降ですね、その下水に関する検討事項を網羅的に抽出したんだけど、
0:20:04	ポンプローズってどっかからのスタートがあって、インプット情報があれば、はい。
0:20:13	パーンへ。
0:20:15	4%。
0:20:18	なると思うんですよ、これ。
0:20:20	どっから始めて、
0:20:22	何が出てくるんですかっていうのは、全然見てわからない。
0:20:26	でございます。そうですね出発点があるのではなくてですね一番上のですね基本地盤モデルにおける下水道させて、ここに向けて、各パーツが、
0:20:37	どういう関係性でどこに着目して、その目的に向かってデータを集めていくかといったような頭でこれは作っておりました。
0:20:47	はい、じゃあ、そのように基づいて今多分 5%です。
0:20:54	はい。
0:20:55	今多分ですね、基本地盤における先生。
0:20:59	出口であると思うんですけど、はい、じゃあ、目標としては細江都築ですか。
0:21:10	まずとっかかります。

0:21:11	どうやって辿り着く
0:21:13	かといいますデータそのものは下から上がっていくものになるんですけども、一番江藤はい、そこもわかんないっすよね。
0:21:23	普通広げると書きたくないんですか。
0:21:31	そうですね。
0:21:33	そもそも、
0:21:35	定員をなしていない。
0:21:37	体系図の手を出していない。
0:21:40	橋野。
0:21:47	こうしたら、最終目標に繋がる検討のフローではないよねというものですね。
0:21:53	これはね、
0:21:55	背景、
0:21:59	そんな感じ。
0:22:01	そう感じですかね。
0:22:05	だから、花粉雑はい。
0:22:08	そうか。
0:22:12	えっとそれぞれの検討の、
0:22:15	ここのな、そうですね。
0:22:18	中にちょっと、どこに着目して、これを補強してっていうの、
0:22:22	聞かしたつもりなんですけど、ちょっとこれはこれでいいかっていう質問に対しては、うん。じゃあ、実際に具体的に数字をまず当てはめて、
0:22:34	ていうのがある。
0:22:36	Dですか検層だって、大体これぐらい取れるだろうと。
0:22:41	仮で案内を入れて、今、目指しているところに、
0:22:46	たどり着くか代入して、本当にその順番も含めて、正しくそこはたどり着くのかっていうのを皆さん学会として、
0:22:57	矢印で、
0:22:59	矢印出先も含めて、本当にちゃんとパーに流れ着くなんていうところをまず検討してみたらいいんじゃないかと思いますけど、そうすると、ちょっと大分、
0:23:11	表の感じは変わってこないと、その導くような図にならないんじゃないかなと思ってます。

0:23:19	ありがとうございます。辨野でございます。最終の目標にちゃんとたどり着けるような検討フローになってないよね。
0:23:29	おっしゃっていただいてシバタヒントいただいたんだと思います。ちょっと我々の中でもう一度議論してみたいと思います。
0:23:36	期待を
0:23:38	はい。
0:23:40	私からちょっと一つ、喜多片野以上でございます
0:23:45	衛藤小阪様。
0:23:49	そうですか。
0:23:51	一応説明。
0:23:53	理解していただこうと思ひまして、
0:23:56	ずっと文章、
0:24:00	3、
0:24:01	構成も変えまして、
0:24:03	まず最初はその、
0:24:07	全体的な、
0:24:09	施設品質できてますよっていうのと、あとはちょっと西ヒガシを分解して、
0:24:14	それぞれですね、
0:24:19	会議モデルが平均の中に入れば、
0:24:23	ちょっとモンテカルロシミュレーション外に出しちゃってですね、こういうもので検討したっていう絵がですね、393 ページにちょっと患者さんに何か、
0:24:34	ちょっとポンチ絵でもいいから、わかるようにしてくださいっていうんで、
0:24:38	こういう絵を作ってみたんですけども。
0:24:40	ちょっとこのAの説明をですね、させ、
0:24:46	それぞれですね、まず、風シミュレーションでやって、
0:24:50	この真ん中の黒い線と、
0:24:52	両側ですね、完全相関の波線ですね、プラスマイナス安心。
0:24:57	結局、これ正規分布、
0:24:59	もししてるのであれば、
0:25:00	モンテカルロみたいな、ばらつきをもってしてやれば、これは Σ でばらつきをもってしても、持ってきて、
0:25:08	下から言って、全体的に 1000 名はですから総合的に揺れるんで、

0:25:12	平均無線に落ち着いていくっていうのが、シミュレーションの結果なんです ね。
0:25:17	この姫路の結果の中で、それぞれ青がですね 1990 年井清、赤が 2000 年以降の、
0:25:25	平均背景海域がですね、この分布の中に入ってるのであれば、
0:25:30	最終的にはですね、設計の段階ではですね、±ワンシグマを考えてで すね設計上は、ここで出現する、
0:25:41	事象というのですね。
0:25:42	説明できて、この中で、この中でこの中に今、ばらつきを持っていれば ですね、今回設定する値でいいんじゃないかということを説明しようとし たんですけども、
0:25:53	ちょっとその辺が、ご理解いただけてるかなという。
0:25:58	強化。
0:25:59	ご質問いただければ
0:26:02	確認したんですけど、
0:26:12	全部きちんと読んだかっていうと、まだ、
0:26:16	前回の後、
0:26:18	この前のバージョンの資料を見て、
0:26:22	何かいまいちだな。
0:26:25	生み出しながら
0:26:27	まず 376 ページぐらいから③の資料始まってます。はい。はい。
0:26:35	日本語め埋め戻しをしましょう。
0:26:40	1.1 での状況を説明しますということで、昔は多少やり方は違ったんだけ ど、こんな感じであると。
0:26:54	17
0:27:00	その次に、
0:27:04	2.1. 386 ページ。
0:27:08	まして、
0:27:10	については、
0:27:15	弁護士。
0:27:19	井清を実際ボーリング図、
0:27:22	ボーリングから持ってきました。
0:27:25	そうしました。

0:27:28	そうですねまずですね、全体的にこういう管理を押してます。こういう基準で作ってますってところをご説明した後にですね、
0:27:39	実際にその埋め戻しとってというのはどういうふうに、この段階で、実際に事業許可申請書の時で設定したのかというのをここに書いてございます。ここで書いてるのがですねデータセットといったこの前からもちょっと、
0:27:52	どういうことだっということなんですけども、これジーゼルというですね、意義ある特性を出すために、使うデータの
0:28:04	セットっていうカセットっていうか、Dたの、必要なデータですね、それを今データセットって言ってるんですけども、これは先ほどのちょっと最初の本文の方にも入ってたんですけども、
0:28:15	ダウン、大分でいいのかどうかって何なので、ミイて言ってニワマーカで、こんな感じでやっていますよってということで、事実関係ですよ。ですね。
0:28:25	もともと、
0:28:27	管理してましたって設計においては、
0:28:29	許可段階ですか。
0:28:33	そのあとに、388 ページ。
0:28:38	いえ。
0:28:40	育成っていうのが出てきた。
0:28:43	ね。はい。施工年代に分かれて、
0:28:49	2.1. 1 で、施工年度別でした。2.1. 2 では、何も、
0:28:57	そこには触れずに許可では一緒くたにやりました。事実関係 2、
0:29:02	2.1. 3 になって、本当にこれ、そのまま敷設工事、
0:29:07	一緒に扱えるかどうか
0:29:08	かが、
0:29:11	3D、
0:29:20	これと先ほど言っていた、
0:29:24	運転管理、
0:29:26	なぜやるのかっていうところの繋がりが、全体によく見えなかったなあと 思う。
0:29:36	例えば 300、
0:29:37	18 ページの、
0:29:39	青、赤、

0:29:41	見て、
0:29:44	どういう問題点があって、その
0:29:49	この後の検討に繋がっていったのかってというのがよくわからない。
0:29:55	すみません、です。当然関野でございます 388 ページなんですけども、
0:30:01	これ先ほどの事業許可でですね一色単にして回帰をすると、実線と破線ということでG0 が設定されますと、これを見ると、ある程度のばらつきを持っているんですけども、
0:30:15	こういうようなばらつきを持っていたとしてもですね、今ここに、このこのばらつき、このばらつきっていうのは、
0:30:21	ここにも書いてありますけどもシマtがですね標準誤差ですね、プラスワンシグマが 47.6 っていう、
0:30:29	ばらつきを持って、その正規
0:30:33	分布をしてるというのが、もともとのモンテカルロシミュレーションの結果なんですけども、このぐらい分布しててもですね、200 個のケースをまわしたとしても、
0:30:44	全部が平均値で出した答えと同じぐらいになってしまう。
0:30:48	この分布を考えたんですね。
0:30:50	そういう結果になってしまうということで、ほぼこのぐらいばらついてても、平均になるでしょうということが一つ言えます。あともう一つはですね、この破線で書いてるのが、実際に±ワンシグマの完全相関という
0:31:04	ここで言いますと、一番設計としては、一番低いや低いやつ、合成の場合は低い高いっていうのは、強度じゃありませんので、一番周波数体がちっちゃくなるのが一番低い方で周波数体が一番大きくなるのはG0 の、
0:31:19	高い方ですね、この中にですね、平均値、ここで言うところの平均的なものが入ってればですね、最終的な設計ではですねこの破線のところまでの、
0:31:31	設計を海峽して、背この破線のところで回帰した設計値までを用いれば、ほぼほぼ、実際に表、ここで現れる現象というのが、
0:31:42	すべて網羅できますよというのが、そのモンテカルロシミュレーションの二つ目の結果、
0:31:48	お示ししている結果となります。そういうものも含めると、この程度のばらつきを持っていたとしても、実際には平均値で下、平均値を使ってもいいだろう。

0:31:59	或いは±アンシグマっていうのを設計時の時に使ってやってそれでその中に、それを網羅してやれば、設計としては包絡できるだろうということで、二つのモンテカルロシミュレーションをやらしております。
0:32:17	はい。
0:32:21	なので、条線の黒破線のばらつきという場合は、シフ。
0:32:28	を見ておけば、
0:32:32	もう、
0:32:35	お墓、そしてそのそれらのばらつきを踏まえた状態でも、
0:32:41	フローティングの破線の中におさまりますって言っているんです。
0:32:48	ばらつき含めても、はい。ちゃんと収まります。
0:32:54	それがですね、393 のところの、
0:32:58	なんですかけれども、といえますか
0:33:01	2-1-3-70 というやつで示してる絵なんですけど、実際この黒破線の中に、
0:33:09	宇都赤野。
0:33:11	全海域の海域が中に入ってますね。この±ワンシグマ
0:33:17	ということはどういうことなのかというと、
0:33:19	参考でつけております。
0:33:29	でしょうか。
0:33:31	ちょっと参考 4、4。はい。参考の 440 ページなんですけども、
0:33:36	これ、これがですね、
0:33:38	この 393 ページを、の答えを示してるも、モンテカルロシミュレーションの結果ですので、ちょっとここと紐づけして、
0:33:48	ここで説明させていただいてるんで、
0:33:53	440 ページは、
0:33:56	何かこれに綺麗に点線の中に収まってくれてるとそうなんだっていう。
0:34:02	こすなんかそういう感じにも見えないんですね。
0:34:05	この赤で書いてあるのが、
0:34:08	平均値で、緑と青で書いてあるのが±ワンシグマですね。
0:34:14	それが完全相関の患者さんってここで言うときに、ここで言う、
0:34:19	マイナス側の黒破線とプラス側の黒破線の結果なんです。ここにしかもう内、ここまでの事象しか出てこない。

0:34:28	このばらつきを持ったデータからすると、当該時点ではここまでの事象しか出てこないということなので、これ最終的に設計の時に±ワンシグマを考慮する波が、赤と緑で書かれて、
0:34:41	平均で設計するときの赤で、ここに出ててそれにばらつきを持たせたとしてもほとんどグレーのところは、ばらつきを持ってたとしても同じ応答しか示さないというのが、
0:34:52	シミュレーション結果ということになるので、最終的に設計段階でこの青と緑色までを含めてやれば、
0:35:01	当該時点では、表、現れる事象というのが全部再現されて、それで、その中に収まっていれば、その建物、そそのまあ、ここでいうと、
0:35:12	その上に出てくるFRSとかっていうのはこの範疇に入るんですよっていうことになる。
0:35:18	うん。
0:35:21	440 ページで言うと、
0:35:23	例えば短周期側なんかも、青と緑をメインに千賀さんもホデてですけど、これは何て言ったでしょう。
0:35:34	今、440 ページの、
0:35:37	青とわかる。
0:35:39	それどっちが、えんじの水辺の方でしょうか。
0:35:43	上の方で、上の方ですか、水泳ですね、杉江アオキですね、青と緑がプラスマイナスの安心ですね。
0:35:51	はい。
0:35:52	これより上、
0:35:54	これ、包絡されるんこれこれをここまで設計してけば、全部、さっき、この赤っていうやつが許斐青と緑で崩落されているので、
0:36:04	はい。平均を使ったら、見えない。
0:36:10	例えばコンマ 1Hzのときですね、見ていただきますと、赤池も今日記述はするんですけど、短周期側とかは、青と緑、赤だったり、
0:36:20	黒がそれに出て、見えて、
0:36:26	0.06 から 0.08、
0:36:30	9 番。
0:36:33	じゃれ 0.2、一番一番北もそうだけどね。
0:36:40	し、シミュレーションですよ。このぐらいの幅が出るんですけども、
0:36:45	うん。いやそれを省略したら、
0:36:48	いやそのぐらいの差っていうのは、

0:36:51	安全、
0:36:51	吸収されるんです。
0:37:01	難しい、それがわからない。
0:37:03	コサクですすみません、そもそもこれ、ばらつき云々って書いてあること自体が、我々の懸念してこのデータを適切に入れたものなのかっていうのがよくわからない。
0:37:14	何か回帰して何してとかって言って、加工したDたで一生懸命上で説明されちゃうから、
0:37:21	438 ページにございますけれども、
0:37:24	これがワシグマ値をですね、ばらつかせる、ランダムにプラス、ばらつかせたデータを一つのケース、
0:37:34	ごめんなさい。
0:37:36	ワシグマのものをばらつかせたっていう意味がわからなくて、今回は
0:37:42	測定されている直下の或いは周辺のデータを愚直に使いますっていうのが基本コンセプトじゃないですか。
0:37:50	そうした時にそう使いませんって言うてるんですよね。いやそのデータの統計量として、確率密度関数があります。ごめんなさい。だから、統計量としてってなぜ言うんだっていうことがわからない。
0:38:05	言うてる意味が私の
0:38:07	開催成長が今は表層の話なので、1990 年以前と、2000 年以降を一緒に扱えるかどうかっていう話、ごめんなさい、もうちょっとちゃんと言いますね。
0:38:20	単純に言うと、一般人ですよ。私、専門じゃないので、一般人が見て、ワシグマより外のところにプロットしてますね。
0:38:32	で、これもう、しかも平均ですと、
0:38:35	ということですよ。
0:38:36	ざくつと言うね。はい。あと平均が外れているのに、なぜ外れていいんだっていうと当然石油ですが、例えばその 2-1-3-6 図で、平均が外れてるわけですね。
0:38:48	で、これ平均が外れても、
0:38:50	結局、地盤を伝わってきて表層ニイツに行くときには、この海域、ここで言う、青の実線、ございますけども、この青の実線と、
0:39:01	同じ、同じこの青の実線が入られるのと同じ応答を示すと。
0:39:07	ごめんなさい、古作です。その意味がよくわからない。

0:39:11	それが一番最初のモンテカルロシミュレーションで示してるやつなんですけども、
0:39:20	アノコサクです。単純に言うと、この点で入力して計算をしてみました。
0:39:27	それと、この線で計算したものと変わりませんって言うてくれれば、わかりました。なるほどって思えるんですけど、基本的に同じことです。
0:39:35	うん。ていうのを、はい。
0:39:37	説明してもらえません。わかりました。はい、承知しました。ちょっとですね数字的な話をしてるんで。わかりました。今おっしゃられたことがわかりましたので、
0:39:49	ここで今交点ってところに3関係になってますけどもそれを入れたときに、もうほとんどここで言うところの平均と同じような答えが出ますっていうやつをちょっとシミュレーションしています。はい。
0:40:01	規制庁コサクですっていうのも、この実線を引き直してること自体が、あくまで、
0:40:08	仮定じゃないですか。
0:40:11	何でそれでいいんだっていうところ。
0:40:13	から派生しちゃう、疑問なので、そこから潰してもらえると、理解ができるか。はい。わかりました。ちょっと、
0:40:22	大大井解析は、
0:40:24	しています。はい。コサクですっていうのも、この場合は更正引いてますけど、別の前のデータの縦に何本か線を引いて、インプットしますっていうパラメータがあるじゃないですか。
0:40:36	はい。あの前違うんですけど、当然ですけどもともとのその直下モデルって言ってないと。
0:40:43	で、
0:40:44	コサク磯そういう時に、これを見ると、
0:40:47	10メーターから下って縦に1本じゃないのっていうふうに見えるんですよ。
0:40:52	はい。これはですね、一方、
0:40:54	現行の産経なんで、
0:40:57	どうしてもこれなっちゃう。
0:40:59	うん。200、300、391 ページですね。
0:41:04	2-1-3-5 図の、
0:41:06	左側の絵を見ていただきますとこれもちょっと、これ1本だけっていう、今私が言ったことも、

0:41:14	今度の追加のですね、ちょっと調査をほっとしたいと思っておりますので、はい。はい。
0:41:21	ということなんでちょっとこのデータはやっぱりちょっと偏りがあってですね、最終的にはその統計的には、平均に落ち着くんですけども、ちょっとこういうことで、ばらついたデータを拾ってきちゃって、うん。
0:41:32	含めてちょっと、
0:41:34	はい、古作です。そういうことが大事だと思います。はい。
0:41:38	さらに言うと、他の
0:41:41	ちょうどばらついてるってのよく説明してくれてるなっていうのが、384 ページ。
0:41:50	これもパラメーターとしては、粒径、
0:41:53	のパラメータというだけですけど、
0:41:55	これ昔は相当ばらついてるのねと。
0:42:01	2000 年以降は管理の仕方っていうのが整理をされて、ある程度、
0:42:08	同様の仕様になる形にまでなったねと。
0:42:12	といっても、時々ずれるのね。
0:42:15	ですね、いうのがよくわかるようになって、
0:42:19	よくわかるようになったからこそ、
0:42:22	大きくばらついてるときと、ある程度固まってるときで、
0:42:25	同じなのって、
0:42:27	いうのがよくわからない。
0:42:29	はい。
0:42:30	今の二つ、当然関野んですけども、日下さんの質問に答えるべきはですね、427 ページをちょっと見ていく。
0:42:43	の、これ今、久野は、
0:42:48	384 ページのですね、四角で書いてあるのが、PT-3 というやつなんですね。
0:42:55	これKB-3 とすごくばらついてるように見えますよね。うん。うん。でも、実際これ先ほどのですねGO の、
0:43:02	会計のやつに乗せてやると、大体平均のところ、はい。
0:43:06	ですよ、これ左側なんですよ。ちょっと自分の思いはある。
0:43:12	このKT-9 というやつもですね、

0:43:17	ここでもOneシンボの中に入ってきているということで、これだけ青がばらついてるように見えるんですけども、G0の答えとしてはですね、この赤で入ってる中新統ものの平均と同じような
0:43:30	もので入っているんで、このこのばらつきぐらいだとすると、G0ってのは平均に入ってくるっていうのが、
0:43:37	ちょっと今、このデータだけではですね、そういう結果がとりあえず見れるかなって。これで見えるんですか。僕はそう思ってます。
0:43:45	長コサクですけど無理ですね。
0:43:50	少なくとも文面ではしっかりとこれが限られたデータであって、他のデータ講座等こういうふうに会計にちゃんと載るんですと。
0:44:01	いうことを何らか言わなきゃいけないって、そうすると、追加情報って必要なんじゃないのっていう感じ。
0:44:07	なるんじゃないですかね。
0:44:11	当然設計のベースは、おっしゃってることはよくわかりますので、
0:44:15	その辺のところはですね、もう少しちゃんと解釈して、できるだけ、
0:44:20	わかり、
0:44:22	はい。
0:44:29	今言った話ですね。
0:44:31	何が。
0:44:33	ちょっと不安なところがあって、
0:44:36	予算としてはかなり自身も、
0:44:41	ことなんだとは思いますが、一方で、こういうところが考えたら、次の、
0:44:48	町村に表層のデータ、こういうところ、
0:44:52	それをこの図の、
0:44:54	にプロットしてみますと、いう時にこの辺に入ってるといいなっていうところまでイメージ、伝えてもらえるとその次、何をやるのかと。
0:45:04	今の表層において何が足りないのか。
0:45:09	そういうところも、
0:45:13	はい。
0:45:16	今日の午後の最初の方で、
0:45:19	競争も、ついでみたいな感じじゃなくて、データとかなきゃいけないんだと思っている。
0:45:29	どんな実験もですね、

0:45:31	何が足りないのかがわかって、深町深見ですね、10メートルより下のですね、データが取れてないっていうことができ、今深いところでとれる位置をですね、
0:45:42	確認してます。
0:45:44	できるだけ今回先ほど言った一本棒しかないってところがありますんで、ああいう10メートルから20メートルという基準仮想という20メートル以上なんですけどもその辺のところをですね、
0:45:55	とりあえず探して、今、風間になってる部分をできるだけ埋めるような、
0:46:00	調査をしようというふうにして、
0:46:06	それでいい。
0:46:07	そのデータを取ったときに、
0:46:10	それを持ってきて、もう1回平均化して、埋め戻しの物性を決めるのかって言うとそういうわけじゃない。江藤。
0:46:19	当然設計の部分ですけども、確認でばらつきの中に入ってるというところまで確認しようと。
0:46:27	新しいデータを作るというのは、
0:46:30	今のところ、
0:46:34	そういうところがちゃんとやっぱり、
0:46:37	多分その儘田町で生値として、徹底平均して使うんだったら調査しております。
0:46:44	んですけど、調査はするんだけど、それをそのまま使わずに、確認をするだけって、設計に使うタバコになっちゃうんですっていうかちょっと複雑なことだろう。
0:46:55	その辺の関係性をわかるようにして、
0:46:59	はい、池野でございます。はい、承知いたします
0:47:03	はい。清長です。その440ページの表んだと思うんです。移動とかも合わせてもらえると。
0:47:11	赤、
0:47:17	色をちゃんと先ほどのページの物性の
0:47:23	合わせてもらえるとわかりやすいし、
0:47:28	してもらおう。
0:47:30	あと、わかりました。はい。同じ意見でございます。ちょっと波線の色をですね、緑と青に変えています。はい。
0:47:43	それぐらい表層で、

0:47:45	まず 3 回はこんな感じで言われたことに対して、あなたとしてはそんな感じですけど、まだ、
0:47:54	いや、
0:47:56	自分、
0:48:02	アノ。
0:48:05	ちゃんと日本
0:48:07	はい。
0:48:11	もう、
0:48:12	本、
0:48:14	これで、
0:48:14	1 ニシタニってというのは、当然ながら、皆さんに
0:48:21	この辺はですね。
0:48:23	はい。要するに探し出して対応していただく。
0:48:27	理事会を確か 21、
0:48:32	そこに反映されている。
0:48:33	いうことか。
0:48:35	インナミでございますはい。そのスケジュールで考えてございます。
0:48:44	見ます。
0:48:47	まず入れた整備があったように、
0:48:52	本来、
0:48:58	ん。
0:48:59	ミツイ。
0:49:04	そういう説明の流れにイマセ。
0:49:10	今、結果的には、
0:49:18	が、
0:49:19	再整理する。
0:49:22	切れないんで、そういう整理ができない。
0:49:28	1 日間、
0:49:30	0 なんで、
0:49:32	うん。
0:49:35	品質を目指してる。
0:49:43	具体的なあ根拠という。
0:49:47	資料全般通じ、
0:49:53	三つを目指し、

0:49:58	詰めて均質になるという
0:50:01	おそらく教室を目指して、
0:50:06	急先鋒
0:50:09	つまりの説明もあって、
0:50:12	現場で実際そこに携わった人、わかんない。
0:50:22	違いを説明しているだけ。
0:50:27	3、
0:50:31	うん。
0:50:32	違い。
0:50:33	管理方法以外の間をつなぐために、
0:50:37	説明を試みようとしたんじゃないかなと思うんです。
0:50:40	うん。
0:50:41	なんでここである程度、
0:50:44	施工時期の違う傾向はない。
0:50:50	利用として、
0:50:52	多分、
0:50:54	説明がないんで、いたします。
0:50:58	スマート設備、
0:50:59	消費されるなら、さっき、
0:51:02	ここは違いだけを、
0:51:04	説明してる人が、
0:51:09	違いをつなぐ。
0:51:11	猪瀬。
0:51:12	しようとしてるんだろう。
0:51:21	技術課お願いして、
0:51:30	はい。
0:51:36	説明できてるつもりになって、
0:51:39	持っていて、一般の方にもわかるような、
0:51:50	議員の方でございます。周知いたしましたすみませんちょっと伝わらない、表現がやっぱり散見といいますかたというご指摘だというふうに思いますので今ちょっと全然見直しまして、
0:52:01	読み切れるような、といいますかちゃんと伝わるような表現をちょっと目指して参りたいと思います。ありがとうございます。

0:52:12	すいません原燃側からお聞きしたいことがいいです。はい。以上でございます。
0:52:18	はい。規制庁青井ですちょっと2点こちらから確認したいという点。今日、残りの別紙Cのですね説明。
0:52:29	とヒアリングがいつもっていうのがあるんで、それは後からスケジューリングしてもらおうと。
0:52:35	ちょっとこれだけ100人てのは、8月4日付2ページ目のですね、020のところ
0:52:42	全身アップのところの、
0:52:44	一番上の矢羽根まず鉛直方向の結果を示すというのは、これ、21日の美唄市版で、助教。
0:52:52	方向のステップのスタッフ等も出てくる。
0:52:56	近年の分でございますその通りでございます。
0:53:00	それともう一つ、三つ目の矢羽根にある評価に用いた全地震というのは、当評価に用いる地震の数というのは、現状示されているのか、いわゆる
0:53:12	日本原燃のオガセでございます。今のところの考えといたしましては結論としては増えないと思っています。そこについてはやはり次のページで書いている言葉と説明しませんけど、今のデータで十分であろうというところの考察をした上で、
0:53:26	今の19人ないしヒガシは14地震として、というところでやってやりますというところをちょっと説明します。その上でそれらの地震全部に対するシミュレーション結果を21人だし、
0:53:36	いたします。はい。規制庁阿比留です。伝達関数の比較で、今の絞られた地震で、6年、
0:53:44	問題ないと判断したという説明は今の方、別紙の中にあるんですか。はい。日本原燃土橋です。今現状入っていないです。はい。検討としての話としてはふやしたときの地震、伝達関数の感度とかそういったところの観点でのものを、
0:54:01	改めてふやして記載をするという必要があると思っております。はい。規制庁、衛藤。
0:54:07	その説明というのは21日版で反映されて、はい。日本原燃オガセおっしゃる通りです。はい、理解しました。
0:54:18	はい。
0:54:20	タナベから、

0:54:23	一応タケダにするその他何か、
0:54:25	事前に確認したいこと。
0:54:28	ありますでしょうか。
0:54:31	よろしいでしょうか。
0:54:35	通じて原点から何かございますでしょうか。
0:54:38	トップだけ。
0:54:40	それでは本日のヒアリングはこれで終了させていただきます。すいません、失礼します。
0:54:49	どうぞ。
0:54:50	最後、やりとりした結果がいいんじゃないですかね。高校と。
0:54:55	でも、口頭でこちらから各社長名でした。
0:55:02	こちらからの確認させていただいた事項としまして、まず建設法の
0:55:12	かかる今後の反映事項の3ページ目の前次長これは検討のプロセスとして、最後ですね、この求めたいものがちゃんと求まるようなちょっと、検討の流れが表せているのかと。
0:55:29	いう観点でもう一度我々の中で議論してちょっと見直させていただきます。たびに申し上げたそういうのが、以上でございます。
0:55:36	で、次に、
0:55:39	多分、他で事業をするんです。
0:55:42	うん。うん。なんでこっついうところ、ちょっとわかるように、
0:55:47	ところで、今、そちらもそこまで手応えってなっちゃうかなと思ってますけど。
0:55:54	うん。ロジックがですね、綺麗に整理できてるのかっていう。
0:55:58	うん。
0:55:59	あんまり綺麗についていきたいかああいう苦労なんだろうなあと思ってるんですけど。
0:56:04	やっぱそちらとしては割と、
0:56:07	結構ニイズ行ってるんですけどっていう感じで何かギャップがあるな。
0:56:13	何かわかんない。
0:56:16	なんでわかってくれないんだろうなあみたいな感じですか。ですね、ここでもう随分綺麗にできたよねと思いながらアトベさんに今日来たってのは事実でございます。それで、

0:56:29	ちょっと違うよねって今おっしゃっていただいて、やっぱり足りないんだなというふうに認識したというのを今の状態でございます。今神さんがおっしゃった、
0:56:39	ロジカルにですね5%がこれでいいんだということが表せてないということ、シンボいいただきましてちょっとそれをもとに、我々ちよつともう1回頭を整理し直すといえますかそれし直そうと思っておりますけども、
0:56:54	今おっしゃっていただいたことに対して、こうこうすればいいよねっていう、成功パスが私今見てるわけではないので、もう1回ちよつと考えさせてくださいというのが、現実の生活でございます。
0:57:06	はい。はい。
0:57:07	そういうことだと私も言いましたけど、実際にその値を行ってみたり、やってみる。
0:57:14	それで本当に話が通ってない。
0:57:18	で見てもらえば、
0:57:20	いいのかなっていう気はするんですけど、私はそういうふうに、
0:57:23	はい。
0:57:25	考えてもらう。
0:57:28	はい。表層の件では、当然スゲノでございます表層の件でございますけども、
0:57:34	実測データが安心は外れていてもですね、平均でいいのかということの説明をしてくださいということで、これはちよつと解析の方に変えさせていただきます。
0:57:44	あとはですね調査試験で何を確認したいのかということをちゃんと考えて、計画をするように、
0:57:51	ということ
0:57:51	思います。あと説明の中でですね、色遣い等をわかるように、きちんと説明する。
0:57:58	あと最後ですけども、品質をどう目指したのかということが、今回、提示してる図面からはわからないんで、その辺を丁寧に説明する。
0:58:11	ということで、
0:58:12	修正をさせて、
0:58:14	いうふうに、
0:58:16	で、先般といたしましていただきましたコメントで、今の資料の中でですね、この根拠を踏まえた根拠も含めてですね我々が説明、意識ってルートをいうふうに、

0:58:29	思ってるかもしれないけど、伝わってないと、いうこともいただきましてもう一度、今一度全体ですね、ちゃんと客観的に読める内容が読めるような形になってるのかと。
0:58:41	いうことを確認させていただくということを約束させていただきました。
0:58:45	それからですね、最後原崎さんからいただきました点で、等ですね、非地震観測記録を用いた評価結果、鉛直方向は、21 に提出いたします。
0:58:57	それから、さっき、
0:59:01	検討し、松崎進藤による解析、これにつきましても、これも21日に提出を約束となっております。以上でございます。
0:59:15	はい。
0:59:17	スケジュールなんですけど、21、また、
0:59:22	20、
0:59:24	3ですね、まず資料ちゃんと間に合いますかっていうのは、頑張る。
0:59:30	そうですね。はい、辨野でございます。頑張ります。頑張った上で、もう本当に不可能だったらまだ来そうなんだとは思いますがでもその時はちょっとあの会合の日程ともどもになるのでちょっとそれはありえないのかなというふうに思ってますんで、極力頑張らせていただきます。
0:59:45	はい。
0:59:48	それでヒアリングは23日の午前中で今設定をされているようなんですけど、今日も全部触りきれないっていう、
0:59:58	ないですね、使ってとなると、
1:00:03	資料出してもらって23対5の話はするにしても、24にずらすとかって、結構返事が起こってない。
1:00:14	ちょっと触れないところ、細かいところですね、そちらも
1:00:18	見直すとは言ってましたけど、
1:00:22	本当やるだけでも結構手一杯っぽい感じですので、
1:00:26	ちょっとそんな感じのスケジュールは、
1:00:29	看護師どう再考して、進め方、
1:00:33	聞かせてもらえれば、
1:00:35	議員のでございます。はい。おっしゃる通りちょっとこのボリュームをですね、このニッサカ午前中のしかも他のヒアリングとバッティングさせるような状態ではちょっとアノムタのかなというふうに思います。
1:00:48	24日にちょっと入れさせていただく。

1:00:52	ようにちょっと調整させていただこうと思うんですけど、そのあと後の対応ができるのかも含め、そうですね、よく考えてください。はい。はい、承知いたしました。
1:01:02	時間が必要なものは間違いないと思いますけども、
1:01:10	ですが、21日のリヴァイスパンに向けて、今日の残りの部分は、いつ付ヒアリング
1:01:20	それは誰。
1:01:22	よろしいですか。今日、もう今日のです。今日は時間切れですけども。はい。今日のコメントを踏まえて、他の箇所についても展開して、ちゃんと読めるように、
1:01:35	資料をもう1回見直すという宿題をいただいて、これ次21日にご提出というお話に今なっているというふうに認識してございます。特徴ですけども、例えば減衰のスペクトル、これで何でやってるんですかという
1:01:49	か、
1:01:49	ですね、各資料に応じたっていうのもあると思うんですけど、もうおっしゃる通りですねはい。
1:01:58	側溝を背反本来ちょっとをご確認いただく時間をとるべきであったんですけども、今日ちょっとこんな状態になってしまったということですので、
1:02:13	はい。はい。今日の結果を踏まえて、例えば減衰の資料も見直しますと言ってね、
1:02:20	円錐ユニークな話いっぱいあって、はい。
1:02:23	減衰が結構、
1:02:25	いうイベント、
1:02:26	はい、お願いします。
1:02:28	それなくして21日に修正版が出てきても、それから会合には間に合わないという
1:02:35	はい。
1:02:38	そうですね。おっしゃる通りです。
1:02:43	ちょっと今もうあれですね。89が午前も午後入れてしまってる状態ありますんで、次はもう10日になってと。
1:02:53	ということなんですけれども、規制庁コサクですけど、とりあえず、
1:03:00	現状の資料では、明石さんの話が入ってないっていうものをベースに話してもしようがないので、

1:03:08	アノ 21 と言わずに、その部分だけでも出すなら出したものでやるっていうことだと思いますけど。
1:03:17	そんな時に、今日言ったところもある程度、なんすか、5%に結びつけたっていうとちょっと語弊がありますけど、何で5%でいいと思ってるんだっていうところ。
1:03:28	考えてることをしっかり書き下すっていうことはやってないと。
1:03:32	話にならないわけで、
1:03:34	それをこちらからまた一つ一つこれはこれは言ってもしようがないんです。
1:03:39	それぐらいはやって、
1:03:42	なんじゃないかなっていう、
1:03:45	もし、
1:03:46	というので、
1:03:47	一応宿題にして、
1:03:50	等、
1:03:51	明後日の進め方日や、
1:03:54	7日、
1:03:57	その時にいつぐらいにまた相談させてくださいとか、わかりませんが、
1:04:01	整理をしていただいたらいいんじゃないですか。
1:04:08	ちょっともうここは思いつきで言ってあれなんですけれども、例えば9日の本に共通要因に関するヒアリングがあるんですけども、
1:04:16	その裏番組で浜崎さんに、これちょっと、
1:04:21	今、すいませんけど。はい。チームでやってるのでハバサキさんにとかっていうのだったらもう来ないでください。はい。失礼いたしました。はい。失礼しました。
1:04:30	明石さんともちゃんと話をしてください。秦さんと相談をしてないの日程決められないでしょう。はい。
1:04:37	失礼いたしました。という形があります。
1:04:41	はい規制ちゃうんですよ。
1:04:44	最終的には、会合で、はい。
1:04:46	わかりました。はい。
1:04:55	以上だけですその他何かございますでしょうか。
1:05:00	それでは本日のヒアリングはこれで終了とさせていただきますお疲れ様でした。ありがとうございました。